

社 会

1 原典教科書と分冊の方針

(1) 原典教科書

【地理】 発行者：教育出版 書名：「中学社会 地理 地域にまなぶ」 (以下原典とする)

【歴史】 発行者：教育出版 書名：「中学社会 歴史 未来をひらく」 (以下原典とする)

【公民】 発行者：教育出版 書名：「中学社会 公民 とともに生きる」 (以下原典とする)

(2) 分冊と原典との対応

地理	1	教科書の使い方 巻頭資料 1～2 地理の学習を始めるにあたって 地理にアプローチ 用語解説 世界の国々のあらまし 日本の都道府県のあらまし 巻末資料 1～3 折り込み 1 オリンピックはどこで開かれるのだろう 2 宇宙からとらえた地球 3 宇宙からとらえた日本列島 4 日本にはどんな世界遺産があるのだろう
	2	第1編 世界と日本の地域構成 第1章 世界の地域構成 第2章 日本の地域構成
	3	第2編 世界のさまざまな地域 第1章 世界の人々の生活と環境
	4	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 1 アジア州
	5	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州
	6	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 4 北アメリカ州

地理		<p>5 南アメリカ州</p> <p>6 オセアニア州</p> <p>第2章のまとめ</p>
	7	<p>第3編 日本のさまざまな地域</p> <p>第1章 地域調査の方法を学ぼう</p> <p>第2章 日本の特色と地域区分</p> <p>1 変動する大地、安定した大地</p> <p>2 変化に富む日本列島の地形（1）</p> <p>3 変化に富む日本列島の地形（2）</p> <p>4 四季のある気候</p>
	8	<p>第3編 日本のさまざまな地域</p> <p>第2章 日本の特色と地域区分</p> <p>5 自然災害に向き合う</p> <p>6 災害から身を守るために</p> <p>7 変化する人口</p> <p>8 人口分布のかたよりがもたらす問題</p> <p>9 輸入に頼る資源・エネルギー</p> <p>10 日本の産業活動と立地</p> <p>11 交通・通信による結びつき</p>
	9	<p>第3編 日本のさまざまな地域</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>1 九州地方</p> <p>2 中国・四国地方</p>
	10	<p>第3編 日本のさまざまな地域</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>3 近畿地方</p> <p>4 中部地方</p>
	11	<p>第3編 日本のさまざまな地域</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>5 関東地方</p> <p>6 東北地方</p>
	12	<p>第3編 日本のさまざまな地域</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>7 北海道地方</p> <p>第3章のまとめ</p>

		第4章 地域のありかた
歴史	1	<p>教科書の使い方</p> <p>第1章 歴史のとらえ方・調べ方</p> <p>歴史にアプローチ</p> <p>巻頭資料・巻末資料等</p> <p>1 巻末2～3 歴史年表</p> <p>2 巻頭1～2 私たちにつながる歴史</p> <p>3 歴史の学習を始めよう</p> <p>4 巻末4 世界地図の歴史</p> <p>5 巻末1 昔の国と、都道府県の対照表 ※8と対応</p> <p>6 巻末5・6 各地の主な遺跡・史跡・できごと ※8と対応</p> <p>7 巻末1 江戸時代の産業と交通 ※8と対応</p> <p>8 日本地図 ※5～7と対応</p> <p>1. 日本列島全体</p> <p>2. 本州東部・関東南部</p> <p>3. 西日本・畿内</p> <p>9 世界地図（比較・対照を想定し、全ての縮尺・図法等を統一した）</p> <p>1. 2世紀ごろの世界（原典 p 25）</p> <p>2. 8世紀ごろの世界（原典 p 39）</p> <p>3. 13世紀ごろの世界（原典 p 72）</p> <p>4. 16世紀ごろの世界（原典 p 103）</p> <p>5. 列強による世界の分割（原典 p 186）</p> <p>6. 第一次世界大戦中の世界（原典 p 215）</p> <p>7. 東西陣営の対立（原典 p 260）</p>
	2	<p>第2章 原始・古代の日本と世界</p> <p>1節 人類の出現と文明のおこり</p> <p>2節 日本の成り立ちと倭の王権</p> <p>3節 大帝国の出現と律令国家の形成</p> <p>4節 貴族社会の発展</p>
	3	<p>第3章 中世の日本と世界</p> <p>1節 武家政治の始まり</p> <p>2節 ユーラシアの動きと武家政治の変化</p> <p>3節 結びつく民衆と下剋上の世界</p>
	4	<p>第4章 近世の日本と世界</p> <p>1節 結びつく世界との出会い</p> <p>2節 天下統一への歩み</p> <p>3節 幕藩体制の確立と鎖国</p> <p>4節 経済の成長と幕政の改革</p>

歴史	5	第5章 日本の近代化と国際社会 1節 近代世界の確立とアジア 2節 開国と幕府政治の終わり
	6	第5章 日本の近代化と国際社会 3節 明治維新と立憲国家への歩み 4節 激動する東アジアと日清・日露戦争 5節 近代の産業と文化の発展
	7	第6章 二度の世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦と民族独立の動き 2節 大正デモクラシー 3節 恐慌から戦争へ 4節 第二次世界大戦と日本の敗戦
	8	第7章 現代の日本と世界 1節 日本の民主化と冷戦 2節 世界の多極化と日本 3節 冷戦の終結とこれからの日本
	9	各章の「学習のまとめと表現」
	10	特設ページ《全20テーマ》 身近な地域の歴史を調べよう（6テーマ） 歴史を探ろう（14テーマ）
公民	1	教科書の使い方 公民の学習を始めるにあたって 第1章 私たちの暮らしと現代社会 1節 私たちが生きる現代社会 2節 現代につながる伝統と文化
	2	第1章 私たちの暮らしと現代社会 3節 私たちがつくるこれからの社会 第2章 個人を尊重する日本国憲法 1節 日本国憲法の成り立ちと国民主権
	3	第2章 個人を尊重する日本国憲法 2節 憲法が保障する基本的人権
	4	第2章 個人を尊重する日本国憲法 3節 私たちと平和主義 第3章 私たちの暮らしと民主政治 1節 民主政治と日本の政治

5	第3章 私たちの暮らしと民主政治 2節 三権分立のしくみと私たちの政治参加
6	第3章 私たちの暮らしと民主政治 3節 地方自治と住民の参加
7	第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と経済活動 2節 企業の生産のしくみと労働
8	第4章 私たちの暮らしと経済 3節 市場のしくみと働き 4節 金融のしくみと財政の役割
9	第5章 安心して豊かに暮らせる社会 1節 暮らしを支える社会保障 2節 これからの日本経済の課題
10	第6章 国際社会に生きる私たち 1節 国際社会の平和をめぐって
11	第6章 国際社会に生きる私たち 2節 国際社会が抱える課題と私たち 終章 私たちが未来の社会を築く 公民の学習の終わりに
12	学習資料編 1 日本国憲法 2 諸法令集 欧文略称 巻頭資料・巻末資料 1 巻頭1～2 現代を生きる私たち 2 公民にアプローチ ～メディアを活用しよう 3 日本と世界の歩み（年表） 4 巻末1～2 持続可能な未来をみよる人々

2 編集の具体的方針

編集にあたっては、基本的には原典教科書に大きな変更を加えることなく、点字を常用して学習する生徒（以下、「生徒」という。）の障害の特性に応じるため、視覚的な情報保障が不十分なため活動として成り立ちにくいものや理解しにくい等の題材及び教材（以下、「教材等」という。）について、（1）～（2）の特性を踏まえ「変更」「差し替え」「追加」「削除」しながら点字化を行う。

（1）認知の特性

視覚から映像による情報処理は、全体の情報を一度で把握することや一部分を詳しく把握すること、

全体と部分を比較しながらとらえることが容易である（即時的把握）。一方、言葉（音声の聴取）による情報処理には、一つ一つの情報をつなぎ合わせて理解することから、距離や方向などは、初めから終わりまでの全ての情報を得てから記憶をたどりながら全体像をとらえることとなる（継次的把握）。

このように認知の特性があることから、即時的把握により理解を深める教材等において、継次的把握に必要な情報を補足するとともに、触覚の弁別は視覚に比べ低いため、触知覚で認知しやすいよう本質的な内容を選び出し情報を省略したり、図や表等を文章化、数値化したり、必要に応じて補足の情報を加えたりする場合がある。そのため、できるだけ比較しやすい配置の工夫を行うこと、題材の本質的な理解を促すために他の保有する感覚を総合的に活用するために工夫することなど必要な場合がある。

- ・視覚以外の保有する感覚に依存した学習に基づいた配慮
- ・視覚的な情報に依存する認知処理に基いた理解を促す教材等にかかる困難さが生じる場合の配慮など

（２）文字処理や点字表記上の特性

原典教科書のレイアウトから内容の関係性や順序など文章の流れがわかりやすくなるよう考慮するとともに、情報量の調整や配置の調整など適宜行う必要がある。また、原典教科書は、文字の大きさにより項目の重要度を表している場合、色や字体で重要項目や強調の意味で使用されている場合、図形や線等を原典教科書に書き込む場合等があるため、通常の文字（墨字）と同等に理解できるよう点字表記の工夫が必要な場合がある。

- ・表音文字である点字表記上の特性にともなう配慮など

3 編集の具体的内容

（１）各分冊の構成と順序

【地理】

① 分冊の基本的な構成と順序は次の通りとする。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・表紙・目次・学習コラム・特設ページの目次・（※第1巻のみ）教科書の使い方、地理の学習を始めるにあたって・本文・学習コラム・資料（LOOK!・写真・表・グラフ・地図・図・読み解こう等）等・奥付 |
|---|

- ② 目次には、その巻に掲載する大単元名・中単元名・小単元名を示す。ただし、第1巻の目次には、他の分冊の大単元名・中単元名も記す。
- ③ 学習コラム（「地理の窓」「地理の技」）及び特設ページ（『地域から世界を考えよう』『現代日本の課題を考えよう』）の目次には、その巻に出てくるもののみを掲載する。
- ④ 各章の冒頭については、掲載されている写真のタイトルのみ掲載する。
- ⑤ 小単元（原典の見開き2ページ）については、「題名」「構成」「学習課題」「本文」「側注解説・難しい用語の解説（関連する本文の直後に掲載）」「地理の窓」「地理の技」「資料（「LOOK!」「読み解こう」を含む）」「確認!」「表現!」「SDGs」の順に掲載することを基本とする。

資料については、原典に付されている番号順に掲載する。原典の見開き2ページの左ページ下にある「他分野との関連」及び右ページ下にある「学習パート」については削除する。

- ⑥ 「構成」については、「本文」「地理の窓」「地理の技」「LOOK!」「資料」「読み解こう」「確認!」「表現!」の各開始位置のページ数（下がり数字）・行数を掲載する。
- ⑦ 資料に関して、「LOOK!」がある場合は1つ目の資料の前に配置する。キャラクターの吹き出しがある場合は資料との関連性を見ながら適宜順序を決めて配置する。また、「読み解こう」については、原則として関連する資料の直後に配置する。資料に番号が付されていない場合は、適宜順序を決めて配置する。
- ⑧ 特設ページ（『地域から世界を考えよう』『現代日本の課題を考えよう』）については、「題名」「本文」「資料」「Q」の順に掲載することを基本とするが、資料については本文との関連性を考慮して本文の途中に掲載することがある。
- ⑨ （1）で示した通り、各分冊は原則として配置順に掲載したが、一部その順序を変えた個所がある。これは、当該内容の配本時期や実際の使用場面を考慮して決定したものである。
変更したものは、
第1巻 本教科書の使い方と用語解説・統計資料を中心とした内容であり、普段使用する分冊と同時並行して授業で扱われるべき内容である。
- ⑩ 原典の巻末にある「さくいん」は削除する。

【歴史】

① 分冊の基本的な構成と順序は次の通りとする。

- ・表紙
- ・目次
- ・学習コラムの目次
- ・（※第1巻のみ）教科書の使い方、歴史の学習を始めるにあたって
- ・本文・学習コラム・資料（写真・表・グラフ・地図・図・読み解こう等）等
- ・（※第1巻のみ）歴史にアプローチ
- ・奥付

- ② 目次には、その巻に掲載する大単元名・中単元名・小単元名を示す。ただし、第1巻の目次には、他の分冊の大単元名・中単元名も記す。
- ③ 学習コラム（「歴史の窓」「歴史の技」）の目次には、その巻に出てくるもののみを掲載する。
- ④ 各章の冒頭については、掲載されている写真のタイトルのみ掲載する。年表は「年代」「日本」「中国」「朝鮮」の順に掲載する。
- ⑤ 小単元（原典の見開き2ページ）については、「題名（時代スケール）」「構成」「学習課題」「本文」「側注解説（関連する本文の直後に掲載）」「解説（関連する本文の直後に掲載）」「歴史の窓」「歴史の技」「資料（「読み解こう」を含む）」「確認!」「表現!（節をとらえる）」の順に掲載することを基本とする。資料については、原典に付されている番号順に掲載する。原典の見開き2ページの左ページ下にある「他分野との関連」及び右ページ下にある「学習パート」については削除する。
- ⑥ 「構成」については、「本文」「解説」「歴史の窓」「歴史の技」「資料」「読み解こう」「確認!」「表現!（節をとらえる）」の各開始位置のページ数（下がり数字）・行数を掲載する。
- ⑦ キャラクターの吹き出しがある場合は資料との関連性を見ながら適宜順序を決めて配置する。また、「読み解こう」「歴史の技」については、原則として関連する資料の直後に配置する。資料に番号が付されていない場合は、適宜順序を決めて配置する。
- ⑧ 第1巻の後半部分（巻頭資料・巻末資料等）において、学習上の効果を考え、次のような工夫をしている。
- ア. 年表は、「日本の歩み」と「世界の歩み」を比較しながら学習できるように、左右の見開きを利用して記した。
- イ. 「歴史」の初期段階においては、生徒の地理的な知識が十分でない事が想定されるため、大まかな位置関係が確認しやすいよう、大型の「日本地図」を示した。また、位置を確認すると共に、古い地名や他地域との繋がり等が意識しやすいよう、それらの資料に「県番号」を用いて対応させた。
- ウ. 時代が異なる「世界地図」を比較・対照することで、時代の移り変わりによるグローバルな変化が読み取れるよう配慮したため、各章から代表的なものを抽出して、並べて配置した。また触察において比較しやすいよう、全ての図の縮尺・図法・範囲等を均一に揃えた。
- ⑨ 「学習のまとめと表現」については、原典との配置を変更し、第9巻に配置する。
- ⑩ 特設ページ『身近な地域の歴史を調べよう』『歴史を探ろう』については、原典との配置を変更して、第10巻に配置する。

⑪ 原典の巻末にある「さくいん」は削除する。

【公民】

① 分冊の基本的な構成と順序は次の通りとする。

- ・表紙
- ・目次
- ・学習コラム・特設ページの目次
- ・（※第1巻のみ）教科書の使い方、公民の学習を始めるにあたって
- ・本文・学習コラム・資料（LOOK!・写真・表・グラフ・地図・図・読み解こう・判例ファイル等）等
- ・特設ページ（言葉で伝え合おう・よく読んで深く考えよう）
- ・巻末資料（用語解説）
- ・奥付

- ② 目次には、その巻に掲載する大単元名・中単元名・小単元名を示す。ただし、第1巻の目次には、他の分冊の大単元名・中単元名も記す。
- ③ 学習コラム（「公民の窓」「公民の技」「クリップ」）及び特設ページ（『言葉で伝え合おう』『読んで深く考えよう』）の目次には、その巻に出てくるもののみを掲載する。
- ④ 各章の冒頭については、掲載されている写真のタイトルのみ掲載する。
- ⑤ 小単元（原典の見開き2ページ）については、「題名」「構成」「学習課題」「本文」「側注解説・難しい用語の解説（関連する本文の直後に掲載）」「クリップ」「公民の窓」「公民の技」「資料（「LOOK!」「読み解こう」を含む）」「確認!」「表現!」「SDGs」の順に掲載することを基本とする。資料については、原典に付されている番号順に掲載する。原典の見開き2ページの左ページ下にある「小学校、他分野、他教科との関連」及び右ページ下にある「学習パート」については削除する。
- ⑥ 「構成」については、「本文」「クリップ」「公民の窓」「公民の技」「LOOK!」「資料」「読み解こう」「確認!」「表現!」の各開始位置のページ数（下がり数字）・行数を掲載する。
- ⑦ 資料に関して、「LOOK!」がある場合は1つ目の資料の前に配置する。キャラクターの吹き出しがある場合は資料との関連性を見ながら適宜順序を決めて配置する。また、「読み解こう」については、原則として関連する資料の直後に配置する。資料に番号が付されていない場合は、適宜順序を決めて配置する。
- ⑧ 『言葉で伝え合おう』『読んで深く考えよう』については、関連する各巻の巻末（用語解説の前）に掲載する。「題名」「本文」「資料」「さらにステップアップ」の順に掲載することを基本とするが、資料については本文との関連性を考慮して本文の途中に掲載することがある。
- ⑨ 『用語解説』については、その巻に出てくる用語について掲載する。
- ⑩ 原典の巻末にある「さくいん」は削除する。

(2) レイアウト

全体に関わるレイアウトについては原則として次の通りとする。

- ① 大単元（章名）を9マス目から記す。次の行を空行とする。
- ② 中単元の題名を7マス目から記す。番号の後2マスあける。番号には記号を付さない。次の行を空行とする。
- ③ 小単元の題名を5マス目から記す。番号は1． 2． …のようにピリオドをつける。副題は改行

し、3マス目から棒線(②⑤②⑤)で開き、棒線で閉じる。次の行を空行とする。

- ④ 「構成」については、5マス目から「構成」と記し、その次の行の3マス目から、「本文の見出し名」「地理の窓等の学習コラム名」、「資料番号とその種別」「LOOK!」「読み解こう」等の項目名と、掲載ページ・行数を目次の形式で記す。ページは下がり数字で示す。次の行を空行とする。
- ⑤ 「学習課題」については、5マス目から「学習課題」と記す。その次の行の3マス目から内容を記す。次の行を空行とする。
- ⑥ 本文の見出し名を5マス目から記す。本文は3マス目から記す。次の行を空行とする。
- ⑦ 本文中に出てくる「注」・「難しい用語」については、ひとまとめにして各見出しの本文の後の、次の行に5マス目から「—— 注 ——」と記し、その次の行から記す。次の行を空行とする。見出しごとに「注」の番号を1から振り直す。
- ⑧ 小単元の「確認!」・「表現!」については、5マス目から記す。改行し、3マス目から内容を記す。
- ⑨ 番号のついた資料、「地理の窓」・「歴史の窓」・「公民の窓」・「クリップ」等は枠囲みし、本文と区別できるようにする。次の行を空行とする。
- ⑩ 枠囲みをする際、囲みを開く棒線の5マス目から「地理の窓」「1 写真」などのように項目名を記す。題名を次の行の7マス目から記す。
- ⑪ 枠囲みをする資料で原典の資料種別を変更した場合は、「1 表(グラフ)」のように、点字教科書における種別を書いた後、原典の種別を丸かっこ内に示す。なお、資料番号の後は1マスあけとする。
- ⑫ 「LOOK!」「読み解こう」「確認!」「表現!」については、5マス目から「LOOK!」「読み解こう」「確認!」「表現!」と記し、次の行の3マス目から内容を記す。
- ⑬ 「Q」は前の資料から1行あけて3マス目から「Q小見出し符」を記し、続けて内容を記す。
- ⑭ 「見×考」(公民のみ)は、該当箇所には{みか}と記す。
- ⑮ 背表紙には、「社会(地理) 1/12 中学部」のように、教科(分野)と巻数を示す。
- ⑯ 吹き出し等キャラクターの発話については、3マス目から発話者の名前を記し、その後2マスあけて発言内容を第1カギで囲む。一つまたは連続する発話の前後を1行あける。
- ⑰ 「・○○○」等の箇条書きについては、原則として「1. ○○○、2. ○○○、3. …」のようにピリオドを付けて番号を付す。下位項目がある場合は「ア. ○○○、イ. ○○○、ウ. …」とする。
- ⑱ 小単元の終わりに終止線(②の点)を入れる。
- ⑲ 地理の第1巻、公民の巻末にある用語解説については、枠囲みせず、7マス目から用語解説と記す。次の行を空行とし、その次の行の3マス目から用語を記し、小見出し符に続けて解説を記す。
- ⑳ 目次の終わりに終止線(②⑤の点)を入れる。
- ㉑ 原典の該当ページの番号は、点字教科書のページ行に「メの字」で挟んで左側に記す。その際、原則として小單元ごとの見開きページの番号を記す。

(3) 位置を示す表現

- ① 「上(下)の～」や「右(左)の～」という原典の紙面上での位置を示す表現は、「p○○の～」または「次の～」などのように点字教科書中の位置に合わせた表現に変更する。
- ② 原典において位置を示す表現がない場合でも、点字教科書中で図やグラフ等の参照ページを書き加えることが効果的な場合はその都度指示する。

- ③ 「構成」・「本文」等で、ページ・行数を示す場合、ページ数のみであれば p〇〇・p〇〇～〇〇とする。ページ・行数の両方を示す場合は、ページを下がり数字として略記する。この場合 p は付さない。

(4) 本文の取り扱い

- ① 太字で示された語句については、第1指示符で囲む。
- ② クォーテーションマークは第1カギとする。
- ③ 「注」・「難しい用語」については、ひとまとめにして本文の見出しが変わるごとに1から番号を付す（原典と番号が一致しない箇所もある）。ひとつしか無い場合、番号は付さない。注記符は該当する言葉に前置する。
- ④ 特定の用語を参照するために、原典の本文中で用語の下に書かれている（p. 〇〇→、←p. 〇〇）については削除する。
- ⑤ 地理・公民の「用語解説」に掲載されている用語については、本文中に「ヨ一」を文中注記符で囲った記号を当該の用語に前置する。当該の用語の解説が書かれている場所は、「注」を各位置に「ヨ一」を文中注記符で囲み、1マス空けてページ・行数を書くことで示す。ページ数は下がり数字とする。なお、地理では第1巻「用語解説」にすべての用語を五十音順で掲載する。また、その後テーマ別にした用語とその解説があるページをリストにし掲載する。公民では、「用語解説」を該当巻の巻末に掲載する。歴史には「用語解説」は無い。
- ⑥ 本文に付されている参照資料の番号については削除する。
- ⑦ 吹き出しのキャラクターの名前は、第1巻の「教科書の使い方」で紹介されたものを用いる。ただし、紹介のないキャラクターは「生徒」、「先生」などのように適宜記す。また、先生は男女の区別はしないで記す。
- ⑧ 「学習のまとめと表現」などで、文字数を指定して答えさせる課題は、原典の指定文字数に対応した点字のマス数に置き換える。ただし、文字数が多い場合は、点字のマス数は約2倍とすることとする。

(5) 写真・絵・イラストの取り扱い

- ① 原典にある写真等については削除するが、タイトルのみ、または、タイトルと説明文をできる限り掲載する。写真等のタイトルは7マス目から、説明文はその次の行の3マス目から記す。
- ② 写真等のタイトルや説明文について、原典の表現では不足する視覚的情報等を補うために、適宜表現を変更することがある。また、写真等の説明文が原典にない場合、必要に応じて新たな説明文を追加することがある。
- ③ 写真等のタイトルが原典にない場合は、適宜タイトルを付ける。
- ④ 原典の表紙にある写真については削除する。

(6) 表の取り扱い

- ① 表のタイトルを7マス目から記す。
- ② 表の説明や注釈、凡例等がある場合は、5マス目から「表の説明」と記し、その次の行から説明等を記す。
- ③ 表が始まる前は1行空ける。
- ④ 数値は桁揃えとする。

- ⑤ 触察による読み取りの際の利便性・効率性を高めるため、折込みにしたB4の用紙に表を記す場合がある。

(7) グラフの取り扱い

- ① 原典にあるグラフについては、点図化、数表化、数表と点図の併記、文章化の処理を行う。
- ② 点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③ グラフのタイトルを7マス目から記す。
- ④ グラフの説明や注釈、凡例等については、5マス目から「グラフの説明」と記し、その次の行から説明等を記す。
- ⑤ 原則としてグラフの説明や凡例を先に記し、次にグラフを示す。グラフの説明や凡例のみを枠囲みする。
- ⑥ グラフの説明や凡例を左ページに、グラフを右ページに配置し、できるだけ見開きとなるようにする。
- ⑦ 紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にしてグラフを掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。
- ⑧ 棒グラフでは、原典では縦棒になっているものを点図では横棒にするなどの変更を行う場合がある。
- ⑨ グラフ中の項目はできるだけ省略しないことを原則とする。省略する場合は原則として連想しやすい表記とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑩ グラフの数値の読み取りを容易にするための目盛り線を凹点で表す。
- ⑪ グラフを数表化する場合、枠囲みに記す種別を「表（グラフ）」とし、原典ではグラフとなっていることを示す。同様に、数表とグラフの併記にする場合、枠囲みに示す種別を「表・グラフ（グラフ）」のようにする。

(8) 地図の取り扱い

- ① 原典にある地図は、点図またはサーモフォームによる触図化、数表化、文章化の処理を行うか、削除する。
- ② 点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③ 地形の高低差を表す必要がある場合は、サーモフォームによる触図化を行う場合がある。
- ④ 地図のタイトルを7マス目から記す。
- ⑤ 図の説明や注釈、凡例等については、5マス目から「図の説明」と記し、その次の行から説明等を記す。
- ⑥ 原則として図の説明等を先に記述し、次に地図を示す。図の説明等までを枠囲みする。
- ⑦ 図の説明等と地図ができるだけ見開きとなるようにする。

- ⑧ 紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にして地図を掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。
- ⑨ 地図の範囲を表すために、地図の周囲を枠線で囲むことを原則とする。紙面の都合上、枠線で囲むことが困難な場合は省略することがある。
- ⑩ 地図中の地名等は省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記を原則とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑪ 陸地と海の区別を容易にするため、地図中の海を原則として凹点で表す。
- ⑫ 地図中の縮尺表示は、地図の意図する位置関係に主眼を置くため、原則として省略する。
- ⑬ 点図化する際の技術的な限界や、触覚的理解の困難さを考慮し、図の簡略化やデフォルメを行う場合がある。
- ⑭ 地図の掲載事項は、当該の単元で主に学習する内容を優先して掲載した。全体としては学年、教科や分野、単元で代表的かつ、頻繁に使用するものを、触読による判別の可能な限り記載する。特に日本の領土・領域に関する事項は、原則としてすべて掲載するが、触読による判別ができるよう配慮する。
- ⑮ 地図を表や説明にする場合、枠囲みに記す種別を「表（地図）」「説明（地図）」とし、原典では地図となっていることを示す。
- ⑯ 触察による読み取りの際の利便性・効率性を高めるため、折込にした B4 サイズの用紙に点図を示す場合がある。また、位置関係の把握を促すために、注目すべき部分を拡大・縮小した地図を追加する場合がある。

(9) 図の取り扱い

- ① 原典にある図は、点図による触図化、数表化、文章化の処理を行うか、削除する。
- ② 点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③ 図のタイトルを 7 マス目から記す。
- ④ 図の説明や注釈、凡例等については、5 マス目から「図の説明」と記し、その次の行から説明等を記す。
- ⑤ 原則として先に説明や凡例を記述し、次に図を示す。図の説明等までを枠囲みする。簡易な図の場合は、説明や凡例がないこともある。
- ⑥ 説明と図ができるだけ見開きとなるようにする。
- ⑦ 紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にして図を掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。
- ⑧ 図の範囲を表すために、図の周囲を枠線で囲むことがある。
- ⑨ 図中の名称等は省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記を原則とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑩ 点図化する際の技術的な限界や、触覚的理解の困難さを考慮し、図の簡略化やデフォルメを行う場

合がある。

(10) 「2. 編集の具体的内容」の備考欄における記載事項

- ① 触覚による把握：触覚によって理解することが可能なグラフ、地図、図について、点図やサーモフォームによる図を掲載する。
- ② 理解のしやすさ：点図化が困難なため削除した写真、絵、図、グラフについて、生徒の理解を促すため文章化や数表化して掲載する。
- ③ : 写真、絵、図、グラフを削除した場合は、説明を授業の中で行うことが望ましい。

分野	ページ	行	変更事項	変更内容	備考
地理	巻頭 1 巻頭 2	写真	変更	巻頭の9枚の写真については、タイトルのみを残し、写真と国旗の絵は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
	I～ IV	文章	削除	「さあ、地理の学習を始めよう」の本文以外のSDGsの図については、文章のみを記載することとし、イラストは削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
	4		整理 変更	「本文ページの見方・使い方」について本文中の掲載順にあわせ、以下の順に並べた。 【「導入資料」→「中心資料」→「学習課題」→「資料ナンバー」→「側注解説」→「読み解こう」→「学習コラム」→「確認と表現」】 「学習コラム」のもくじは、当該項目掲載巻の「巻数」のみ掲載した。	2編集の具体的方針(1)による。
	6	図	削除 変更	①「地図の決まりを思い出そう」は、以下のように変更した。 「方位」 方位を表す図と吹き出し「矢の先が『北』を…」は、本文と重複となるので削除した。 「16方位を示した図」は点図化した。 なお、空欄部分についても方位を補記した	2編集の具体的方針(1)による。
	6	記号	変更	「地図記号」の「風車」・「老人ホーム」の地図記号は、点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
	7	地図	変更	②「地図帳を使いこなそう」の地図帳の索引を使う項目については、四国地方の部分に特化し、配列を簡素化した。 (横2マス×縦2マス) 地図に合わせて例題も変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
	7	地図	変更	③「地図上で位置を表そう」 本欄での地図は、ともに項目の整理などを行い、触読可能な形で点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
	8	グラフ	削除 変更	⑦グラフを作ろう…に関して、点字使用生徒が書き込むグラフを作ることは困難なため、以下のように変更した。 【・1930年と2017年の2枚の人口ピラミッドのグラフは「完成した状態」のものを掲載し、数値も併	2編集の具体的方針(1)による。

			<p>記した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文と課題文を以下のように変更した。 <p>(※本文文末)</p> <p>【…変化していくかということなどもわかります。数値からグラフを自分で作ることもできます。】</p> <p>(※課題文)</p> <p>【1930年と2017年の人口の割合の数値を読み、○ ○ページの2つの人口ピラミッドを確認して、日本の人口の変化について考えてみましょう。</p> <p>①5歳ごとの人口に占める割合を確認して、人口ピラミッドを読みましょう。</p> <p>②人口ピラミッドを読み、日本の人口構成は以前と比べて、どのように変化したのか話し合ってみましょう。】</p>	
11	地図	変更	②「世界の6大陸と3海洋」は、P.11の図を基図とし、名称を空欄で表した。	2編集の具体的方針(1)による。
11	地図	変更	「地理の技」世界の略地図を描いてみよう①は、書くことができるという形で文章化した。	2編集の具体的方針(1)による。
11	グラフ	変更	③「海洋と陸地の割合」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
13	図	削除	④「日本の季節はどう変わるのか」は、図による表現・理解が困難なため、図を削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
14	地図	変更	③「地球儀を切り開いてみると…」は地球儀を切り開いた形のみを点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
15	地図	変更	④「面積が正しい地図」 ⑤「中心からの距離と方位を正しく表した地図」 ⑥「緯線と経線が直角に交わった地図」以上3枚の地図は、一体的に比較できるようにそれぞれ点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
15	図	変更	⑦「国際連合のマーク」については、マークとして判別できる程度に点図化した	2編集の具体的方針(1)による。
15	図	変更	簡単な描き方の例を変更し、図を描くことをイメージしやすいように配慮した。 「ポイント」は、以下のように変更した (2)位置関係をはっきりさせるには、赤道、本初子午線、180度の経線を確認するといいでしょう。	2編集の具体的方針(1)による。
16	グラフ	削除 補足	②「国連加盟国数の変化」は、グラフを削除し、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。

16	地図	削除	③「面積の小さな国々の例」は地図を削除し、表中以下の文章を追加した。 【面積の小さな国と、その国の値に近い日本の島や施設を比べられるように示した。】	2編集の具体的方針(1)による。
17	グラフ	変更	⑤「世界の州別の人口割合」は、数表化して示した。	2編集の具体的方針(1)による。
17	図	削除 変更	④「人口を面積に置き換えて示した世界地図」は、数値化し、日本を1とした時の大きさを示した。	2編集の具体的方針(1)による。
18	国旗	削除 変更	④「世界のさまざまな国旗」については、地図は削除し国旗の形状について、以下の順で図にして示した。 【イギリス→フィンランド→日本→オーストラリア→カナダ→アメリカ→ソ連とロシア→南アフリカ→三色を使った国旗】	2編集の具体的方針(2)による。
20	地図	削除 変更	②「16世紀後半につくられた世界地図」は地図を削除し、解説をつけた。	2編集の具体的方針(1)による。
20 21	図	削除 変更	③「ロンドンと東京・ニューヨークの時刻と位置の関係」と④「イギリスと中心とした世界の等時帯を表した図」は図を削除し、データのみを数表化し、それぞれに世界各地の時刻を列記した。	2編集の具体的方針(1)による。
22	地図	変更	①「日本の領土・領海と排他的経済水域」は、点図化した。排他的経済水域を塗った図とし、地図中に領土の端を1.～4.の番号で示した。補足資料の扱いでA～Dをあげ、Dのあとに説明文をおいた。それに伴い、「読み解こう」を以下のように変更した。 【「①地図中の1.～4.にあてはまる島の写真を・・(以下同じ)」】	2編集の具体的方針(1)による。
23	図	変更	③「領土・領海・領空の区分」は、点図化し、各区分を断面図の形式で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
23	図	削除 変更	④「主な国の領土と排他的経済水域の面積」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
24	地図	変更	①「北方領土とその周辺」は、日本の領域と境界線がわかるよう点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。

25	地図	変更	④「南東を上にして、日本海周辺を描いた地図」は、それぞれの位置関係がわかるように点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
26	地図	修正	①「日本の都道府県と七地方区分」は点図化し、7地方区分ごとの7枚の地図とし、それに地方名を加えた。それに伴い、「読み解こう」を以下のように変更した。 【①各地方区分にあてはまる都道府県名をすべてノートに書き出そう。】	2 編集の具体的方針(1)による。
27	地図	削除 変更	④「都道府県庁所在地と成り立ち」は、地図は削除し、都道府県庁所在地と城下町の都市名を表形式で示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
27	地図	変更	「地理の技」については、日本の略地図を描けるやり方を指示する形で説明した。	2 編集の具体的方針(1)による。
31	グラフ	変更 削除	本ページ「地理の技」における気温と降水量のグラフは、3都市（オイミヤコン、東京、尾鷲）を点図化した。また東京が基準となるため、東京を最初に掲出した。なお、このページのグラフも、点図では1ページに収まるように示した。 なお、本章において気温と降水量のグラフで取り上げられる地点が属する国は、地図で図示する代わりに「地点名（国名）」のように各図に示しているので留意すること。 また南半球の地域については一年間の最低気温の月に補助線を入れた。	2 編集の具体的方針(1)による。
32	地図	削除	マレーシアの位置を示す地図は、「地図帳で確認しよう」と記述して削除した。以下、本章の各ページの国の位置を示す地図も削除している。点字地図帳等で確認することが望ましい。	2 編集の具体的方針(1)による。
33	地図 グラフ	変更	④「熱帯の気候分布」、⑦「熱帯の気温と降水量」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化し、ダーウィン、クアラルンプール、バンコクの気温と降水量のグラフを点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
35	地図 グラフ	変更	④「乾燥帯の気候分布」、⑦「乾燥帯の気温と降水量」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化し、ウランバートル、アリススプリングス、カイロの気温と降水量のグラフを点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

37	地図 グラフ	変更	④「温帯の気候分布」、⑦「温帯の気温と降水量」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化し、シャンハイ、パース、ロンドンの気温と降水量のグラフを点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
39	地図 グラフ	変更	④「冷帯・寒帯の気候分布」、⑦「冷帯・寒帯の気温と降水量」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化しモスクワ、バロー、昭和基地の気温と降水量のグラフを点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
41	地図 グラフ	変更	④「高山気候の分布」、⑦「高山気候の気温と降水量」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化し、ラサ、ラパス、アディスアベバの気温と降水量のグラフを点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
42	グラフ	削除	②「世界の主な言語別の人口」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
43	地図	削除 変更	③「世界の共通語・公用語」は広がっている地域についての説明文に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
45	グラフ	変更	④「世界に見る宗教別の人口割合」は、円グラフで示した。	2編集の具体的方針(1)による。
45	地図	変更	⑤「世界の主な宗教の分布」は把握しやすい形で点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
46	地図 文章	削除 変更	「2 地図を使って確かめよう」を以下のように変更した。 【1. 次にあげる a、b の気候の特色を持つ地域の広がりやを、地図で確認しよう。 2. 次にあげるア～エの国名と、その国で主に信仰されている宗教名を答えよう。 ア. ネパール イ. イラン ウ. フランス エ. タイ 3. 次のア～オにあげる地名の気温と降水量のグラフを読み、東京の気候の特色を文章でまとめよう。 ア. クアラルンプール (■雨温図の掲載ページ数を示し、地図は削除する。以下同じ)】	2編集の具体的方針(1)による。
47	写真	削除	写真をすべて削除した。	2編集の具体的方針(1)による。

48	写真	削除	写真をすべて削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
48	地図	削除	地図を削除した。次ページの地図や地図帳にて国の位置が確認できる。	2編集の具体的方針(1)による。
49	写真	削除	写真をすべて削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
50	地図	変更	①「アジア州の地勢と国々」は、「地勢編」と「国々編」の2枚に分けた。地図中の首都名を削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
50	吹き出し	変更	先生のセリフを以下のように変更した。 【「〇〇ページの『1. 地図』と比べて、アジアの地域区分の境界線を確認しよう。」】	2編集の具体的方針(1)による。
50	グラフ	変更	②「世界の州別に見た面積と人口」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
51	地図	変更	③「アジアの地域区分」は点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
51	地図	変更	④「アジアの年間降水量」は点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
51	グラフ	変更	⑤「アジア各地の気温と降水量」は点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
52	写真	削除 変更	①写真を削除し、「韓国語・日本語・中国語で『ようこそ』と書かれた旗が並んでいる」という説明を追加した。(さくらの吹き出しと関連性があるため)	2編集の具体的方針(2)
52	グラフ	変更	②「韓国の輸出品・輸出先の変化」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
53	表	変更	④「スマートフォンの企業別の販売台数の割合」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
53	地図	変更	⑤「朝鮮半島の人口密度と都市の分布」は、「朝鮮半島の人口密度の分布」の点図と、「朝鮮半島の主な都市の人口」の数表化とした。 「朝鮮半島の人口密度の分布」の点図化は、人口密度の「500人以上」「200人～500人未満」「200人未満」に区分した。	2編集の具体的方針(1)による。

53	写真	削除	地理の窓の写真は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
54	地図	変更	①「中国の人口密度の分布」は、点図化した。「400人以上」「10人～400人未満」「10人未満」に区分した。	2編集の具体的方針(1)による。
54	地図	変更	②「中国の民族の分布」は点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
54	吹き出し	変更	ひろとのセリフを以下のように変更した。 【「〇〇ページの地図と〇〇ページの地図を比べて、気づいたことについて、話し合おう。」】	2編集の具体的方針(1)による。
55	地図表	変更	④「中国の農業の分布」の地図は、「中国の農業分布」とその他の農産物と降水量」という2つの点図に分けた。表は、文章化した。	2編集の具体的方針(1)による。
55	グラフ	変更	⑥「小麦の生産の国別割合」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
56	グラフ	変更	③「主な電子機器の生産に占める中国の割合」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
57	地図	変更	④「中国の資源の分布と工場」は、要素を整理して点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
58	地図	変更	③「東南アジアの農業分布」は、水田、畑と草地、森林、天然ゴムに区分し、他は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
58	グラフ	変更	④「東南アジアの国の輸出品の変化」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
59	地図	変更	⑤「貿易で結びつく日本と東南アジアの各国」は、「日本から輸入している国」と「日本へ輸入している国」として数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
59	写真	削除	地理の窓の写真は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
60	地図	変更	③「南アジアの農業分布」は、「稲作、小麦、森林」と「綿花、ジュート、茶」の2枚に分けて点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
60	グラフ	変更	④「茶・綿花・ジュートの生産量の国別割合」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。

61	地図	削除	⑥「アメリカ合衆国とインドの位置関係」の地図は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
61	グラフ	変更	⑦「南アジア各国の輸出品」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
61	写真	削除	地理の窓の写真は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
62	写真	削除 変更	①写真は削除した。②写真は削除し、 【海の上に転々と人工島があります。】 という説明を追加した。(ひろとの吹き出しと関連性があるため)	2編集の具体的方針(1)による。
62	グラフ	変更	③「原油の生産量と埋蔵量の国別割合」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
63	地図	変更	④「世界の主な油田と、原油輸出の流れ」は、「原油の移動」を「8000万t以上」「5000万t～8000万t未満」「1000万t～5000万t」の区分にし、輸出元から輸出先で数表化した。地図は、「世界の主な油田」とし、数表と2枚に分けて点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
64	地図	変更	地図「東南アジアに進出した日本企業の数」は、「進出した日本企業の数」を1988年度と2016年度で数表化し、「ASEAN加盟国」を「1988年度時点のASEAN加盟国」と「1989年度～2016年度にASEANへ加盟した国」で表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
64	文章	変更	Qの文章を「東南アジアに進出した日本企業の数」を参考に…と文章を変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
65	地図	削除	2「地図を使って確かめよう」の地図は、削除し、原典教科書50ページの地図を参照にすることとした。	2編集の具体的方針(1)による。
65	文章	変更	本ページの文章を以下のように変更した。 【2 地図を使って確かめよう。 1. P. ○○～○○の地勢編を使って、次のア～クの各場所を確かめよう。 ア. アラビア半島 イ. インドシナ半島 ウ. ウラル山脈 エ. ガンジス川 オ. チベット高原 カ. チャンチャン キ. ヒマラヤ山脈 ク. ホワンホー	2編集の具体的方針(1)による。

			2. 赤道とアジアの国々の位置を確認しよう。 3. 東南アジアの場所を確認しよう。】	
65	文章	変更	「3 表現しよう」の3. の文章のうち、「50 字以内で」を「100 マス以内で」に変更した。	2 編集の具体的方針(1)による。
66	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
66	地図	削除	ヨーロッパの地図を削除した。次ページの地図や地図帳にて国の位置が確認できる。	2 編集の具体的方針(1)による。
67	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
68	地図	変更	①「ヨーロッパの地勢と国々」は、「地勢編」と「国々編」の2枚に分けて点図化した。地図中の首都名を削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
68	地図	変更	②「ヨーロッパの気候」は、「地中海性気候」「西岸海洋性気候」「冷帯・亜寒帯・ツンドラ気候」の区分で点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
69	地図	変更	③「ヨーロッパの主な言語」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
69	地図	変更	④「ヨーロッパの主な宗教」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
69	グラフ	変更	⑤「ヨーロッパ各地の気温と降水量」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
69	写真	削除	地理の窓の写真は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
70	地図	変更	②「ヨーロッパの統合の進展」は、表にして年代順に示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
70	グラフ	変更	④「世界の貿易に占める EU の割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
71	地図	変更	⑤「EU と周辺各国の一人当たり国民総所得」は、表化した。国民一人当たりの国民総所得、国名の順で示した。	2 編集の具体的方針(2)による。
72	グラフ	変更	②「ヨーロッパの生産量が多い農作物の国別割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
73	地図	変更	③「ヨーロッパの農業」は、「混合農業」「酪農・放牧」「地中海式農業・園芸・果樹」「森林・その他」に区分し、点図化した。小麦・ぶどうは削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。

74	図	変更	②「分業による航空機生産のしくみ」は、「航空機部品の製造国」を文章化した。「航空機部品の流れ」は点図化し、上下左右に向かう矢印の流れを上から下へと一本化した。	2編集の具体的方針(1)による。
74	地図	変更	③「ヨーロッパに集まる外国人労働者」は、「外国人労働者の割合」と「外国人労働者の移動」の2つに分けて点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
75	地図	変更	④「ヨーロッパの資源と工業」は、資源と工業で2つに分けて点図化した。「ヨーロッパの資源」では、「石油」「石炭」「鉄」を示した。「ヨーロッパの工業」では、「パイプライン」「工業地域」「主な工業都市」を示した。	2編集の具体的方針(1)による。
75	表 グラフ	変更	⑥「EU各国の1か月あたりの最低賃金の比較」は、数表化した。棒グラフは削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
77	グラフ	変更	⑤「各国の総発電量に占める再生可能エネルギーによる発電の割合」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
77	図	変更	⑦「ヨーロッパの各国間の電力のやり取り」は、「最大発電容量」を数表化した。「融通可能な最大発電量」は削除し、矢印での各国のつながりのみを文章で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
79	地図	変更	④「ロシアとその周辺の植生」は、点図化した。「ステップ・砂漠」は、1つにまとめて示した。	2編集の具体的方針(1)による。
79	地図	変更	⑤「ロシアとその周辺の鉱工業の分布」は、2枚に分けて点図化した。「ロシアとその周辺の鉱産資源」では、「石炭」「石油」「鉄」を示した。「ロシアとその周辺の主な工業都市」では、ウラジオストク、イルクーツク、サンクトペテルブルク、モスクワ、ミンスク（ベラルーシ）、キエフ（ウクライナ）と、「天然ガス」「天然ガスパイプライン」を示した。一部削除したものは、を行う。	2編集の具体的方針(1)による。
79	グラフ	変更	⑥「ロシア連邦の貿易」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
80	地図	変更	「スペインの言語分布」は、点図化し、「カステイラー語」「ガリシア語」「カタルーニャ語」と「その他」を区分して示した。	2編集の具体的方針(1)による。

81	文章	変更	<p>本ページの文章を以下のように変更した。</p> <p>【2 地図を使って確かめよう。</p> <p>1. P. ○○～○○の地勢編を使って、次のア.～コ.の各場所を確かめよう。</p> <p>ア. アルプス山脈 イ. イベリア半島 ウ. ウラル山脈 エ. ポルガ川 オ. 黒海 カ. スカンディナビア半島 キ. 地中海 ク. ドナウ川 ケ. 北海 コ. ライン川</p> <p>2. 現在のヨーロッパ連合加盟国を確認しよう。</p> <p>3. 地中海式農業が行われている地域を地図で確かめよう。】</p> <p>4. 「世界のあらし」(第1巻)を使って、日本と同じぐらいの面積の国を3か国探そう。</p>	2編集の具体的方針(1)による。
81	文章	変更	<p>本ページの文章を以下のように変更した。</p> <p>【3 表現しよう</p> <p>2. ヨーロッパの地中海式農業と…調べてまとめよう。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
82	写真	削除	写真をすべて削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
82	地図	削除	地図を削除した。次ページの地図や地図帳にて国の位置が確認できる。	2編集の具体的方針(1)による。
83	写真	削除	写真をすべて削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
84	地図	変更	①「アフリカの地勢と国々」は、「地勢編」と「国々編」の2枚に分けた。地図中の首都名を削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
84	グラフ	変更	②「アフリカ各地の気温と降水量」は、点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。

85	地図	変更	③「アフリカの気候区分」は、「熱帯雨林気候」「サバナ気候」「ステップ・砂漠気候」「温帯の気候」の区分で示した。赤道を裏点で示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
85	地図	変更	④「アフリカの国々の独立」は、数表化した。独立した年号、国名の順で示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
86	グラフ	変更	②「カカオの生産量・輸入量の国別割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
87	地図	変更	③「アフリカの農業」は、「1. 農業地域」「2. 主な農産物」の2枚に分けて点図化した。1. は「地中海農業」「かんがい農業」「その他(乾燥地域・湿潤地域)の農業」「森林」「砂漠」を示した。2. は「カカオ」「なつめやし」「ぶどう」を示した。それぞれ赤道は、裏点で表した。	2 編集の具体的方針(1)による。
87	グラフ	変更	⑤「ケニアの貿易品目」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
87	写真	削除	地理の窓の写真は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
88	グラフ	変更	②「主な鉱産資源の国別の生産割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
89	地図	変更	③「アフリカの主な鉱産資源」は、点図化し「金」「鉄鉱石」「銅」「ダイヤモンド」「油田」「天然ガス」を表記し、他は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
89	グラフ	変更	④「アフリカの国々の貿易品目」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
90	地図	変更	地図「アフリカ各国の公用語」は、凡例ごとに国名をリスト化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
91	文章	変更	本ページの文章を以下のように変更した。 【2 地図を使って確かめよう。 1. P. ○○～○○の地勢編を使って、次のア～キの各場所を確かめよう。 ア. コンゴ川(コンゴ盆地) イ. ギニア湾 ウ. サハラ砂漠 エ. 地中海 オ. ナイル川	2 編集の具体的方針(1)による。

			カ. ビクトリア湖 キ. マダガスカル島 2. 本初子午線と赤道の位置を確認しよう。 3. サヘルのおおよその範囲を確認しよう。】	
92	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
92	地図	削除	地図を削除した。次ページの地図や地図帳にて国の位置が確認できる。	2 編集の具体的方針(1)による。
93	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
94	地図	変更	①「北アメリカの地勢と国々」は、「地勢編」と「国々編」の2枚に分けた。地図中の首都名を削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
94	グラフ	変更	②「北アメリカの各地の気温と降水量(1)」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
95	地図	変更	③「北アメリカの気温と降水量」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
95	グラフ	変更	⑤「北アメリカの各地の気温と降水量(2)」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
96	グラフ	変更	③「とうもろこし、だいず、牛肉の生産量と輸出量の国別割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
97	地図	変更	④「アメリカ合衆国とカナダの農業地域」は、「園芸農業」「綿花」「とうもろこし・だいず」「酪農」「小麦」「放牧」の区分と年間降水量 500 mm 線を示して点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
98	グラフ	変更	③「主な国の研究費と技術貿易」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
99	地図	変更	④「アメリカ合衆国とカナダの鉱産資源と工業都市」は、「石油・天然ガス」を示すこととし、「石炭」「原油パイプライン」「天然ガスパイプライン」「鉄」「銅」を削除した。主な工業都市は、デトロイト、ピッツバーグ、サンフランシスコ、シリコンバレー、ケンタッキー州、テネシー州を示した。サンベルトは、地図中に文字で示した。	2 編集の具体的方針(1)による。

100	グラフ	変更	②「各国にみる人口 100 人当たりの自動車保有台数」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
101	地図	変更	④「アメリカのハンバーガー会社の店舗の広がり」は、多い国順に数表化した。その他の国・地域の店舗数は、「500 店～1000 店未満」と「100 店～500 店未満」の国名をリスト化して示した。「100 店未満」は国と地域の数(56)のみ示した。写真は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
102	地図	変更	①「アメリカ合衆国の州別・主な都市圏別の人口構成」は、「アフリカ系(黒人)の割合」「ヒスパニックの割合」が各々30%以上の州のみを塗り示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
102	グラフ	変更	②「アメリカ合衆国の人口構成」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
103	写真	削除	地理の窓の写真は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
104	グラフ	変更	グラフ「国防支出総額の国別割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
104	地図	変更	地図「世界に駐留するアメリカ合衆国の兵力」は、「30000 人以上」「10000 人以上から 30000 人未満」「1000 人以上から 10000 人未満」「500 人から 1000 人未満」の区分で国名を示した。	2 編集の具体的方針(2)による。
105	文章	変更	<p>本ページの文章を以下のように変更した。</p> <p>【2 地図を使って確かめよう。</p> <p>1. P. ○○～○○の地勢編を使って、次のア～ク.の各場所を確かめよう。</p> <p>ア. アパラチア山脈 イ. カリブ海 ウ. グリーンランド島 エ. スペリオル湖 オ. フロリダ半島 カ. ミシシッピ川 キ. メキシコ湾 ク. ロッキー山脈</p> <p>2. ハワイ州の位置を確認しよう。</p> <p>3. 次の文章のア～オの空欄にあてはまる数値・言葉を答えよう。北緯(ア)度より南の地域では、西経(イ)度付近を境に、(ウ)の違いから東側(エ)、西側は(オ)に分けられる。】</p>	2 編集の具体的方針(1)による。

105	文章	変更	本ページの文章を以下のように変更した。 【3 表現しよう 1. 【農業と食生活】次の資料から…まとめよう。】	2 編集の具体的方針(2)による。
105	表	変更	表「3 表現しよう」の表は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
106	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
106	地図	削除	地図を削除した。次ページの地図や地図帳にて国の位置が確認できる。	2 編集の具体的方針(1)による。
107	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
108	地図	変更	②「南アメリカの地勢と国々」は、「地勢編」と「国々編」の2枚に分けた。地図中の首都名を削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
108	グラフ	変更	③「南アメリカ各地の気温と降水量」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
109	地図	変更	④「南アメリカの気候区分」は、「熱帯」「サバナ」「ステップ・砂漠」「地中海性・温暖湿潤・西岸海洋性気候」に区分して点図化した。「ツンドラ気候」と「高山気候」は記号で表した。	2 編集の具体的方針(1)による。
109	写真	削除	地理の窓の写真は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
110	地図	変更	②「南アメリカ各国の主な言語と人口構成」は、「南アメリカ各国の主な言語」と「南アメリカ各国の人口構成」に分けて数表化した。「南アメリカ各国の人口構成」は、人口の多い順に示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
112	写真	削除 追加	①「宇宙からとらえたアマゾン川流域の開発の様子」の写真は削除し、「2012年の写真は、1989年の写真に比べ、緑の部分が減少しています。」という文章を追加した。	2 編集の具体的方針(1)による。
112	グラフ	変更	②「ブラジルの森林面積の変化」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
113	地図	変更	⑤「世界の森林面積の変化」は、「5000 km ² をこえる減少」「5000 km ² 未満の減少」「5000 km ² をこえる増加」「5000 km ² 未満の増加」に区分し、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

114	地図	変更	①「アメリカの鉱産資源と、主な国の輸出品目構成」は、「南アメリカの資源」を点図化した。「一人当たりの国民総所得（GNI）」は、表形式で区分ごとに国名を示した。「主な国の輸出品構成」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
114	グラフ	変更	②「ブラジル、ベネズエラの輸出品の移り変わり」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
115	グラフ	変更	⑤「ブラジルの総人口と都市人口の割合の変化」は、点図化した。その際、横軸は20年間隔に変更し、縦軸は最高値を3億人に変更した。	2 編集の具体的方針(2)
116	表	変更	「国別にみた日系人数」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
117	文章	変更	本ページの文章を以下のように変更した。 【2 地図を使って確かめよう。 1. P. ○○～○○の地勢編を使って、次のア～カ.の各場所を確かめよう。 ア. アマゾン川 イ. アマゾン盆地 ウ. ギアナ高地 エ. ブラジル高原 オ. ラプラタ川 カ. アンデス山脈 2. 主にスペイン語が使われている国々を書き出して確認しよう。 3. 次の文章のア～エの空欄にあてはまる数値・言葉を答えよう。 赤道周辺は熱帯で、アマゾン川流域の低地は（ア）とよばれる熱帯雨林の地域となっている。その南東部は（イ）気候となっており、ブラジル高原が広がっている。南部は温帯で、ラプラタ川流域には（ウ）とよばれる草原地帯が広がる。大陸の南端は寒帯で（エ）も見られる。	2 編集の具体的方針(1)による。
118	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
118	地図	削除	地図を削除した。次ページの地図や地図帳にて国の位置が確認できる。	2 編集の具体的方針(1)による。
119	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。

120	地図	変更	①「オセアニアの地勢と国々」は、「地勢編」と「国々編」の2枚に分けた。地図中の首都名を削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
120	グラフ	変更	②「オセアニアの各地の気温と降水量」は、点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
122	グラフ	変更	③「オーストラリアと、ニュージーランドの輸出品の変化」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
123	地図	変更	④「オーストラリアの降水量と農業地域」は、「オーストラリアの農業地域」と「オーストラリアの降水量」の2枚に分けて点図化した。農業地域は、「牧羊」「牧牛」「主に小麦などの穀物」「非農業地域」の区分で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
123	地図	変更	⑤「オーストラリアの鉱工業」は、点図化した。天然ガスパイプラインは削除した。工業都市は、ケアンズ、ブリズベン、シドニー、キャンベラ、メルボルン、パース、ポートヘッドランドを示した。	2編集の具体的方針(1)による。
124	地図	変更	①「オーストラリアへの移民の出身国別人口の移り変わり」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
124	地図	変更	②「日本からオセアニアへの訪問客数」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
125	地図	変更	③「オーストラリアの貿易相手先とその変化」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
125	写真	削除追加	④「ツバルの首都、フナフティの建物」は、写真を削除し、説明の文章を以下のように変更した。「写真が2枚あります。1枚目の写真は浸水前（建物の前の地面は見えています）、2枚目の写真は、満潮が近づき浸水し始めた時の様子です（建物の前一面がみずに浸かっています）。」	2編集の具体的方針(1)による。
127	文章	変更	本ページの文章を以下のように変更した。 【2 地図を使って確かめよう。 1. P. ○○～○○の地勢編を使って、次のア.～エ.の各場所を確かめよう。 ア. グレートディバイディング山脈 イ. グレートビクトリア砂漠 ウ. ニューギニア島 エ. 日付変更線	2編集の具体的方針(1)による。

			<p>2. 次の各地域を確かめよう。</p> <p>ア. ポリネシア イ. ミクロネシア ウ. メラネシア</p> <p>3. 地図の中の東経 135 度線を確認しよう。】</p>	
127	文章	変更	<p>本ページの文章を以下のように変更した。</p> <p>【3 表現しよう</p> <p>2. 次の文章のア～カの空欄にあてはまる数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉を答えよう。 <p>(ア) ネシアは、赤道より北で、経度 (イ) 度より西の地域、(ウ) ネシアは、赤道より南で経度 (エ) 度より西の地域、(オ) ネシアは、経度 (カ) 度より東の地域を指す。】</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
127	表	変更	「3 表現しよう」の表は、雨温図に変更し点図化し、東京の雨温図と並べて表した。	2 編集の具体的方針(1)による。
129	配置	移動	P. 129～132 は、第 1 巻に配置した	2 編集の具体的方針(1)による。
129	地図	変更	地図「夏季オリンピックの開催国・都市の分布」は、「開催都市のリスト」「開催国の地域別リスト」の 2 枚の表に分けて示した。	2 編集の具体的方針(2)による。
130 ～131	地図 本文	削除 変更	<p>『宇宙からとらえた地球』</p> <p>写真をタイトルで示し、その後以下のように先生(女性)による解説を変更した。</p> <p>【「二枚の写真があります。1 枚目は、海底も含めた世界の地形を…(以下同じ)、2 枚目は、世界各地が夜間の時を…(以下同じ)…合成したものです。」】</p> <p>※最後の 1 文を削除した。</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
130 ～131	地図 本文	削除 変更	<p>『宇宙からとらえた日本列島』</p> <p>地図自体は削除し、セリフを通じて解説する。最初に解説文を付加する。</p> <p>【「日本列島を宇宙からとらえた写真があります。日本列島の特徴のある場所を、一緒に見ていきましょう。」 以下、①～⑭を解説する。</p> <p>文章は次の点を変更する。</p> <p>①「…山々があります。写真には、山頂には雪が積もっている様子が写っています」</p>	2 編集の具体的方針(1)による。

			②「…続きます。海のそばにいくつも池が見られますが、このような池を海跡湖と言います」 ※他は同じとする。】	
132	地図	削除 変更	「日本の世界遺産の分布」 地図は削除し、先生のコメントの後、世界遺産を北から順に並べることとした。	2編集の具体的方針(1)による。
134	地図	変更	②「愛知県名古屋市の位置」は、愛知県の県域と名古屋市の位置がわかるように点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
137	地図	削除	③「地域の浸水状況図」は地形図からの読み取りは困難なことから地図を削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
138 ~139	地図	削除	②「20万分の1地勢図」③「5万分の1地形図」④「2万5千分の1地形図」⑤「1万分の1地形図」⑧「学校の周りの様子(地形図)」はいずれも点図での表記が困難なため地図を削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
138	地図 記号	削除 変更	①「主な地図記号」は、代表的なものとして以下の12個のみを点図で示した 【市役所、官公署、裁判所、小中学校、寺院、史跡・名勝・天然記念物、高塔、電波塔、果樹園、荒地、広葉樹林、針葉樹林】	2編集の具体的方針(1)による。
139	読み 解こ う	変更	「読み解こう」は、地形図と対照しなくても計算ができるように表記・表現を変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
139	表	変更	⑦「縮尺による地形図上の長さ与实际の距離」は、数直線は削除し、「1cm=250m」「1cm=500m」と表記する。	2編集の具体的方針(1)による。
140	地図	削除	②「小里川ダムの位置」③地図「小里川ダム周辺の様子」(地形図)は作図困難のため削除した。(Qも含む。)	2編集の具体的方針(1)による。
141	地図 図	削除 変更	「地理の技：地形図から断面図を作ろう」中の図は、次の通りとした。 【1)サーモフォームで作成した、高さの差がわかる図 2)断面図として作成した地図】	2編集の具体的方針(1)による。
141	地図	削除	⑥「昔の地形図」⑦地図「現在の地形図」はいずれも点図での表記が困難なため地図を削除した。	2編集の具体的方針(1)による。

141	地理の技	変更	新旧地形図が関係するため、以下の通り内容を変更した。 【① 交通や土地利用に注目して、昔の地形図を観察する。 ② 同じように、交通や土地利用注目して、現在の地形図を観察する ③ 新旧の地形図を比べて、変化したことと、変化していないことについて、それぞれまとめる。】	2 編集の具体的方針(1)による。
143	地図	削除	④「地域のハザードマップ」は地形図からの読み取りは困難なことから地図を削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
144	地図	変更	①「市域の拡大」は、要素を精選して地図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
144	グラフ	変更	②「市の人口の拡大」は、数表化した	2 編集の具体的方針(1)による。
143	表 グラフ	変更	③「市の人口構成の変化」は、数表化し、人口ピラミッドを完成させた状態で示した	2 編集の具体的方針(1)による。
144	図	変更	④「イラストマップ」は要素を精選した状態で地図化した	2 編集の具体的方針(1)による。
147	地図	削除 変更	GISを利用して地図が作成できることを示し、地図自体は削除した。	2 編集の具体的方針(2)による。
148～ 149	地図	削除 変更	①「都道府県別の人口分布」、②地図「都道府県別の在留外国人分布」、③地図「都道府県別の工業生産額の分布」はいずれも数表化し、③に示された太平洋ベルトは削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
148～ 149	地図	変更	④「日本の気候区分」は点図化した	2 編集の具体的方針(1)による。

148～ 149	地図	削除 変更	⑤「各地の雑煮に入れる餅の形の分布」、⑥「鉄道会社（JR）の営業地域」、⑦地図「地方ごとの季節予報を発表するときの気象庁の地域区分」はいずれも数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
151	地図	変更	③「世界の主な地震源と火山の分布」は、二つの造山帯が帯として理解できるよう配慮して作成し、主に火山の位置を示した。	2編集の具体的方針(1)による。
151	地図	変更	「地理の窓：日本では地震が多いのはなぜなのか」中の「日本付近のプレート」の図は、二枚の点図として示し、日本周辺のプレートとその断面を明確にした。	2編集の具体的方針(1)による。
152	地図	変更	②「日本の主な山脈・山地と、火山の分布」は、フォッサマグナでわけた、東北日本と西南日本の二枚の点図として示した。	2編集の具体的方針(1)による。
152	地図	変更	⑦「日本周辺の海と海流」は、海溝と海流の区別がつくように点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
153	図	変更	①「世界の日本の主な川の比較」は、常願寺川、木曾川、セーナ川、メコン川のみ点図化し、残りの川については数表で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
153	地図	削除 変更	②「日本の主な平野と川の分布」は、「平野・盆地」と「川」を別にして2枚の地図を作成した。	2編集の具体的方針(1)による。
155	図	変更	⑥「河川と平野の地形」は、地形の変化を明確にするため、サーモフォームを利用して点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
155	図	変更 削除	③「冬と夏の季節風」は、説明により模式図の意図が理解できるので、図は削除した	2編集の具体的方針(1)による。
157	地図	削除	⑤「日本の気候区分と季節風」は、再掲となるので、本ページでは削除した。（参照ページを明示する）	2編集の具体的方針(1)による。
157	グラフ	変更	⑥「日本各地の気温と降水量」は、点図化した。⑤の関係を意識した。	2編集の具体的方針(1)による。
158	地図	変更 削除	②「日本周辺の主な地震と活断層の分布図」は、地震の震央と活断層の区別がつくように点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。

159	地図	変更	⑤「南海トラフ地震の震源を予測した地図」は、南海トラフと予想震源域に特化した内容で点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
160	地図	変更	①「横須賀市が作成した津波ハザードマップ」は地形と久里浜駅の位置が分かるように点図化した。地形の高さを示すためにサーモフォームを用いた。	2編集の具体的方針(1)による。
160	関係図	変更	②「被災した地域を支援する公的なしくみ」は、被災地との関連性に配慮して、表にした	2編集の具体的方針(1)による。
161	図	変更 削除	③「有珠山火山防災マップ」は、削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
162	地図	削除 変更	①「世界の人口密度」は、5つの階級のうち、数の少ない2階級を「10人未満」に統合して点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
162	グラフ	変更	②「世界の人口の変化」は、年号がわかるように明確化して点図化し、「かかった年数」の資料は別に数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
162	図	削除 変更	③「各国に見る人口密度の違い」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
163	グラフ	変更	④「国別の人口構成の例」および⑤「日本の人口構成の変化」は点図化した。なお、各グラフ内の人口構成の分布は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
163	グラフ	変更	⑥「日本の年齢別の人口割合の変化」は数表化した	2編集の具体的方針(1)による。
164	地図	変更	①「日本の人口密度の分布」は、4階級のうち、数の少ない2階級を「300人未満」に統合して点図化した。 また、政令指定都市は別に表形式で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
164	グラフ	変更	②「三大都市圏への人口集中」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
164	地図	変更	③「東京圏・大阪圏への人口移動」は、「〇〇から」が明確になるように数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
164	地図	変更	④「都道府県別の人口増減率」⑤地図「都道府県別の老年人口率」は、階級ごとに都道府県数と都道府県名を示し、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。

165	図	変更	⑥「過疎の地域と過密の地域の年齢別人口構成」は、2枚の人口ピラミッドに分けてグラフで示した。	2編集の具体的方針(1)による。
166	グラフ	削除	①「日本が輸入している主な資源の輸入先」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
166	地図	削除 変更	②「世界の鉱産資源の分布」の図は、本文に関わる石油、石炭、鉄鉱石の分布のみ図示した。	2編集の具体的方針(1)による。
166	グラフ	変更	③「石炭・原油・鉄鉱石の生産割合」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
167	グラフ	変更	④「主な国の発電量の内訳」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
167	地図 グラフ	変更	⑤「日本の主な発電所の分布」は、要素を集約して点図化した。エネルギー別発電量のグラフは数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
168	地図	変更	①「都道府県別にみた日本の産業活動とその立地」は、3枚の図について階級ごとに都道府県名を表形式で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
168	グラフ	変更	②「日本の産業別人口構成の割合の変化の移り変わり」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
169	地図 グラフ	変更	③「日本の主な工業地帯・工業地域と出荷額の割合」は、「日本の主な工業地帯・工業地域の地域構成と出荷額の割合」と前半の標題を変更し、その部分のみ表形式で示し、地図は削除した。工業出荷額の割合は別の表で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
170	地図	変更	①「GISを利用して作成した日本から発着する定期航空便の就航先」は、表形式で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
170	グラフ	変更	②「日本人出国者数と外国人来日者数の移り変わり」はグラフで示した。	2編集の具体的方針(1)による。
171	地図	変更	③「日本の交通網の移り変わり」は新幹線と航空について、それぞれ年代別に地名が記されているものを表形式で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
171	グラフ	変更	④「国内の貨物輸送量の移り変わり」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
172	地図 文章	削除 変更	このページの地図を削除し、参照ページを示した。	2編集の具体的方針(1)による。

176	地図	削除	①「九州地方の位置」を削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
176	文章	変更	Qの文章を以下のように変更した。 【福岡市から大阪、東京、ソウル、シアンハイ、ペキンまでの距離を調べてみよう。また、福岡市・対馬（長崎県）間と、対馬・朝鮮半島間の距離を調べてみよう。】	2編集の具体的方針(1)による。
177	地図	変更	④「九州地方の地勢と各県」は、地勢と各県・各市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	2編集の具体的方針(1)による。
177	グラフ	変更	⑤「九州地方各地の気温と降水量」は3枚とも点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
178	吹き出し	変更	「これは何かな。なぜ埋れてしまったんだろう。」を「この鳥居は、なぜ埋れてしまったんだろう。」に変更。	2編集の具体的方針(1)による。
179	地図	変更	⑤「九州地方の火山の分布」は、火山の位置のみ点図化し、火山名は表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
180	写真	追加	①「5月の筑紫平野」は、写真を削除し、【水田や麦畑が広がっています。】という説明を追加した。	2編集の具体的方針(1)による。
180	吹き出し	変更	「いろいろな色があるね。どうしてかな？」を「平野にはいろいろな色があるよ。どうしてかな？」に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
180	グラフ	変更	③「家畜・野菜の都道府県別の生産割合」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
181	図	削除	地理の窓の図「鶏ふんを活用した循環型のエコシステム」及びキャプションを削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
182	写真	追加	①「洞海湾の移り変わり」に、 【(1)の写真は、海水が黄色に変色しています。】という説明を追加した。	2編集の具体的方針(1)による。
183	地図	変更	③「九州地方の主な工業分布」は、鉄鋼、I C、自動車、高速道路を地図上に示して点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。

183	グラフ	変更	④「北九州市の工業生産の変化」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
184	地図	変更	③「沖縄県の土地利用」は、住宅地などと軍用地を地図上に示して点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
185	グラフ	変更	⑥「沖縄県の観光客数と観光収入の移り変わり」は、入域観光客数を点図化、観光収入を数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
186	表	変更	<p>四大公害の表を以下のように文章化した。</p> <p>【イタイイタイ病（富山県）は、鉱山から神通川流域に流されたカドミウムによる水質汚濁が主な原因です。1910年代から、神通川下流で発生していたと推定されています。</p> <p>水俣病（熊本県・鹿児島県）は、工場廃液の中の水銀などによる水質汚濁が主な原因です。1953年ごろから、水俣湾で集団的に発生しました。</p> <p>四日市ぜんそく（三重県）は、コンビナート工場群が排出した亜硫酸ガスによる大気汚染が主な原因です。1960年ごろから、四日市市で発生しました。</p> <p>新潟水俣病（新潟県）は、工場廃液の中の水銀などによる水質汚濁が主な原因です。1964年ごろから、阿賀野川下流で発生しました。】</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
187	文章	変更	ワードチェック「1 次にあげた九州地方で学習してきた言葉を説明しよう。」と変更した。	2 編集の具体的方針(1)による。
187	地図	削除	2「地図や表を使って確かめよう。」の地図は、原典教科書177ページ掲載の地図を参照することとした。	2 編集の具体的方針(1)による。

187	本文	変更	<p>本ページの文章を以下のように変更した。</p> <p>【2 ○○ページの地図を使って確かめよう。</p> <p>1. 次の各場所を確かめよう。</p> <p>ア. 筑紫平野 イ. 筑紫山地 ウ. 有明海 エ. 雲仙岳 オ. 阿蘇山 カ. 筑後川 キ. 九州山地 ク. 熊本平野 ケ. 八代平野 コ. 宮崎平野 サ. 桜島（御岳） シ. 種子島 ス. 屋久島 セ. 沖縄島 ソ. 与那国島】</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
187	本文	変更	<p>文章と表を以下のように変更した。</p> <p>【2 地図や表を使って確かめよう。</p> <p>③北九州工業地域の移り変わりについて、次の文章の（ア）～（キ）に当てはまる語句を答えよう。</p> <p>1901年～ 官営（ア）で、鉄鋼の生産を開始。鉄鋼業・セメント工業などの（イ）工業が盛んに。</p> <p>1960年代（ウ）が続き、鉄鋼生産は大きく伸びる。（エ）と洞海湾の水質の悪化が深刻な問題へ。※（オ）が進み、他地域の発展から工業地帯としての地位が低下。企業による公害の防止技術や（カ）の技術などの開発・実用化へ。</p> <p>現在（キ）を循環させて利用する環境関連産業の発展へ。】</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
190	地図	削除 変更	<p>①「通信使の名残」（1）朝鮮通信使の行路の地図は削除し、文章に変更した。</p> <p>【漢城（現在のソウル）を出発し、釜山から対馬海峡を渡り、下関、鞆の浦を通り江戸に向かいました。】</p>	2 編集の具体的方針(1)による。

190	地図	変更	②「中国・四国地方の人口分布」は、県境を削除し、各県庁所在地周辺を中心に人口分布を示し、点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
191	地図	変更	③「中国・四国地方の地勢と各県」は、地勢と各県・各市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	2編集の具体的方針(1)による。
191	グラフ	変更	④「中国・四国地方の気温と降水量」は3枚とも点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
192	本文	変更	本文「軍隊の記号○★や★を読み取ることができます。」を 【軍隊の記号(丸に星や星)がえがかれています。】に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
192	L00 K!	変更	冒頭部分を以下のように変更した。 【昔の広島市を示した古い地形図からは、当時の様子がわかり、現在の地形図と比べることで地域の変化を捉えることもできます。1980年、…】	2編集の具体的方針(1)による。
192	写真	削除	①「1898年ごろの広島市」は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
192	吹き出し	変更	「…記号があるね。」を「記号があるよ。」に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
192	グラフ	変更	②「広島市の人口・面積の変化」は、グラフ中の年号と出来事は表化した。人口の変化の折れ線グラフは点図化し、面積の棒グラフは数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
193	地図	削除 変更	③「1950年ごろ、2012年ごろの広島市」タイトルを「2012年ごろの広島市」に変更し、1950年ごろの地図を削除した。地図上に太田川、広島城、平和大通、原爆ドーム、平和公園、相生橋を示した。キャプションを「原爆はTの形をした相生橋を投下目標として落とされました。広島城から紙屋町周辺の畑が広がっていたところには、県庁や市民病院、合同庁舎などが建てられています。」と変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
195	地図	変更	④「中国・四国地方の市区町村別の人口増減率の変化」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
195	読み解こ	変更	文章を以下のように変更した。	2編集の具体的方針(1)による。

	う		【1. 資料4の2010年～2015年の表で、人口が増加傾向にある地域はどこかを答えよう。 2. 資料4の二つの表を比べて、人口が減少している地域と地形との関係を答えよう。】	
196	地図	削除 追加	②「高知県馬路村・徳島県上勝町の位置」は削除し、以下の追加説明を加えた。 【馬路村は高知市から東へ50kmほど行った、徳島県との県境にある山あいの村です。上勝町は徳島市から南西に20kmほど行った山あいの町です。】	2編集の具体的方針(1)による。
196	グラフ	変更	③「馬路村の人口の変化と人口構成」は2枚とも点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
197	グラフ	変更	⑥「上勝町の人口構成」は点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
198	地図	削除 変更	①「本州四国連絡橋のルート」は削除し、表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
199	地図	変更	⑤「中国・四国地方の交通網の変化」は、高松市から3時間程度で到達できる範囲を1枚の地図に表し、高速道路は2018年のものを地図上に表した。	2編集の具体的方針(1)による。
199	グラフ	変更	⑥「本州・四国間の高速バスの輸送客数の変化」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
200	図	変更	「『関係人口』のイメージ」は、次のように文章化した。 【 次の1～3の項目のうち数字が大きくなるにつれて、地域との関わりは強くなる。 1. 交流人口 ・ほとんど関わりがない人 2. 関係人口 ・地域との間を行き来する人 ・地域と何か関わりがある人（かつてそこで勤務、かつてそこで生活、かつてそこで滞在など） ・地域内にルーツがある人 （関係人口を生み出す事例） ・ふるさと納税 ・オーナー制度（土地、農産物など） ・サポーター制度（広報誌、地域での行事案内の送付など）	2編集の具体的方針(1)による。

			<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の山村留学や体験学習 <p>3. 定住人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住者（住民） 	
201	本文	変更	ワードチェック「① 次にあげた中国・四国地方で学習してきた言葉を説明しよう。」と変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
201	地図	削除	2「地図や表を使って確かめよう。」の地図は、原典教科書191ページ掲載の地図を参照することとした。	2編集の具体的方針(1)による。
201	本文	変更	<p>本ページの文章を以下のように変更した。</p> <p>【2 ○○ページの地図を使って確かめよう。</p> <p>1. 次の各場所を確かめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア. 宍道湖 イ. 中国山地 ウ. 瀬戸内海 エ. 吉野川 オ. 四国山地 カ. 室戸岬 キ. 四万十川 ク. 土佐湾 ケ. 讃岐平野 コ. 高知平野 サ. 竹島 <p>】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
204	地図	削除 追加	<p>③「主な都の移り変わり」と古い国名」は削除し、次の文章を追加した。</p> <p>【畿内五カ国の現在の位置</p> <p>大和（奈良県）、河内（大阪府東部）、摂津（兵庫県東部）、山城（京都府南部）、和泉（大阪府西部）</p> <p>】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
205	地図	変更	④「近畿地方の地勢と各府県」は、地勢と各府県・各市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	2編集の具体的方針(1)による。
205	グラフ	変更	⑤「近畿地方の気温と降水量」は4枚とも点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
205	地図	変更	⑥「近畿地方の人口分布」は、県境を削除し、各府庁所在地周辺を中心に人口分布を示し、点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
206	地図	削除	②「平安京の大路と現在の市街地」は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。

207	図	変更	⑤「京町家の間取りの例」は点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
208	グラフ	変更	②「東大阪市の製造業」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
208	グラフ	変更	③「日本の工業地帯・地域の生産割合の変化」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
209	地図	変更	④「日本の主な製鉄工業の分布の変化」は表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
209	地図	変更	⑤「近畿地方の主な工業都市の分布」は、播磨臨海工業地域、堺・泉北臨海工業地域、県庁所在地を点図化し、工業生産額が1兆円以上の都市を表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
210	LOOK!	変更	冒頭部分を以下のように変更した。 【資料1の写真は、大阪の北の玄関口、梅田にある大阪駅です。…】	2編集の具体的方針(1)による。
210	グラフ	変更	③「卸売業の年間所品販売額に占める東京都・大阪府・愛知県の割合の変化」は、グラフは点図化し、数値は数表化して併記した。	2編集の具体的方針(1)による。
211	地図	変更	④「大阪市・京都市・神戸市への通勤・通学者の分布」は、地図は削除し、それぞれの都市に通勤・通学している人数を府県ごとに数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
213	地図	削除追加	④「琵琶湖周辺地域の市街地の拡大」は地図を削除し、次の文章を追加した。 【市街地が大津市から草津市にかけて拡大している。】	2編集の具体的方針(1)による。
213	地図	変更	⑤「淀川水系の水が供給されている地域」は、淀川水系流域界、利用区域、淀川を点図化し、琵琶湖・淀川給水区域の上水道の給水人口は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
213	図	変更	⑥「琵琶湖の水質の変化」は透明度を6m以上、4m～6m未満、2m未満～4m未満に変更し、2008年と2018年のものを点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
215	本文	変更	ワードチェック①を以下のように変更した。 【① 次にあげた近畿地方で学習してきた言葉を説明しよう。】	2編集の具体的方針(1)による。
215	地図	削除	2「地図や表を使って確かめよう。」は、原典教科	2編集の具体的方針(1)による。

			書 205 ページ掲載の地図を参照することとした。	による。
215	本文	変更	<p>本ページの文章を以下のように変更した。</p> <p>【2 ○○ページの地図を使って確かめよう。</p> <p>1. 次の各場所を確かめよう。</p> <p>ア. 若狭湾 イ. 琵琶湖 ウ. 京都盆地 エ. 伊勢湾 オ. 志摩半島 カ. 奈良盆地 キ. 淀川 ク. 大阪湾 ケ. 紀ノ川 コ. 紀伊山地 サ. 熊野川（新宮川） シ. 紀伊半島 ス. 大阪平野 セ. 淡路島</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
215	本文	変更	<p>文章と表を以下のように変更した。</p> <p>【2 地図や表を使って確かめよう。</p> <p>3. 阪神工業地帯がどのように変化してきたか、次の文章の(ア)～(エ)に当てはまる語句を答えよう。</p> <p>明治時代 繊維や日用雑貨、食品などの(ア)工業が発達。</p> <p>第二次世界大戦前 (イ)の工業地帯。</p> <p>第二次世界大戦後 内陸部では、電気製品を中心とする(ウ)工業。臨海部では、鉄鋼や石油化学などの(エ)工業がそれぞれ発達。】</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
218	地図	変更	②「北陸地方、中央高地、東海地方の区分」は点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
218	グラフ	変更	③「中部地方各地の気温と降水量」は3枚とも点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
219	地図	変更	④「中部地方の地勢と各県」は、地勢と各県・各市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	2 編集の具体的方針(1)による。

220	グラフ	変更	②「おもな工業地帯・工業地域の生産額の割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
220	グラフ	変更	③「輸送用機械の生産額の都道府県別割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
221	地図	変更	⑤「中部地方太平洋側の工業都市の分布」は、工業地帯、工業地域と工業生産額 3 兆円以上の都市を点図化し、工業地域別に 3 兆円以上と 1 兆～3 兆円未満の都市は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
221	グラフ	変更	⑧「パルプ・紙・紙加工品の生産額の都道府県別割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
222	グラフ	変更	②「茶の都道府県別の生産割合」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
223	グラフ	変更	④「日本の漁獲量の変化」は、遠洋漁業、沖合漁業、輸入量、海面養殖業を点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
223	地図	変更 削除	⑤「日本の主な漁港と水揚げ量」は、海流を削除し、10 万 t 以上の漁港のみを点図化し、水揚げ量は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
223	グラフ	変更	⑥「みかんの都道府県別の生産割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
224	グラフ	変更	②「レタスの都道府県別の生産割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
224	グラフ	変更	③「レタスの月別出荷量」はグラフを点図化し、数値は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
224	グラフ	変更	④「ぶどうの都道府県別の生産割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
225	地図	削除 変更	⑤「中央高地の主な観光地と観光客数」は、地図を削除し、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
226	地図 写真	変更 削除	①「北陸地方の伝統的工芸品の産地と地場産業」は、表化した。写真は削除し、表に含めた。	2 編集の具体的方針(1)による。
226	地図	変更	②「日本の最深積雪量の分布」は、年最深積雪量を 140 cm 以上、60 cm 以上 140 cm 未満、60 cm 未満に変更し、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
227	地図	変更	③「日本の主な地場産業の分布」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

227	グラフ	変更	④「中部地方の主な県の農業生産額の割合」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
228	グラフ	変更	「国籍(出身地)別外国人数の割合」は、日本、浜松市ともに数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
229	本文	変更	ワードチェック「① 次にあげた近畿地方で学習してきた言葉を説明しよう。」と変更した。	2 編集の具体的方針(1)による。
229	地図	削除	2「地図や表を使って確かめよう。」の地図は、原典教科書 219 ページ掲載の地図を参照することとした。	2 編集の具体的方針(1)による。
229	本文	変更	本ページの文章を以下のように変更した。 【2 ○○ページの地図を使って確かめよう。 1. 次の各場所を確かめよう。 ア. 能登半島 イ. 神通川 ウ. 越後平野 エ. 信濃川 オ. 阿賀野川 カ. 越後山脈 キ. 諏訪湖 ク. 飛騨山脈 ケ. 木曾山脈 コ. 赤石山脈 サ. 富士山 シ. 伊豆半島 ス. 浜名湖 セ. 濃尾平野 ソ. 知多半島 タ. 伊勢湾 チ. 木曾川 ツ. 若狭湾 】	2 編集の具体的方針(1)による。
233	地図	変更	④「関東地方の地勢と各都県」は、地勢と各都県・各市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	2 編集の具体的方針(1)による。
233	グラフ	変更	⑤「関東地方各地の気温と降水量」は、2枚とも点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
234	地図	削除 追加	①「国の省庁などの機関の多くが集まっている都心」は、地図を削除し、次のように文章化した。 【東京都千代田区南部の桜田門から虎ノ門駅にかけて	2 編集の具体的方針(1)による。

			ては、最高裁判所や国会議事堂、外務省、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、財務省、法務省、内閣府、農林水産省、警視庁などの中央官庁が集中している。】	
234	吹き出し	削除	あおい「写真と地図を照らし合わせてみよう。」は、削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
234	グラフ	変更	②「東京都と関東地方への集中」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
235	地図	変更	③「東京の中心部に集中する施設」は、鉄道路線、主要駅、商業・業務地区を点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
235	地図	削除 変更	④「日本国内の主な航空路線と旅客数」は地図を削除し、100万人以上が利用している国内航空路線を数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
235	グラフ	変更	⑤「東京周辺の昼間と夜間の人口」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
236	グラフ	変更	③「東京大都市圏にみる地価の比較」はグラフ化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
237	地図	削除	④「鉄道に沿って拡大する東京大都市圏の市街地」は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
237	地図	削除 変更	⑤「東京23区への通勤・通学者の分布」は地図を削除し、ニュータウンの位置と、通勤距離ごとに通勤通学者人口10万人以上と5万人以上の都市を表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
238	グラフ	変更	②「全国にみる関東地方の工業の割合の変化」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
239	写真	追加	④「大都市への輸送条件のよさを生かしたキャベツ生産」の2枚の写真にはそれぞれ次のタイトルを追加した。 【(1)キャベツの収穫 (2)大都市向けに出荷するための積み込み作業】	2 編集の具体的方針(1)による。
239	地図	変更	⑤「関東地方における工業都市の分布」は、自動車道、工業生産額が3兆円以上、1兆円～3兆円未満の都市を点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
239	グラフ	変更	⑥「関東地方と周辺の主な都市で消費される野菜の生産地」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

240	地図	変更	②「日本の主な港の貿易額」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
241	グラフ	変更	③「関東地方の主な港の貿易品目」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
241	グラフ	変更	④「関東地方・東京都に暮らす外国人の割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
243	本文	変更	ワードチェックを以下のように変更した。 【1 次にあげた関東地方で学習してきた言葉を説明しよう。】	2 編集の具体的方針(1)による。
243	地図	削除	2「地図や表を使って確かめよう。」の地図は、原典教科書 233 ページ掲載の地図を参照することとした。	2 編集の具体的方針(1)による。
243	本文	変更	本ページの文章を以下のように変更した。 【2 ○○ページの地図を使って確かめよう。 1. 次の各場所を確かめよう。 ア. 阿武隈高地 イ. 利根川 ウ. 霞ヶ浦 エ. 下総台地 オ. 房総半島 カ. 荒川 キ. 東京湾 ク. 多摩川 ケ. 関東山地 コ. 関東平野 サ. 三浦半島 シ. 相模湾】	2 編集の具体的方針(1)による。
243	本文	変更	文章と表を以下のように変更した。 【2 地図や表を使って確かめよう。 3. 首都東京の機能について、次の項目ア. イ. の理由をそれぞれ答えよう。 ア. 日本の政治・行政の中心 イ. 日本の文化の中心】	2 編集の具体的方針(1)による。
246	地図	変更	①「やませによって発生した霧と、やませの吹き込み方」は、(3)の地図を点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
246	グラフ	変更	②「東北地方各地の気温と降水量」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

247	地図	変更	③「東北地方の地勢と各県」は、地勢と各県・各市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	2編集の具体的方針(1)による。
247	図	変更	⑤「リアス式海岸と津波の関係」は点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
248	地図 写真	変更 削除	①「東北地方にみられるさまざまな雑煮」は、それぞれの餅が丸餅か角餅かを追記し表化した。写真は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
249	地図	変更	③「東北地方の伝統的工芸品の分布」は、表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
249	図	変更	④「南部曲家の間取りの例」は、居室等の名称を表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
251	地図	変更	④「ユネスコに登録された日本の無形文化遺産の分布」は、表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
252	写真	追加	①「農村の風景」に、次のキャプションを追加した。 【直線ではないあぜ道や曲がりくねった水路が見られます。】	2編集の具体的方針(1)による。
253	地図	変更	④「東北地方の主な交通網と工業の分布」は、タイトルを「東北地方の高速道路とI C関連工場の分布」に変更し、高速道路、I C関連工場を点図化し、製造品出荷額を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
254	グラフ	変更	②「ほうれん草の月別出荷額」は、グラフを点図化し、数値は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
255	グラフ	変更	④「東北地方各県の農業生産構成の変化」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
257	本文	変更	ワードチェックを以下のように変更した。 【1 次にあげた東北地方で学習してきた言葉を説明しよう。】	2編集の具体的方針(1)による。
257	地図	削除	2「地図や表を使って確かめよう。」の地図は、247ページ掲載の地図を参照することとした。	2編集の具体的方針(1)による。
257	本文	変更	本ページの文章を以下のように変更した。 【2 ○○ページの地図を使って確かめよう。 1. 次の各場所を確かめよう。 ア. 津軽半島 イ. 下北半島 ウ. 陸奥湾	2編集の具体的方針(1)による。

			エ. 三陸海岸 オ. 白神山地 カ. 男鹿半島 キ. 奥羽山脈 ク. 北上高地 ケ. 北上川 コ. 阿武隈川 サ. 田沢湖 シ. 庄内平野 ス. 出羽山地 セ. 山形盆地 ソ. 猪苗代湖 】	
260	地図	変更	②「アイヌ語に由来する主な地名」は、表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
261	地図	変更	③「北海道地方の地勢」は、地勢と主な各市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	2 編集の具体的方針(1)による。
262	地図	変更	②「各地で異なる北海道の積雪量」は、年最深積雪量を140 cm以上、60 cm以上140 cm未満、60 cm未満に変更し、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
263	グラフ	変更	⑥「北海道各地の気温と降水量」は、点図化した。265 ページにも3枚あることを追記した。	2 編集の具体的方針(1)による。
263	地図	変更	⑨「十勝川流域の湿地の分布の移り変わり」は、湿地と農地を点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
264	グラフ	変更	②「日本・各都道府県と北海道の耕地面積の比較」は、それぞれを数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
265	本文	変更	「十勝平野で農家を経営する村瀬さんの話」の冒頭部分を以下のように変更した。 【明治時代の終わりに開拓された農地で…】	2 編集の具体的方針(1)による。
265	グラフ	変更	④「主な農産物の生産量に占める北海道の割合」は、北海道以外の県をその他として点図化し、他県を入れた数値を併記した。	2 編集の具体的方針(1)による。
265	グラフ	変更	⑥「北海道各地の気温と降水量」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
267	グラフ	変更	⑤「北海道の海面漁業生産の変化」は、生産量の折れ線グラフを点図化し、生産額を数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

267	地図	変更	⑥「北海道の市町村別漁業生産量と魚種別生産量」は、北海道の魚種別生産量、北海道の市町村別漁業生産量それぞれを数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
268	グラフ	変更	③「北海道を訪れる観光客数の推移」は、点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
268	グラフ	変更	④「北海道の外国人観光客の国・地域別割合」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
269	地図	変更	⑤「日本の国立公園」は、表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
269	グラフ	変更	⑥「北海道の月別観光客数は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
270	地図	変更	「ベツ」「ナイ」（「川」の意味）がつく地名の分布は、地名の数を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
272	本文	変更	ワードチェックの文章を、以下のように変更した。 【1 次にあげた北海道地方で学習してきた言葉を説明しよう。】	2編集の具体的方針(1)による。
272	地図	削除	2「地図や表を使って確かめよう。」の地図は、原典教科書261ページ掲載の地図を参照することとした。	2編集の具体的方針(2)による。
272	本文	変更	本ページの文章を以下のように変更した。 【2 ○○ページの地図を使って確かめよう。 1. 次の各場所を確かめよう。 ア. 石狩平野 イ. 石狩川 ウ. 上川盆地 エ. オホーツク海 オ. 知床半島 カ. 根釧台地 キ. 十勝平野 ク. 日高山脈 ケ. 有珠山 コ. 内浦湾 サ. 渡島半島 シ. 釧路湿原 ス. 択捉島】	2編集の具体的方針(1)による。

272	本文	変更	文章を以下のように変更した。 【3. 北海道の特色について、下の文の（ア）～（カ）に当てはまる語句を答えよう。】	2 編集の具体的方針(2)による。
273	地図	変更	「国内のジオパーク」は、都道府県名、名前、ユネスコ世界ジオパーク or 日本ジオパークの順に表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
278	グラフ	削除 変更	③「多摩市の人口の変化」は、1970年からの10年単位の数値を数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
280	絵図	削除	①「身近な地域の様子をまとめたイラストマップ」は、キャプションを残すが、図自体は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
281	表	変更	②「さくらさんがまとめたポスター」は、地図は削除し、まとめは点字使用者に対応した方法に表記を変更した。	2 編集の具体的方針(2)による。
282 ～287	本文	変更	「用語解説」は、掲載を50音順に変更し点訳し、項目の最後に、原典の冒頭に原典のテーマ順の掲載目次リストをつけた。なお、本編の参照ページは削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
288 ～289	表	変更	統計資料「世界の国々のあらし」は、冒頭に6地域ごとと国名を対照できる目次リストを付け、以下表の形式で国ごとに掲載した。	2 編集の具体的方針(2)による。
290 ～291	表	削除 変更	統計資料「日本の都道府県のあらし」は、原典と縦横を入れ替え、項目を織り込み、表形式で示した。項目数が多いため、274ページ、275ページと2種類の表を作成した。	2 編集の具体的方針(1)による。
292 ～295	本文	削除	巻末の索引は、削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
巻末 1 巻末 2 巻末 3	写真	削除	「主な家畜」「おもな鉱産物」「世界の主な農産物」は、タイトルのみをリスト化して表し、写真は削除した。（1巻に掲載）	2 編集の具体的方針(1)による。

分野	ページ	行	変更事項	変更内容	備考
歴史	巻頭1 巻頭2	資料	変更	巻頭1・2は第1巻後半に配置した。	2編集の具体的方針(1)による。
	I	写真	追加	写真に以下のようなタイトルと説明を付けた。 【平和祈念像（長崎） 高さ10メートル、重さ30トンの巨大な男性の姿をした銅像です。長崎の原爆投下地点の近く、平和祈念公園にあります。腰掛けたポーズの像は、右腕で真上を指さして核兵器の恐ろしさを示す一方、左腕を水平に伸ばして平和な世界をあらわしています。この像の前で、毎年平和祈念式典が行われています。】	2編集の具体的方針(1)による。
	1・2	写真	変更	写真は削除し、すごろくであることが分かりやすいよう、項目毎に番号を付け、順番に配置した。	2編集の具体的方針(1)による。 (すごろくの様子など)
	3	写真	変更	写真は削除し、選びやすいように人名を並べて配置した。	2編集の具体的方針(1)による。
	4・5	年表	削除	この部分での年表は、本文の記述が煩雑になるため、削除した。年表の見方（読み方）については第1巻を使用すること。	2編集の具体的方針(1)による。
	6	写真	変更	写真は削除し、選びやすいように人名を並べて配置した。	2編集の具体的方針(1)による。
	8・9	写真	変更	写真は削除し、選びやすいように人名を並べて配置した。	2編集の具体的方針(1)による。
	9	図	変更	②「戦国大名の支配から江戸幕府の支配への変化」は削除し、表として表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
	10～16	コラム	変更	「地域調査の手引き」は、この章と並行して読み進むこととされているが、そのまま点訳すると本文の記述が煩雑になるため、別のコーナーとして1つにまとめ、章の末尾に付けた。その際、「付録」というタイトルを付け加えた。	2編集の具体的方針(1)による。
	10～16	写真	変更	写真は削除し、選びやすいように人名を並べて配置した。	2編集の具体的方針(1)による。

17	写真	追加	<p>2つの写真に次のような説明を付け加えた。</p> <p>【万里の長城 全長は約 2700 k mで、壁の高さが 9 mになるところもあります。 吉野ヶ里遺跡 集落全体を取り囲むように濠と柵をめぐらせていました。】</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
18・19	図・写真	追加	<p>図（イラスト）と写真のみから考えさせることは不可能なので、全ての図と写真に説明を付け加えた。対照的な部分を比較する内容となっているので、登場順ではなく、図と写真を分けて紹介する。</p> <p>【縄文時代の人々 縄文時代の村には、力を合わせて働く大人たちがいました。狩りのための道具や土器、丸木舟を作る人もいます。家を建てるため、竪穴を掘ったり、柱を立てたりするために協力して働いています。一方、これから狩に出かけて行く人や、獲物を運ぶ人もいます。大勢の大人たちは、それぞれの目的のために協力していました。村に暮らす子どもたちも、そんな大人の姿を見て、いろいろな仕事を覚えていきました。</p> <p>古墳時代の人々：古墳時代、古墳の建設現場にも、力を合わせて働く大人たちがいました。巨大な古墳を作るために土を運んだり、積み重ねたりする人もいます。古墳の表面に穴を掘る人、その穴に埴輪を立てる人、白い石を敷き詰めて飾る人もいます。大勢の大人たちは、一人の豪族の巨大な墓を作るためにそれぞれの役割ごとに協力していました。しかし、ここに子どもたちの姿はありません。】</p> <p>【縄文時代の器と像 縄文土器：縄目の文様のほか、表面にはさまざまな文様がほどこされた個性的なデザインの土器です。 土偶：土を固めた像で、妊娠した女性の姿をかたどっていると考えられています。</p> <p>古墳時代の器と像 須恵器：表面の文様は少ないですが、高温で焼かれたため丈夫で、シンプルで実用的な土器です。 埴輪：土を焼き固めて作られ、この像は武装した男性をかたどっているとされています。】</p>	2 編集の具体的方針(1)による。

20	図	変更	②の内容をそれぞれ説明した。 数値などは元の図の通りなので省略（以降も同様）。	2編集の具体的方針(1)による。
20	写真	追加	④に次のような説明を追加した 【壁や天井に牛・馬・シカなどが描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
21	地図	変更 追加	⑤「約2万年前の日本列島」を簡略化して点図で表現し、大型動物の移動経路に関する説明を追加した。	2編集の具体的方針(1)による。
22	写真	追加	①「メソポタミアの遺跡であるウルのジグurat」に次のような説明を追加した。 【高さは約25mで、最上部に神殿がありました。】	2編集の具体的方針(1)による。
22	写真	追加	②「ギザのピラミッドとスフィンクス」に次のような説明を追加した。 【クフ王のピラミッドは高さ146m、底辺233mで、平均2.5tの石を約230万個使って築かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
23	地図	変更	③「古代文明がおこった地域」を点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
24	写真	追加	②「万里の長城」に次のような説明を追加した。 【現在の長城は、明の時代に改修されたもので、全長は約2700kmあります。】	2編集の具体的方針(1)による。
24	写真 図	変更	図「甲骨文字」を点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
24	写真	追加	④「殷の時代の青銅器」に次のような説明を追加した。 【ここで紹介されている青銅器には、中央部分の4隅に、立派な角を持つ羊のような動物の装飾があります。】	2編集の具体的方針(1)による。 (装飾の細かい部分など。)

25	地図	変更	⑦「2世紀ごろの世界」は簡略化して点図で表現した。また、他の時代の世界地図と「比較」がしやすいよう考慮し、図法も同一の形に揃えて第1巻にまとめて掲載した。	2編集の具体的方針(1)による。 (他の時代との比較ができることの紹介など)
25	写真	追加	⑧「雲崗の石窟」に石窟に関する説明を追加した。	2編集の具体的方針(1)による。
25	地図	変更	⑨「5世紀ごろの東アジア」は簡略化し、点図で表現した。その際、確認しにくいと考えられる朝鮮半島の部分を別の点図で拡大して表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (地図の見方・使い方など)
26	地図	変更	②「古代ギリシャの勢力範囲」は簡略化し、点図で表現した。⑦の地図と比較させる事を考慮し、図法を統一するため、ページ内に余白が多い図となっている。	2編集の具体的方針(1)による。 (地図の見方・使い方など)
27	地図	変更	⑦「古代ローマの領域」は簡略化し、点図で表現した。②「古代ギリシャの勢力範囲」と比較させる事を考慮し、図法を統一している。	2編集の具体的方針(1)による。 (地図の見方・使い方など)
29	地図	変更	⑤「宗教のおこりと広まり」は地図を削除し、内容を説明する次のような文章に置きかえた。 【仏教はインド北部でおこり、インド南部や現在のスリランカ、東南アジア、東アジアにまで広まりました。日本には、中国の敦煌や竜門・雲崗、最終的には朝鮮半島を経て、伝えられました。キリスト教は西アジアのエルサレムでおこり、ヨーロッパやアフリカなどに広まりました。イスラム教はアラビア半島のメッカでおこり、西アジアや北アフリカにまで広まりました。】	2編集の具体的方針(1)による。 (エルサレム、メッカなどの外国の地名)
30	絵		①「縄文時代のムラの暮らし」は内容を次のような文章で説明した。 【想像図では、むらの建物はすべて縦穴住居で、6軒みられます。また人間は35人ほど描かれています。水辺に面して作られたむらを表しており、丸木船に乗って、釣りなどをして魚を捕まえている様子もみられます。捕まえた魚は、保存するために、まとめて加工しており、他にも貝を煮炊き・加工して	2編集の具体的方針(1)による。 (説明では伝えきれない絵の雰囲気など)

			保存食を作っている様子や、むらはずれにある森で栗などの木の実を採集している様子もみられます。森では、2～3名の大人により狩りも行われており、捕らえた鹿をむらで解体したり、毛皮を作ったりしている様子も確認できます。むらの奥の木に囲まれた場所には、墓地（お墓）とみられる場所があります。また、中心部の広場では、子どもたちが遊んでいます。数人で土器を制作している場所や、むらはずれに貝殻や、動物の骨などを捨てている場所もあり、ここが貝塚になったと思われます。】	
30	図	変更	②「人々の食べ物」は内容を表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
30	図	追加	⑤「蛸塚遺跡で発見された貝塚の断面」は次のような説明を追加した。 【人々が食べたあとの貝殻や、動物・魚の骨が積もってできた地層です。】	2編集の具体的方針(1)による。
31	写真	追加	⑥「竪穴住居の内部（復元）」に次のような説明を追加した。 【住居の中央にはいろりがあります。】	2編集の具体的方針(1)による。
31	写真	追加	⑦「縄文土器」は2つあるが、それぞれ次のような説明を追加した。 【底が浅く、深さのある土器】 【炎をかたどった土器】	2編集の具体的方針(1)による。 (装飾の細かい部分など)
31	地図	変更	⑧「石材の産地と交易の広がり」は削除し、内容を説明する次のような文章に置きかえた。 【黒曜石の主な産地は、白滝・置戸・十勝・赤井川（北海道）、男鹿（秋田県）、月山（山形県）、佐渡（新潟県）、和田峠（長野県）、隠岐（島根県）、姫島（大分県）、腰岳（佐賀県）、阿蘇山（熊本県）で、現在の北海道、関東、島根県、鳥取県、九州を中心に出土しました。 サヌカイトの主な産地は、二上山（奈良県・大阪府）、五色台・金山（香川県）、冠山（広島県）で、現在の西日本を中心に出土しました。 ひすいの主な産地は糸魚川（新潟県）で、現在の東日本を中心に出土しました。】	2編集の具体的方針(1)による。 (表では伝えきれない地域的なまとまりのイメージなど)

31	写真	追加	<p>⑩「土偶」は2つあるが、それぞれ次のような説明を追加した。</p> <p>【大きな目をした土偶】</p> <p>【妊娠した女性を表現した土偶】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
32	絵	変更	<p>①「弥生時代のムラの暮らし」は描かれている内容を次のような文章で説明した。</p> <p>【想像図では、むらの建物は縦穴住居が4軒と高床倉庫が1軒見られます。また、図には31人程の人が描かれています。むらの周囲に張り巡らされた柵の外には田んぼが広がり、穂をつかんで石包丁でおこなう形の稲刈りが行われています。むらの中心部の広場では、杵とうすで脱穀している様子や、米を俵につめて、高床倉庫に保管する様子もみられます。追いかけてっこをして遊んでいる子供たちもいます。犬や鶏が飼われています。収穫を迎えた秋の村の様子です。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (説明では伝えきれない絵の雰囲気など)
32	写真	追加	<p>④「銅鐸」は絵の内容を次のような文章で説明した。</p> <p>【この銅鐸には、杵を持った2人の人が交互に臼をついている絵が描かれています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
33	地図	変更	<p>⑧「3世紀ごろの東アジア」は簡略化し、点図で表現した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (地図の見方・使い方など)
34	写真図	変更	<p>①「百舌鳥古墳群」と②「前方後円墳の構造」は古墳の形をサーモフォームを用いて立体的に表現した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。
34	写真	追加	<p>③「古墳から出土した埴輪と鉄製のよろい」は次のような説明を追加した。</p> <p>【鎧を着て、腰には剣を差しています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
35	地図	変更	<p>⑤「主な前方後円墳の分布」は地図の内容を表に変更した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (表では伝えきれない地域的なまとまりのイメージなど)

35	写真	追加	⑦「古墳の石室に描かれた壁画」は次のような説明を追加した。 【船や馬を連れた人、竜が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
36～37	コラム	変更	第10巻に配置した。 写真などの資料に番号を付けた。	2編集の具体的方針(1)による。
38	絵	追加	①「唐の都の長安を訪れた外国からの使節」は次のような説明を追加した。 【使節のなかには、象牙やクジャクの羽を持っている人がいます。】	2編集の具体的方針(1)による。
38	図	変更	②「長安城」の見取り図を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (「碁盤の目」の意味など)
39	地図	変更	⑤「8世紀ごろの世界」は簡略化して点図で表現した。また、他の時代の世界地図と「比較」がしやすいよう考慮し、図法も同一の形に揃えて第1巻にまとめて掲載した。	2編集の具体的方針(1)による。 (他の時代との比較など)
40	地図	変更	①「7世紀初めごろの東アジア」を簡略化し、点図で表現した。その際確認しにくいと考えられる隋の大運河に関する部分を別の点図で拡大して表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (地図の見方・使い方など)
41	図	変更	⑥「蘇我氏と皇室の系図」を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (系図の見方や考え方など)
41	写真	追加	⑨「日本の弥勒菩薩像と、新羅の弥勒菩薩像」には次のような説明を追加した。 【日本の像は木でできていて、新羅の像は金属でできています。どちらの像も右足を左膝に乗せ、右手をほほにあてています。】	2編集の具体的方針(1)による。

42	図	削除 変更	①「大野城と水城」の鳥瞰図は説明を追加した上で削除し、②図「水城の断面図」を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (大宰府と水城の位置関係や土地の様子など)
42	図	変更	③「皇室の系図」を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (系図の見方や考え方など)
43	地図	変更	④「7世紀中ごろの東アジア」を簡略化し、点図で表現した。その際、確認しにくいと考えられる日本の様子を別の点図で拡大して表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (地図の見方・使い方など)
43	図	変更	⑦「律令による役所のしくみ」を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (官職や省庁の漢字や意味など)
44	写真	追加	①「平城京」の模型では道路が「碁盤の目」状に造られていることが分かるように説明を追加した。 「碁盤の目」状の街路を説明する場合は p38②を使用すること。	2編集の具体的方針(1)による。 (「碁盤の目」の意味など)
44	写真	変更	④「平城京から出土した木簡」の説明を以下のように変更した。 【木の板に墨で文字を書いたものです。都に運ばれた税にはどの地域からどのような品物が納められたのかを記した木簡が、荷札として付けられました。写真のものには「紀伊国無漏郡進上御贄磯鯛八升」とあります】	2編集の具体的方針(1)による。 (「碁盤の目」の意味など)
45	写真	追加	⑨「都の貴族の食事の例」には、次のような説明を追加した。 【写真に写っている料理は、ハスの実が入ったご飯、鴨肉とセリの汁、車エビの塩焼き、焼きアワビなど17品です。料理は漆器に盛り付けられていて、箸とスプーンが用意されています。】	2編集の具体的方針(1)による。

45	写真	追加	<p>⑩「農民の食事の例」には、次のような説明を追加した。</p> <p>【写真に写っている料理は、茶色いご飯（玄米）、青菜の汁、塩です。料理は土器に盛り付けられていて、箸が用意されています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
46	絵	追加	<p>①「中国西部トルファン<small>トルファン</small>の樹下美人図」と②絵「正倉院の鳥毛立女屏風」を比較するため、②に次のような説明を追加した。</p> <p>【①と②の2枚の絵は、人物の描き方や構図などが似ています。正倉院の文化が中国の影響を受けていたことがうかがえます。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
46	写真	追加	<p>③「螺鈿紫檀五絃琵琶」に次のような説明を追加した。</p> <p>【五弦の琵琶は世界に一つしか残っていないといわれています。螺鈿とは、薄く切った、光る貝殻を貼り付けたもので、外国の影響がみられます。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
46	地図	変更	<p>④「8世紀ごろの交易」を簡略化し、点図で表現した。</p> <p>その際、p39⑤の地図（第1巻の「世界地図」に掲載）と比較しやすいよう、図法を統一しているため、必要に応じて、第1巻と併用すること。</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (外国の地名や土地の特色など)
46	写真	追加	<p>⑥「鑑真」の説明につきのような文章を追加した。</p> <p>【戒律とは、修行する僧尼（尼とは女性の僧侶）が守るべき規律のことです。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
48	写真	削除	<p>①「平安京」の写真について、「碁盤の目」状の街路を説明する場合はp38②を使用すること。</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (「碁盤の目」の意味など)

48	絵	削除	<p>③「天皇を屋敷に招き、もてなす藤原氏」に次のような説明を追加した。</p> <p>【屋敷を訪問した天皇が、庭の池に浮かんだ2艘の船の上で奏でられる演奏を楽しんでいる場面が描かれています。弓を持って警備をしている人たちもいます。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(「碁盤の目」の意味など)</p>
48	地図	変更	<p>②「朝廷の東北地方への支配の広がり」の内容を次のように年表風に記した。</p> <p>【朝廷の支配の広がり ※城柵が設置された年代順に記す ()内は所在地の現在の地名</p> <p>647年 淳足の柵 (新潟県新潟市付近) 648年 磐舟の柵 (新潟県村上市付近) 708年 出羽の柵 (山形県庄内地方) 724年 多賀城 (宮城県多賀城市) 733年 秋田城 (秋田県秋田市) 759年 雄勝城 (秋田県横手市付近) 759年 桃生城 (宮城県石巻市) 767年 伊治城 (宮城県栗原市) 802年 胆沢城 (岩手県奥州市) 803年 志波城 (岩手県盛岡市付近)】</p>	<p>2編集の具体的方針(2)による。</p> <p>(方角や実際の距離感など)</p>
49	図	変更	<p>⑤「藤原氏と皇室の系図」を簡略化し、点図で表現した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(系図の見方や考え方など)</p>
50	絵	追加	<p>①「源氏物語絵巻『宿り木(一)』」に次のような説明を追加した。</p> <p>【囲碁を打っている2人の男性の様子を、2人の女性がうかがっている様子が描かれています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
52～53	コラム	変更	<p>第10巻に配置した。</p>	<p>2編集の具体的方針(2)による。</p>
54～55	コラム	変更	<p>第10巻に配置した。 写真などの資料に番号を付けた。</p>	<p>2編集の具体的方針(2)による。</p>
56～58	コラム	変更	<p>「学習のまとめと表現」は、生徒の持ち運び等を考慮し、一巻あたりのページ数を少なく意図で、すべて第9巻に移動しまとめて配置した。</p>	<p>2編集の具体的方針(2)による。</p>

56～57	表	変更	①と②に関わる「表(年号がほとんど書かれていない年表風のもの)」を簡略化した。	2編集の具体的方針(1)による。
56	地図	変更	③の地図は削除し、地名を問う質問に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
59	絵	追加	絵「平治の乱」の様子を説明する次の文章を付け加えた。 【源義朝が平清盛の留守に兵を起し、後白河上皇の御所を放火した様子が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
60・61	絵	変更追加	絵「福岡の市」のみから考えさせることは不可能なので、全ての写真に説明を付け加えるとともに「Q」の質問内容も変更した。長大になるため、最初の写真「福岡の市」と、後から紹介される「中世の職人たち」は囲みを分けて別に示している。それぞれ紹介する。 【福岡の市 この市は、川岸を上った河原で開かれており、訪れる人々の姿はさまざまです。 男性は袴や烏帽子を付けた立派な身なりの人も見えますが、ほとんどの者は着物を着流しで1枚まとっているだけです。中には上半身をはだけ、米をはかり売りしている人も見えます。 女性もさまざまな身なりですが、中には尼と思われる、頭に布をかぶった人も見えます。この女性は売られている布地が気になるようで、手で広げて好みのものを選んでいく雰囲気です。遊んでいる子どもや、年寄りと思われる背の曲がった人まで描かれています。 市で売られている商品もさまざま、米や布以外にも、魚や酒、壺や足駄という履物まで並んでいます。これらの品々は、船や筏に積まれて、川を渡って運ばれたのでしょう。なぜなら、絵の手前の方に、川岸に船を着け荷揚げをしているような男も描かれています。 この絵の中で一遍は、市の中央の広場のような場所、3人の男たちと向かい合わせに立っています。一遍は向かって左手に、男たちは向かって右手にみえます。3人は、頭に烏帽子をのせていますが、みな動きやすいよう、着物の袖や袴の裾をま	2編集の具体的方針(1)による。 (説明しきれないその他の要素・状況など。)

			<p>くり上げています。どうやら彼らは走って一遍を追いかけてきたのかもしれませんが。特に、3人の先頭に立つ男は怒ったような表情を浮かべ、腰にぶら下げた刀に手を掛け、今にも一遍に斬りかかりそうな迫力さえ感じられます。それでも一遍は、その男の顔をまっすぐ見つめると、左手に数珠を掲げ、静かに何ごとか語りかけているように見えます。】</p> <p>【中世の職人たち この書物では、中世の職人たちの働く姿が描かれています。それらの中から5つを選び、紹介します。</p> <p>(1) 米売り：米をゴザの上に広げて、マスを用いてはかり売りをしています。</p> <p>(2) 蛤売りと魚売り：カゴの中には、蛤や魚がたっぷり積まれています。それを天秤棒で肩に担いで運びます。</p> <p>(3) 機織り：手足を使って織機を操つり、織りものをしています。</p> <p>(4) 足駄作り：足駄とは高さのある下駄のことです。火箸を使って鼻緒の穴を開けています。</p> <p>(5) 筏土：筏とは、材木を組みあげて作る船のことです。川を下って山奥から材木を運びます。】</p>	
62	絵	追加	<p>①「河内の有力者の屋敷」の様子を説明する次のような文章を追加した。</p> <p>【屋敷の入口には弓をもった人たちが警備をしています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
62	絵	追加	<p>②「都の警備に当たる武官」の状況を説明する次のような文章を追加した。</p> <p>【弓などの武器をもった人々が馬に乗り、警備をしています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。

62	図	変更	<p>③「武士団のしくみ」の内容を次のような文章で説明した。</p> <p>【「棟梁」と呼ばれる武士団全体のリーダーに、各一族のリーダーである「惣領」たちが従っています。惣領が率いる一族の武士たちは「家子」と呼ばれ、それぞれが「郎党」という数名～数十名の武士を率えています。</p> <p>ここまで説明した人々が武士と呼ばれ、全て馬にまたがって戦うのに対し、郎党などの武士に仕える人々は「下人」と呼ばれ、槍を持って歩いて戦います。彼らも、一人の武士に対して数名ずつ仕えました。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(重層的な構造について)</p>
63	地図	変更	<p>④「武士団と各地で起こった争乱」を削除し、次のような説明と年表を追加した。</p> <p>【1. 武士団 平氏出身の武士団は、関東地方に多く、源氏出身の武士団は近畿地方や中部地方に多く分布していました。</p> <p>2. 各地でおこった争乱(現在の主な場所)</p> <p>935～940 平将門の乱(関東地方) 939～941 藤原純友の乱(瀬戸内海) 1051～62 前九年合戦(東北地方) 1083～87 後三年合戦(東北地方) 1156 保元の乱(京都府) 1159 平治の乱(京都府)】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(個々の「乱」の顛末など)</p>
63	図	変更 削除	<p>⑥「平氏と源氏の系図」を簡略化し、点図で表現した。その際、源氏と平氏は別々の図に分離し、天皇の即位順は煩雑になるため削除した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(図から削除された天皇との関連部分について。系図の見方や意味など)</p>

64	絵	追加	<p>①「春日大社に到着した白河上皇」の様子を説明する次のような文章を追加した。</p> <p>【絵の中央には、白河上皇の乗った牛車が描かれています。牛車の道を作るように、左右に10ほどの人が一列ずつ並んでいます。絵の右側にいるのは、弓を持つ人々です。絵の左側にいるのは、黒い冠をかぶって、しゃくを持ったり、弓を背負ったりした人々です。】</p> <p>また、関連するひろとのセリフを、</p> <p>【武官の特徴を服装や持ち物、隊列の位置などから考えてみよう。】と変更した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。
65	地図	変更	④「12世紀の東アジアと日宋貿易」を簡略化し、点図で表現した。その際確認しにくいと考えられる日本の様子(大輪田泊など)を別の点図で拡大して表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (地図の見方・使い方など)
65	絵	追加	<p>⑥「壇ノ浦の戦い」の様子を説明する次のような文章を追加した。</p> <p>【赤い旗をあげる平氏の船に、白い旗の源氏の船がおそいかかっている様子が描かれています。屋台船には幼い安徳天皇と清盛の妻が乗っています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
66	写真	追加	<p>①「空から見た現在の鎌倉」の状況を説明する次のような文章を追加した。</p> <p>【北側の山手と、北から南に向かう直線の大通りのそばに幕府の建物がありました。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (鎌倉全体の地形・切り通しの意味など)
66	図	変更	④「鎌倉幕府のしくみ」を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (系図の見方や考え方など)
67	図	変更	⑤「北条氏の系図と源氏との関係」を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
67	図	変更	⑥「承久の乱と、その後の動き」の地図の内容を表と略図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (細かい部分について)

68	絵	追加	<p>①「武士の館」の様子を説明する次のような文章を追加した。</p> <p>【黒っぽい服を着た一遍が武士の館を訪れた様子が描かれています。当時の武士の館は塀や堀で囲まれていました。門の上には武器を備え、門番が見はっています。敷地内では数頭の馬や猿、鷹が飼われています。部屋は板張りですが、部分的に畳を敷いているところもあります。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
69	絵	追加	<p>④「田植えの様子」を説明する次のような文章を追加した。</p> <p>【3人の若い女性が田植えをしています。その周りで笛や太鼓を鳴らしている男性がいることも描かれています。また、牛が鋤をひいて、田んぼを耕している様子も描かれています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (絵の雰囲気など)
70	写真	追加	<p>②「金剛力士像」の様子を説明する次のような文章を追加した。</p> <p>【「仁王像」ともいわれ、「阿」と「吽」それぞれの口の形をした像があります。力強い鎌倉時代の仏像の特徴をよく表しています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (あ・うんの呼吸など)
71	図	変更	<p>⑦「鎌倉時代の新しい仏教と社会の様子」の図を、次のような「年表」に書き改めた。</p> <p>【鎌倉時代の新しい仏教と社会の様子</p> <p>1156年 保元の乱がおこる</p> <p>1159年 平治の乱がおこる</p> <p>1175年 法然が浄土宗を開く</p> <p>1181年 ききんがおこる</p> <p>1191年 栄西が臨済宗を開く</p> <p>1192年 源頼朝が征夷大將軍になる</p> <p>1221年 承久の乱がおこる</p> <p>1224年 親鸞が浄土真宗を開く</p> <p>1227年 道元が曹洞宗を開く</p> <p>1231年 飢饉がおきる</p> <p>1232年 御成敗式目が制定される</p> <p>1253年 日蓮が日蓮宗をひらく</p> <p>1257年 鎌倉大地震がおこる</p> <p>1259年 飢饉がおこる</p>	2編集の具体的方針(2)による。 (個々の出来事の顛末など)

			<p>1274年 文永の役 1274年 一遍が一遍宗をひらく 1281年 弘安の役 1291年 飢饉がおこる 1293年 鎌倉大地震がおこる】</p>	
72	地図	変更	<p>①「13世紀ごろの世界」は簡略化して点図で表現した。また、他の時代の世界地図と「比較」がしやすいよう考慮し、図法も同一の形に揃えて第1巻にまとめて掲載している。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(他の時代との比較など)</p>
74	絵	追加	<p>①「元軍と戦う御家人」の様子を説明する次のような文章を追加した。</p> <p>【季長は鎧を着て腰に刀を差し、長い弓に矢をつけています。元軍は短い弓矢や長槍を構えている人がいます。また、「てつはう」とよばれた武器の火薬が爆発している様子も描かれています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
74	地図	変更	<p>③「元軍の進路」を簡略化し、点図で表現した。その際原典では確認しにくいと考えられる東アジア世界全体の様子も別の図で表現した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(地図の見方・使い方など)</p>
76	図	変更	<p>④「足利氏の系図」を簡略化し、点図で表現した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(系図の見方や考え方など)</p>
77	地図	変更	<p>⑤「主な守護大名と、その領地」の内容を次のような表に変更した。</p> <p>【<大名> <主な領地> 上杉 越後 上野 佐竹 常陸 小笠原 信濃 武田 甲斐 畠山 伊豆 ※以下略】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(表では伝わらない方角や大きさ、「旧国名」の呼び名など。※旧国名については第1巻の資料と日本地図等を参照)</p>
77	図	変更	<p>⑦「室町幕府のしくみ」を簡略化し、点図で表現した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>

78	絵	追加	<p>①「倭寇と明軍との戦い」の様子を説明する次のような文章を追加した。</p> <p>【この絵には明軍と倭寇の船が描かれています。向かって左側、明軍の船の後方では、銅鑼を叩いて指揮をとる人がいて、やりや弓を使って攻撃しています。倭寇は、やりや弓、刀を使い、素足で着物を着ています。倭寇には日本人らしい人々が描かれていますが、船の後方には中国風の旗がなびいています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
79	地図	変更	<p>④「室町時代の海上交通」を簡略化し、点図で表現した。その際確認しにくいと考えられる日本の様子を別の点図で拡大して表現した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (地図の見方・使い方など)
79	絵	追加	<p>⑤「倭寇の活動」の様子を説明する次のような文章を追加。</p> <p>【倭寇が小屋から物品を略奪し、中国風の旗をもつ仲間のところへ運んでいる様子が描かれています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
79	図	変更	<p>⑥「勘合と勘合貿易のしくみ」の内容を次のような文章で説明した。</p> <p>【勘合とは合札のことですが、2枚をあわせると1つの言葉が表されるように言葉が左右に半分ずつ書かれています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
79	図	変更	<p>⑦「ハンゲル」の形や考え方が分かるように、点図を用いて表現し、説明も工夫した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。
81	地図	変更	<p>④「15世紀ごろの琉球王国やアイヌ民族との交易ルート」を簡略化し、点図で表現した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (外国の地名・現在の国名など)
82	絵	追加	<p>①「室町時代のころの田植えの様子」を説明する次のような文章を追加した。</p> <p>【田植えの様子を表す2つの絵があります。1つ目の絵には、男性が太鼓や鐘を打ち鳴らし、はやしたてる中、20人ほどの着飾った若い女性が稲を植えています。2つ目の絵では、魚や酒、食べ物を運んで</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (絵の雰囲気など)

			くる人たちや子どもたちも加わって、村中で田植えに取り組んでいる様子が描かれています。】	
82	絵	追加	②「水のくみ上げ作業」の説明に次のような文章を追加した。 【投げつるべとは、おけなどに左右2組の縄をつけて、水中に投げ入れ、2人でくみ上げる道具です。】	2編集の具体的方針(1)による。
83	絵	追加	④「のこぎりをひく大工」の様子を説明する次のような文章を追加した。 【大きなのこぎりを材木にはさんで、ふたりで引いています】	2編集の具体的方針(1)による。
83	絵	追加	⑥「行商する大原女」の説明に次のように「文字の説明」を追加した。 【「おはらめ」とは「大原（大きな原）」という地名に「女」と書きます。】	2編集の具体的方針(1)による。
84	絵	変更	①「応仁の乱」と②「寺院をおそう足軽」の説明を分けた。	2編集の具体的方針(1)による。
84	図	変更	③図「応仁の乱開始時の対立関係」を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
85	地図	変更	⑤「主な戦国大名と、その領地」の内容を、次のような表に改めた。 【<大名> <主な領地> 秋田 羽後 羽前 最上 羽前 南部 陸中 ※以下略 】	2編集の具体的方針(1)による。 (方角や大きさ、「旧国名」の呼び名など。 ※旧国名については資料編1巻を参照)
88～89	コラム	変更	第10巻に配置した。	2編集の具体的方針(2)による。
90～91	コラム	変更	第10巻に配置した。	2編集の具体的方針(2)による。
92～94	コラム	変更	「学習のまとめと表現」は、生徒の持ち運び等を考慮し、一巻あたりのページ数を少なくする意図で、すべて第9巻に移動し、まとめて配置した。	2編集の具体的方針(1)による。

92～93	表	変更	①と②に関わる「表(年号がほとんど書かれていない年表風のものを)」を簡略化した。	2編集の具体的方針(1)による。
92	地図	変更	③の地図は削除し、地名を問う質問に変更した	2編集の具体的方針(1)による。
93	図	変更	④の図は削除し、次の設問に差し替えた。 【4. 源頼朝がつくり上げた封建制度のしくみを、次の「用語」を使って説明しよう。 「用語」 御恩 奉公 主従関係 将軍 御家人 朝廷 天皇 貴族 寺社(荘園領主) 民衆 税】	2編集の具体的方針(1)による。
92	写真(絵)	変更	⑤に出てくる3つの絵・写真の様子を説明する次のような文章を追加した。 【A. 春の水田で働く農民たちを描いた場面(鎌倉時代)「古代に比べ、牛馬を用いたり水車などを工夫したりすることが始まったため、比較的楽に作業を進める農民の姿が描かれています。」 B. 春の水田で働く農民たちを描いた場面(室町時代)「華やかな着物に身をつつんだ女性たちが田植えをしています。その横には田楽を舞ったり苗を運んだりしている男性も描かれています。」 C. 現代の能を撮影した写真「舞台の中央に立つ人が、能面という面をかぶり、舞を舞っています。背景には華やかな音楽が演奏されたりしており、芸能として完成された姿と言えます。】	2編集の具体的方針(1)による。 (説明しきれていないその他の要素・状況など)
96・97	絵	変更 追加	絵「江戸のまち」のみから考えさせることは不可能なので、全ての写真に説明を付け加えるとともに「Q」の質問内容も変更した。説明の文章を以下に紹介する。 【江戸のまち この絵の中で、江戸城は向かって右手の上方に描かれています。城の周囲には堀が巡らされ、5層の天守閣がそびえているのが分かります。江戸城に向かって左手には江戸の町が広がっています。豪華な屏風なので、金箔を用いて雲が表現され、町の上空をところどころを覆っています。この教科書では、中学生がそのような町並みを見分けやすいよう、現在の地名を絵の写真に被せて表現しており、次に挙げる地名が確認できます。地名は「新橋」「増上	2編集の具体的方針(1)による。 (説明しきれていないその他の要素・状況など。)

寺」「桜田門」「日本橋」「京橋」の5つがわかります。】

拡大した図①～⑤

続いて、町並みの細かい部分を見るために、絵を部分的に拡大した写真が5つ紹介されています。

①桜田門と地名が示された部分を拡大したものです。桜田門は江戸城の門の一つですが、門の外側には広い道が通っており、籠で移動する人や、黒紋付きを着た身なりが立派な人たちが行き来しています。道ばたに立つ立派な屋敷に付随して「上杉」「松平」といった、有力な大名の名前が見えます。

②江戸城の正門を拡大したものです。門の外にある堀を渡るための橋が見られます。行列が到着した場面が描かれていますが、大名行列とは様子が違うようです。緑色の服装をした武人が警備をしており、巨大な赤い日傘や、見慣れない赤い輿なども見えます。日傘の下には、日本人とは明らかに違う服装をした人物がおり、江戸の人たちはその人を遠巻きに見ています。これは朝鮮通信使と呼ばれる使節が到着した場面だと考えられています。

③「日本橋」と思われる地名が見える部分の拡大です。ここは東海道の起点であるため、旅に出かける服装をした人たちが見られますが、それ以外にも様々な身なりの人たちが行き来しています。「高札（こうさつ）」とって、幕府からの命令などを伝えるための背の高い立て札も見えます。日本橋の高札場と言われていました。

④多くの店が軒を連ねる商店街です。通りには、おおぜいの人が行き来しているほか、米俵を積んだ馬なども見えます。中には蔵を構えているような立派な店もあり、どの店も奥には商品が並んでいます。

⑤「小網町」と書かれた下町の近くを拡大したものです。川が流れていて、小舟が沢山こぎ寄せている河岸（かし）には、荷揚げされた米俵が無数に積まれています。】

99	地図	変更	⑤「十字軍の派遣」を簡略化し、点図で表現した。ただし原典では時間経過とともに各領域の広さが変化している様子も描かれているため、点図では時期が異なる2回（第1回十字軍の頃と第4回十字軍の頃）を見比べて理解できるよう、2枚に分けて表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (外国の地名や現在の国名など)
100	絵	追加	①「中世の三美神と、ボッティチェリの『春』」の2枚の絵を比較しやすいよう、内容を説明する次のような文章を付け加えた。 【14世紀の絵では、三美神はみな同じ髪型・表情で身体をおおう衣を着て、平面的に描かれています。背景は描かれていません。 一方、「春」の絵では、神々や妖精たちは、美しい身体の線と生き生きした表情で描かれ、美しい模様の衣服や花や豊かな緑につつまれた背景が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
101	絵	変更	⑤「宗教改革の宣伝用に印刷された絵」に関わる「読み解こう」の質問①と②の内容を以下のように変更した。 【①天びんの左側には、ローマ教皇の冠やカトリック教会の建物を飾る宝物が、右側には、1冊の「聖書」が乗せられています。それぞれ何を表しているのだろう。 ②描かれている天びんは、右の方が重いとして大きく傾いています。これは、どのようなことを表しているのだろう。】	2編集の具体的方針(1)による。 (描かれている品物の様子や意味など)
102	絵	追加	①「上陸するコロンブスの一行」の様子を説明する次のような文章を追加した。 【裸の先住民たちがコロンブスたちを歓迎している絵です。先住民たちは黄金で作られた宝物を差し出しています。コロンブス一行の後ろの方には、十字架を地面にうち立てようとしている人たちも描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。 (描かれている品物の様子や意味など)
103	地図	変更	⑤「16世紀ごろの世界」は簡略化して点図で表現した。また、他の時代の世界地図と「比較」がしやすいよう考慮し、図法も同一の形に揃えて第1巻にま	2編集の具体的方針(1)による。

			とめて掲載している。 なお、この図より世界地図に新しい大陸が加わったことを意識しやすいよう、「折りこみ」を用いて表現した。	(他の時代との比較・ 地図の見方や使い方など)
104	絵	追加	①「日本に来航した南蛮船と南蛮人」の様子を説明する次のような文章を追加した。 【南蛮船から降りたヨーロッパ人を外国人宣教師らが出迎えている様子が描かれています。ヨーロッパ人は帽子をかぶり、ひだのついた襟の服とマントを着ています。はいているズボンは、太ももの部分がふくらんでいます。黒人の従者は、馬や虎などの動物を運んでいます】	2編集の具体的方針(1)による。
105	地図	変更	⑤「キリスト教の広まり」の内容のうち、「当時の教会の所在地」と「キリシタン大名とその所領」を表にまとめた。「イエズス会の学校の所在地」と「ザビエルのたどった道(推定)」は、煩雑になるため削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
106	コラム	変更 削除	第10巻に配置した。識別しやすいよう写真に番号を付けた。「16～17世紀の銀の航路」の地図は削除した。	2編集の具体的方針(2)による。
107	コラム	変更	第10巻に配置した。識別しやすいよう写真に番号を付けた。	2編集の具体的方針(1)による。
108	絵	追加	①「長篠の戦い」の説明に、次のように文章を追加した。 【鉄砲を装備した織田信長と徳川家康の連合軍が、騎馬隊でせめかかる武田勝頼の軍と戦っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
108	写真	追加	③「安土城(模型)」に、次のような説明を追加した。 【琵琶湖のほとりに建てられた、5層7重の天守閣を持つ豪壮な城でした。最上階は四方の壁が金色、その下の階は、朱色で塗られたガラス張りの八角形の部屋があったとされています。】	2編集の具体的方針(1)による。 (印象も含めてそれまでの城との違いなど)

109	地図	変更	<p>⑤「信長・秀吉の支配の広がり」の内容を、次のような年表に変更した。</p> <p>【1. 信長に滅ぼされた主な勢力</p> <p>1560年 今川氏（駿河・遠江・三河）</p> <p>1571年 比叡山延暦寺</p> <p>1573年 朝倉氏（越前）</p> <p>1573年 浅井氏（近江）</p> <p>1575年 一向一揆（加賀）</p> <p>1580年 石山本願寺</p> <p>1582年 武田氏（甲斐・信濃）</p> <p>2. 秀吉に降伏・滅ぼされた主な勢力</p> <p>1582年 明智氏（近江・丹波）</p> <p>1583年 柴田氏（加賀）</p> <p>1583年 毛利氏 （周防・長門・安芸・備後・備中）</p> <p>1585年 長宗我部氏 （土佐・阿波・讃岐・伊予）</p> <p>1586年 上杉氏（越後）</p> <p>1586年 徳川氏 （三河・遠江・駿河・甲斐・信濃）</p> <p>1587年 島津氏（薩摩・大隅・日向）</p> <p>1590年 北条氏 （伊豆・相模・武蔵・下総・上総・上野）</p> <p>1590年 伊達氏（出羽・陸奥）】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>（表では伝えられない方角や大きさ、「旧国名」の呼び名など。※旧国名については資料編1巻を参照）</p>
110	写真	追加	<p>③「検地帳」の内容を説明する次のような文章を追加。</p> <p>【検地帳には、田畑のよしあし、面積、作物の種類、生産量、田畑の耕作者の名前を順に記入しました。写真の検地帳の一部には、「上畠、6畝20歩、もめん、6斗6升7合、与三兵衛」と書かれています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
111	地図	変更	<p>⑥「日本軍の進路」を簡略化し、点図で表現した。その際、原典では確認しにくいと考えられる東アジア全体の様子も別図で表現した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
112	写真	変更	<p>④「キリシタン版『平家物語』」の説明を以下のように変更した。</p> <p>【ポルトガル式のローマ字で書かれています。初め</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>

			の2行は「NIFON NO COTOBA TO」と書かれています。】	
113	絵	追加	⑤「かぶき踊り」の様子を説明する次のような文章を追加。 【屋外に舞台が設けられ、舞台の上で踊る役者と太鼓や謡の演者を、武士や町人、女性や子ども、南蛮人などが見えています。敷物を敷いて座って見ている人も、立ったまま見ている人もいます。】	2編集の具体的方針(1)による。 (絵の雰囲気など)
114	図	変更	③「徳川氏の系図」を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (系図の見方や考え方など)
115	地図	変更	④「主な大名の配置」を主な大名の領地を示した次のような表に変更した。 【1. 主な親藩 会津 23万石(保科氏) 高田 26万石(松平氏) 水戸 24万石(徳川氏) 甲府 25万石(徳川氏) 名古屋 62万石(徳川氏) 福井 45万石(松平氏) 和歌山 54万石(徳川氏) 松江 19万石(松平氏) 高松 12万石(松平氏) ※水戸・名古屋(尾張)・和歌山(紀伊)の徳川氏を御三家と呼ぶ。 2. 主な譜代大名 庄内 14万石(酒井氏) 村上 15万石(松平氏) 白川 10万石(本多氏) 宇都宮 11万石(奥平氏) 前橋 13万石(酒井氏) 長岡 7万石(牧野氏) 小田原 10万石(稲葉氏) 小浜 12万石(酒井氏) 彦根 30万石(井伊氏) 松山 15万石(松平氏) 小倉 15万石(小笠原氏)	2編集の具体的方針(1)による。 (表では伝えられない方角や大きさ、「旧国名」の呼び名など。※旧国名については資料編1巻を参照)

			<p>3. 主な外様大名</p> <p>弘前 5万石 (津軽氏)</p> <p>盛岡 10万石 (南部氏)</p> <p>秋田 21万石 (佐竹氏)</p> <p>仙台 56万石 (伊達氏)</p> <p>米沢 15万石 (上杉氏)</p> <p>松代 10万石 (真田氏)</p> <p>金沢 103万石 (前田氏)</p> <p>安濃津 32万石 (藤堂氏)</p> <p>鳥取 32万石 (池田氏)</p> <p>岡山 32万石 (池田氏)</p> <p>広島 38万石 (浅野氏)</p> <p>萩 37万石 (毛利氏)</p> <p>徳島 26万石 (蜂須賀氏)</p> <p>高知 17万石 (山内氏)</p> <p>福岡 43万石 (黒田氏)</p> <p>対馬府中 10万石 (宗氏)</p> <p>佐賀 36万石 (鍋島氏)</p> <p>久留米 21万石 (有馬氏)</p> <p>熊本 54万石 (細川氏)</p> <p>鹿児島 73万石 (島津氏)】</p>	
115	図	変更	⑤「江戸幕府のしくみ」を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
116 ～117	コラム	変更	<p>第10巻に配置した。絵などの資料に番号を付け、円グラフは数表に変更した。</p> <p>「読み解こう」の①～③を以下のように変更した。</p> <p>【① 会津藩の現在の県の位置を第1巻の日本地図で確かめてみよう。</p> <p>② 会津から江戸までの道のりが、約250kmとして、1日におよそどのくらい歩いたのか、計算してみよう。</p> <p>③ 行列の中で、大名はどこにいるか考えよう。また、供の人々はどのようなものを持っているかも、考えてみよう。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(行列を構成する要素の紹介「御足軽」「御鉄砲」など。「御鷹」というものもある)</p>

118	地図	変更	<p>③「朱印船の航路と日本町」の内容を次のような表に変更した。</p> <p>【日本町の所在地 ※国名・都市名の順に記す。 () 内は現在の国名 トンキン (ベトナム) ツーラン トンキン (ベトナム) フェフォ カンボジア ピニャルー カンボジア プノンペン シャム (タイ) アユタヤ ルソン (フィリピン) ディラオ ルソン (フィリピン) サンミゲル】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(外国語の地名など)</p>
118	グラフ	変更	<p>⑤「キリシタンの人数の移り変わり」の内容を次のような表に変更した。</p> <p>【 <年> <およその人数> 1549～1560 6000 1569 20000 1571 25000 1579 130000 1581 150000 1587 200000 1592 217500 1603 300000 1614 370000 】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
119	表	変更	<p>⑦「『鎖国』への歩み」の表の空欄に1～3の番号を付した。</p>	<p>2編集の具体的方針(2)による。</p>
120	地図	変更	<p>③「鎖国下の日本の窓口」の内容を次のような表に変更した。</p> <p>【松前：蝦夷地（現在の北海道） 対馬：朝鮮（朝鮮通信使の行路上にあった） 長崎：オランダ、中国（清） 薩摩：琉球（琉球の使節の行路上にあった）】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>（表では伝えられない方角や大きさ、「旧国名」の呼び名など。※旧国名については資料編1巻を参照）</p>
124	グラフ	変更	<p>②「身分別の人口割合」の内容を表に変更した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
125	絵	追加	<p>③「年貢を納める百姓」の様子を説明する次のような文章を追加した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>

			【百姓たちが俵に米を詰め、領主の蔵に米俵を運び込んでいます。蔵の前には役人が座り、監督しています。】	
126	絵	追加	①「江戸時代の農具の進歩」の内容を説明する次のような文章を追加した。 【千歯こき：数十本の細い木を横に並べ、その上に稲の束をおいて 手前に強く引く。 唐箕：上から少しずつ穀物を入れ、羽を回転させて横から風を送り、軽い籾殻などをふきとばす。実は下の箱に落ちて集められる。 からさお：長い竿の先に回転する棒を数本取り付け、豆類などを挟んで振り回す。】	2 編集の具体的方針(1)による。 (道具の使い方や利便さなど)
126	絵	追加	②「備中ぐわと、千歯こき」の内容を説明する次のような文章を追加した。 【備中ぐわとは、刃の先端部分を3～4本に分け、尖らせてあるくわのことです。こうすることで、より深く土を掘れるようになりました。】	2 編集の具体的方針(1)による。 (道具の使い方や利便さなど)
126	グラフ	変更	③「全国の耕地面積と収穫高の移り変わり」の内容を表に変更した。	2 編集の具体的方針(1)による。
127	絵	追加	⑤「にぎわう大阪の港」の内容を説明する、次のような文章を追加。 【大阪湾に面した川沿いには多くの問屋の蔵が並んでいます。大型の船で運ばれてきた物資は、小さな船に積み替えられて蔵に運び込まれました。】	2 編集の具体的方針(1)による。
127	絵	追加	⑥「三ツ池が江戸に開いた越後屋呉服店」の状況に関する説明を付け加え、次のような文章に変更した。 【店の中に「現金かけ値なし」と書いた札がかけられています。どのような売り方をしているのでしょうか。】	2 編集の具体的方針(1)による。
128 ～129	コラム	変更	第10巻に配置した。	2 編集の具体的方針(2)による。
130	絵	追加	①「歌舞伎を楽しむ人々」の様子を説明する次のような文章を追加した。	2 編集の具体的方針(1)による。

			【建物の中に舞台が設けられていました。観客は座って見えています。建物の2階と3階にも観客席があります。】	
131	絵	追加	⑧「正月を過ごす子どもたち」の様子を説明する次のような文章を追加した。 【かるたとりをしたり、庭で羽子板遊びをしたりしているこどもたちが描かれています。みな赤や緑の華やかな着物を着ていますが、これは正月用の晴れ着です。】	2編集の具体的方針(1)による。
132	グラフ	変更	②「18世紀前半の米価の変動」を簡略化して、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
133	グラフ	変更	⑥「百姓一揆・打ちこわしの発生件数の移り変わり」を簡略化して、点図と年表で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
133	写真	追加	⑦「傘連判状」の説明に、次のような説明を追加した。 【参加者の署名は、だ円形になるように並べて書かれています。なぜこのように書いたのでしょうか】	2編集の具体的方針(1)による。
134	絵	追加	①「長崎での貿易」の様子を説明する次のような文章を追加した。 【貿易品の重さをはかっている様子が描かれています。貿易品は俵に詰められた物もあります。重さを図っている様子を日本の役人とオランダ人が見守っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
136	地図	変更	①「幕末の北方探検」は、次のような表に変更した。 【1 伊能忠敬 1800年 松前一厚岸 2 近藤重蔵 1789年～(99年) 厚岸―国後―択捉 3 近藤重蔵 1807年 松前一宗谷 4 間宮林蔵 1808年～(09年) 宋谷―樺太―(間宮海峡)―シベリア】	2編集の具体的方針(1)による。 (表では伝えられない距離感や広がりなど)

136	地図	変更	<p>④「日本への外国船の接近」は次のような表に変更した。</p> <p>【1. 北海道 1792年 ロシアのラックスマンが根室に来航 1796年 イギリス船が室蘭の沿岸を測量 1811年 国後島を測量中のロシア人を逮捕 2. 浦賀（神奈川県） 1817年 イギリス船が来航 1837年 アメリカ船が来航 1853年 アメリカのペリーが来航 3. 長崎 1804年 1853年 ロシアの使節が来航 1808年 イギリスの軍艦が侵入 1844年 オランダの使節が来航 4. 琉球（沖縄） 1816年 1845年 イギリス船が来航 1844年 フランス船が来航 1853年 アメリカのペリーが来航】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(表では伝えられない距離感など)</p>
137	絵	追加	<p>⑤「工場制手工業による綿織物業」は、「読み解こう」の内容に関連するため、次のような説明を追加した。</p> <p>【効率よく布を生産できるように、たくさんの人が集まり、分業して仕事をするようになりました。糸をそろえる道具を一人で、布を織ることは複数の人で行っています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
139	絵	追加	<p>⑥「寺子屋で学ぶ子どもたち」に次のような説明を追加した。</p> <p>【子どもたちはそれぞれの課題に取り組んでおり、同じ部屋にいらながらも別々のことを勉強しています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
140 ～141	コラム	変更	<p>第10巻に配置した。写真などの資料に番号を付けた。</p>	<p>2編集の具体的方針(2)による。</p>
142 ～144	コラム	変更	<p>「学習のまとめと表現」は、生徒の持ち運び等を考慮し、一巻あたりのページ数を少なく意図で、すべて第9巻に移動し、まとめて配置した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
142 ～143	表	変更	<p>①と②に関わる「表」を簡略化した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>

142	地図	変更	③の地図は削除し、地名を問う質問に変更した	2編集の具体的方針(1)による。
143	図	変更	④の図を簡略化して、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
145	絵	追加	<p>絵「江戸湾に現れた軍艦」の絵を説明する文章を追加した。</p> <p>【軍艦は黒く塗られており、赤と白の横じまが描かれた国旗が掲げられています。軍艦の煙突からは煙が出ており、蒸気を動力とした船のようです。同じような形の船が、他に2隻あります。小さな手漕ぎの船が数隻、軍艦に近づいています。海辺には葵の御紋（徳川家の家紋）を掲げた旗が立てられ、武装した武士が集まって、険しい表情をしています。大砲を構えたり、米を運んできたりする人々もいます。図のタイトルは「米船渡来旧諸藩士固めの図」と記されています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
146 ～147	絵	<p>変更</p> <p>追加</p>	<p>絵「明治時代の新橋の様子」のみから考えさせることは不可能なので、全ての写真に以下の説明を付け加えるとともに「Q」の質問内容も変更した。</p> <p>【1 明治時代の新橋の様子（『新橋汐留蒸気車鉄道局停車館之真図』）</p> <p>絵の中央から向かって左側にかけて、新橋駅の建物が描かれています。石造りの土台にレンガを積み上げた近代的な建築物で、窓や入り口の扉にはガラスがはめ込まれています。駅舎の前には駅員とみられる黒い服の男性や、駅を利用する人々も描かれています。中には人力車に乗って駅に来る人たちもいます。人力車を引っ張る人足たちは裸足が多いですが、服装は洋服のようなものを着ています。また、道行く人々の中には草履ではなく靴を履いている人も見えます。</p> <p>絵に向かって右側には、敷地の外を取り囲む黒い鉄柵や、その鉄柵越しに見える蒸気機関車、さらに遠くの景色も描かれています。鉄柵の前に立ち、蒸気機関車を見物する人々もいます。この絵のタイトルの近くに「東京名所の内」と書かれているので、この場所は当時、東京の名所だったのでしょう。</p> <p>2 式典の様子（衆議院憲政記念館蔵）</p> <p>天井からシャンデリアが吊された、広く立派な会</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>（説明しきれていないその他の要素・状況など。2では弁髪も見えていたりする。3の「舶来ぜんまい大じかけ」（西洋式の産業機械の呼び名のことである）の動力は、実際には水力なので注意）</p>

			<p>場で行われた「式典」の様子が描かれています。絵に向かって右奥にそびえる壇上に明治天皇が立ち、その手前で頭を下げている人物が何かの書類を受け取った場面です。頭を下げている人物とは、当時の首相の黒田清隆とみられます。彼の後ろには各国务大臣が横一列に並んでひかえています。会場に向かって左奥から左手前にかけて、貴族とおぼしき礼服を着た一団が並び、その様子を見えています。向かって右手前にも一団が見えますが、頭髪の様子などから、外国から参列した使者たちが並んでいると思われる。</p> <p>3 1871年に開業した工場（国立国会図書館蔵） この絵では、和服を着た若い女性の工員さんたちが、当時「舶来ぜんまい大じかけ」と呼ばれた「機械」を用いて作業をしている場面が描かれています。よく見ると、機械の所々に糸を巻き取るための「糸車」が仕掛けられていて、動力を用いて自動的に糸が巻き取られているように見えます。また、糸が取り出されている部分には、丸い鍋のようなもので煮られている白い小さな丸い物が、たくさん見えます。】</p>	
148	絵	削除 追加	<p>①「スペインの無敵艦隊と交戦するイギリス海軍」を説明する文章を追加した。</p> <p>【船体が木で作られ、白い帆を張った多くの船が海上で戦っています。絵の右側にはおびただしい数のスペイン戦が連なって描かれています。船体から船をこぐ木製のオールが出ています。絵の左側にはイギリスの船団が描かれ、そのうちの一隻はスペインの砲撃を受けて破壊されています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
148	絵	削除 追加	<p>②「17世紀のイギリス議会」を説明する文章を追加した。</p> <p>【会議場いっぱい人が集まっている様子が描かれています。絵の左右に描かれた座席は階段状になっています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。

149	絵	削除 追加	⑤「ルイ 14 世と、ベルサイユ宮殿」を説明する文章を追加した。 【ベルサイユ宮殿の絵には、広大な平野に建設された広い宮殿に馬や馬車に乗った人々が集まって行く様子が描かれています。】	2 編集の具体的方針(1)による。
150	絵	削除 追加	①「ボストン茶会事件」を説明する文章を追加した。 【絵には、頭にアメリカ先住民風の羽飾りをつけた人々が、船の上から海に積荷を投げ込む様子が描かれています。】	2 編集の具体的方針(1)による。 (陸にいる人々の様子など)
150	地図	変更	②「独立当時のアメリカ合衆国」は、P154①「アメリカ合衆国の領土拡大」の地図と統合し、簡略化して点図で表現した。	2 編集の具体的方針(1)による。 (地図の見方・使い方など)
151	絵	削除 追加	⑤「フランス革命前の社会と、革命が目指す社会を描いた風刺画」を説明する文章を追加した。 【1 「革命前の社会」の絵 一人の人物が大きな石の下敷きになってもがいており、その石の上に二人の人物が乗っています。石に乗っている人物のうち、一人は聖書を、もう一人は剣を持っています。 2 「革命が目指す社会」の絵 苦しそうな表情をした三人の人物が、共に一つの大きな石を抱えて運んでいる様子が描かれています。】	2 編集の具体的方針(1)による。 (人物の服装など)
151	絵	削除 追加	⑥「バステューユ牢獄の襲撃」の絵を説明する文章を追加した。 【絵には、武器を持った多くの人々が石造りの頑丈な建物を取り囲み、大砲などで攻撃する様子が描かれています。建物からは火の手があがり、煙に包まれています。】	2 編集の具体的方針(1)による。
151	絵	削除 追加	⑧「ナポレオン」を説明する文章を追加した。 【軍服を着たナポレオンが白馬に乗り、右手で空を指さす姿が描かれています。】	2 編集の具体的方針(1)による。

152	絵	削除 追加	<p>①「鉄とガラスで建てられたクリスタルパレス（水晶宮）の会場」の絵を説明する文章を追加した。</p> <p>【広い会場にきれいな洋服を着た人々が集まり、展示された物を見えています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(鉄の生産が盛んになっていることや、万国博覧会とは何かなど)</p>
152	絵	追加	<p>②「ロンドンのスラム」の絵を説明する文章を追加した。</p> <p>【住宅が密集した路地に、多くの子供たちが集まっています。道端に座り込む人々や、地面にうずくまる子供たちがいます。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
152	絵	削除	<p>③「ワットの蒸気機関」の絵は削除した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(蒸気機関の仕組みなど)</p>
152	絵	削除 追加	<p>④「鉄道の開通」を説明する文章を追加した。</p> <p>【絵には煙を上げて走る機関車の乗客と道端で見物している人々が、声を掛け合いながら手を振る様子が描かれています。馬や馬車に乗って機関車を追いかける人もいます。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
153	絵	削除 追加	<p>⑤「イギリスの炭鉱で働く子どもたち」を説明する文章を追加した。</p> <p>【炭鉱とは、石炭を掘り出すための鉱山のことで、地面の下に、坑道（トンネル）を掘り進めながら、石炭を採掘していきます。坑道はとても狭く、子ども一人が腹ばいになって、やっと通れるくらいの広さしかありません。狭く真っ暗な坑道の中、子どもたちがかごを背負ったり、重い荷車を押したり引いたりしながら石炭を運んでいる様子が描かれています。子どもたちはランプのうす明かりを頼りにし、土まみれで石炭を集めて回ります。石炭が集まると子どもたちは滑車を使って引っ張り上げられ、地面と垂直に掘られたたて穴を通して石炭を地上に運び出します。引っ張り上げられる子供たちは、不安定な状態でロープにつかまっています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>

153	図	変更	<p>⑤「繊維工場で働く子どもたちの1日」の図を表に変更した。</p> <p>また、その際「行動内容」よりも「時刻」を先にした方が、より忙しさが意識され、読む際には効果的と考えたので、「時刻」を先に記した。</p> <p>【 3時 就業開始 7時 朝食 7時20分 就業再開 12時 昼食 12時30分 就業再開 …以下略 】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
153	絵	削除追加	<p>⑥「イギリスの繊維工場」を説明する文章を追加した。</p> <p>【工場には多くの機械が置かれ、女性たちが働いています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
154	地図	変更	<p>①「アメリカ合衆国の領土拡大」の地図はP150</p> <p>②「独立当時のアメリカ合衆国」の地図と統合し、簡略化して点図で表現した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (国土の広さや西部の気候・地形など)
154	絵	削除追加	<p>②「土地を追われる先住民」を説明する文章を追加した。</p> <p>【列を作り、馬や馬車に乗って移動する先住民たちが描かれています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (居住区の自然環境や地形の厳しさなど)
155	地図	変更	<p>④「19世紀中ごろのヨーロッパ」は簡略化し、点図で表現した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。
155	絵	削除追加	<p>⑤「ドイツ帝国の成立」の絵を説明する文章を追加した。</p> <p>【集まった人々の中央には、ビスマルクが描かれています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
156	絵	削除追加	<p>①「インド大反乱」と②「アヘン戦争」の絵の説明文を二つに分け、それぞれ次のように表記した。</p> <p>【① 19世紀の中ごろ、～戦いがあい次いで起こりました。反乱軍の拠点を攻撃するイギリス軍が描か</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (「アヘン戦争」の絵には、発砲したイギリ

			<p>れています。】</p> <p>【② イギリスの軍艦（蒸気船）の砲撃を受けて破壊される清の帆船を描いています。】</p>	<p>スの軍艦も描かれている。向かって右奥の艦から白い発砲煙が立ちのぼっているが、この写真では目立たない)</p>
156	グラフ	変更	<p>③「イギリスとインドの綿織物の輸出額の移り変わり」を簡略化し、点図で表現した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
157	注記	変更	<p>注3（点字版では注1に変更）を以下のように変更して革命の名前を明示した。</p> <p>【太平天国がかかげた理想は、後に中国で起こった革命（辛亥革命）に大きな影響を与えました。】</p>	<p>2編集の具体的方針(2)による。</p>
157	地図	変更	<p>④「19世紀中ごろのアジア」の地図は削除し、次のように表記した。</p> <p>【1. ヨーロッパ諸国の植民地（現在の主な国名）</p> <p>イギリス…インド、スリランカ、パキスタン、バングラデシュ、シンガポール、マレーシア、ミャンマー</p> <p>フランス…カンボジア、ベトナム</p> <p>オランダ…インドネシア</p> <p>アメリカ…フィリピン</p> <p>2. 南京条約で開港した都市</p> <p>中国東岸の5都市。北から上海、寧波、福州（フーチョウ）、厦門、広州（コワンチョウ）。</p> <p>※ この他、インド大反乱が起こった地域はインド北東部に、太平天国が活動した地域は中国南東部に広がっています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>（場所や地域名・国名など）</p>
157	絵 写真	削除 追加	<p>⑤「清のアヘン窟とケシの花」を説明する文章を追加した。</p> <p>【絵には、薄暗い部屋に集まってアヘンを吸う清の人々が描かれています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>（辮髪や人々の表情など）</p>
157	図	変更	<p>⑥「イギリス・インド・清の貿易関係の変化」を簡略化し、点図で表現した。その際、銀の流通量の変化が理解できるよう、図中の「矢印のマーク」の太さを変えた。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>（図の読取り方など）</p>
158 ～159	コラム	変更	<p>第10巻に配置した。</p>	<p>2編集の具体的方針(2)による。</p>

160	絵	削除 追加	①「横浜に上陸したペリーの一行」を説明する文章を追加した。 【海岸から隊列を組んで上陸し、日本の役人と対面するペリーの一行が描かれています。両脇を整然と並んだアメリカの兵士が囲み、その後ろでは多くの人々が見物しています。】	2編集の具体的方針(1)による。
160	絵	削除 追加	②「黒船（蒸気船）と、前年の来航で広まった狂歌」を説明する文章を追加した。 【絵には船体が黒く塗られた船が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。 （「上喜撰」「蒸気船」の漢字）
160	絵	削除 追加	③「ペリーと、日本人が描いたペリーの絵」の絵を説明する文章を追加した。 【絵には目と眉がつり上がり、鼻が天狗のように長く、中国風の模様が描かれた服を着た男性が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。 （写真に写ったペリーの様子）
161	地図	変更	④「ペリー艦隊の航路」の正距方位図法の地図は、点図で表しても理解しにくいいため削除し、次のような説明を追加した。 【< >は現在の主な国名を示す。 1852年11/24 ノーフォーク<アメリカ>出発 →大西洋（マデイラ島、セントヘレナ島） 1853年1/24～2/3 ケープタウン<南アフリカ> →インド洋（モーリシャス島、セイロン島） 1853年3/25～29 シンガポール →香港<中国>→上海<中国> 1853年5/26 那覇→6/14 小笠原諸島 →7/8 浦賀→1854年5/17 函館】 なお「日本周辺」の部分（別の地図）は、簡略化して点図で表現しており、上記説明の後半部分に対応させている。またその際に、原図では表現しにくい「江戸湾」の様子が分かるよう拡大した図も付けた。	2編集の具体的方針(1)による。 （正距方位図法、文章化した地名の位置、地図の見方や使い方など）
161	グラフ	変更	⑥「開国をめぐる大名の意見」を表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
161	写真	削除	⑧「ペリー提督来航記念碑」を説明する文章を追加	2編集の具体的方針(1)

			した。 【軍服にマントをはおり、右手には帽子を抱えたペリーの立ち姿の像です。】	による。
162	絵	削除 追加	①「開港後の横浜のにぎわい」を説明する文章を追加した。 【様々な店が並ぶ広い通りを多くの人々が行き交い、山のような荷物を積んだ荷車を押したり引いたりする人々の姿が描かれています。外国人のような服装をした人々もいます。】	2編集の具体的方針(1)による。 (人々の様子など)
162	グラフ	変更	②「輸出品・輸入品の割合」を表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
162	グラフ	変更	③「開国後の物価の移り変わり」を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
163	絵	削除 追加	④「薩英戦争」を説明する文章を追加した。 【海岸に押し寄せる数隻のイギリスの軍艦と、大砲を構えて迎え撃つ薩摩藩の人々が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
163	写真	削除 追加	⑤「四国連合艦隊に占領された下関の砲台」を説明する文章を追加した。 【軍服を着た多くの外国人が下関の海岸に設置された大砲を囲んで立ち、イギリス国旗が立てられています。】	2編集の具体的方針(1)による。
164	絵	削除 追加	①「幕末に江戸で起こった打ちこわし」を説明する文章を追加した。 【絵には地面に投げつけて米俵を壊す人々、木の棒を持って米屋を襲う人々、逃げ惑う米屋の人々、喜んでばらまかれた米を拾い集める人々が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
164	絵	削除 追加	②「『ええじゃないか』を描いた絵馬」を説明する文章を追加した。 【上空から小判やお札、掛け軸、輝く像などが降り、踊りながらそれを拾う人々が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
164	絵	削除	③「京都の二条城で政権返還の宣言をする徳川慶	2編集の具体的方針(1)

		追加	喜」を説明する文章を追加した。 【広間に座る徳川慶喜の前に、正装をして並んで座り、頭を下げる武士たちの姿が描かれています。】	による。
165	絵	削除 追加	④「鳥羽・伏見の戦い」の絵を説明する文章を追加した。 【両軍が山道で戦う姿が描かれています。幕府軍の兵士は着物を着ているのに対し、新政府軍の兵士は西洋風の軍服を着ています。新政府軍は銃を構え、背後から大砲で攻撃しています。】	2編集の具体的方針(1)による。
165	地図	変更	⑤「戊辰戦争」の地図を表に変更した。 【1. 主な戦い（現在の都道府県名） 1868年1月 鳥羽・伏見の戦い（京都府） 3月 江戸無血開城（東京都） 6月 長岡戦争（新潟県） 6月 会津戦争（福島県） 12月 函館戦争（北海道） 1869年5月 宮古沖海戦（岩手県） 2. 新政府に対抗した主な藩（現在のたまかな場所） 北から順に示す。 弘前（青森県） 秋田（秋田県） 盛岡（岩手県） 庄内（山形県） 仙台（宮城県） 米沢（宮城県） 長岡（新潟県） 会津（福島県）】	2編集の具体的方針(1)による。
165	写真	削除 追加	⑥「五稜郭」を説明する文章を追加した。 【上空から見ると星のような形をしていることが特徴的です。】	2編集の具体的方針(1)による。
166 ～167	コラム	変更	第10巻に配置した。写真などの資料に番号を付けた。	2編集の具体的方針(2)による。

168	絵	削除 追加	①「江戸城に入る天皇の一行」を説明する文章を追加した。 【絵には、天皇が輿（身分の高い人が乗って周りに布を張り、数人で担ぐ乗り物）に乗り、多くの人々を伴って江戸城に入る様子が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
168	図	変更	②「新政府のしくみと正院の政治家」を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
169	地図	削除 変更	④「廃藩置県」の地図は削除し、次の文を追加した。 【1871年11月には3府72県となりました。】	2編集の具体的方針(1)による。
169	絵	削除 変更	⑤「天地の秤にかけて人民に上下の別なき図」を説明する文章を追加した。 【様々な身分や職業の人が順番に天秤ばかりに乗り、共に食事をしたりくつろいだりしている様子が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。 (描かれている人の服装など)
169	グラフ	変更	⑦「人口の割合」を表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
170	絵 写真	削除 追加	①「明治時代の小学校の授業」「明治時代に使われた『小学日本歴史』の教科書」を説明する文章を追加した。 【小学校の授業の絵には、和服に日本髪の少女たちが長椅子に座り、洋服に断髪姿の教師が前に立って、掛図に書かれた問題を棒で示しながら算数の授業を行う様子が描かれています。教科書には、後醍醐天皇の絵と、足利尊氏についての文章が書かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
170	写真	削除 追加	②「復元された明治時代の小学校」の写真を説明する文章を追加した。 【窓や街灯、建物の形は西洋風ですが、屋根には瓦が使われています。】	2編集の具体的方針(1)による。 (日本と西洋の建築様式が混ざっている意味)

170	写真	削除 追加	③「徴兵検査を受けた人々」を説明する文章を追加した。 【写真は、和服を着た断髪姿の人々の集合写真で、はちまきを巻いている人が多くいます。】	2編集の具体的方針(1)による。
171	写真	変更	④「地券」に記されている内容を記載した。	2編集の具体的方針(2)による。
171	絵	削除 追加	⑤「地租改正の反対一揆」の絵を説明する文章を追加した。 【絵には「豊原村」「飯野郡」「山田村」などの地名が書かれたちょうちんと竹槍を掲げた男たちが押し寄せる様子が描かれています。前方の人々は腰に刀を携え、建物の壁を斧や木槌、木の柱などで壊しています。絵の中には森田源之助、石井安蔵、旧神戸藩某という中心人物の名前が示されています。】	2編集の具体的方針(1)による。
171	グラフ	変更	⑥「政府の収入と、収入に占める地租の割合の変化」を表に変更した。 「読み説こう」はこの表のあとに掲載し、活動①の内容を以下のように変更した。 【「4 資料」の「地券」にはどのような情報が記されているか確かめよう。】	2編集の具体的方針(1)による。
172	絵	削除 追加	①「富岡製糸場」を説明する文章を追加した。 【広い工場には機械が並べられ、着物を着た女性たちが椅子に座って働いている様子が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。 (生糸の製造工程など)
172	写真	削除 追加	②「建設当時の埠頭や建物が残る三角西港」を説明する文章を追加した。 【写真には、石を積んで造られた埠頭が写っています。】	2編集の具体的方針(1)による。 (お雇い外国人や世界遺産についてなど)
173	絵	削除 追加	④「洋風化する街並み」を説明する文章を追加した。 【窓ガラスやレンガが使われた西洋風の建物が並ぶ街道を多くの人々が行き交っています。石畳の橋の上を、馬車や人力車に乗った人々が通って行きます。着物を着ている人もいれば、洋服を着ている人	2編集の具体的方針(1)による。 (建物や乗り物、人々の服装がどのように変化したか)

			<p>もいます。ちょんまげを結っている人が多いですが、ザンギリ頭の人もあります。】 次の文を削除した。</p> <p>【建物や乗り物、人々の服装などを124・162ページの絵と比べてみましょう。】</p>	
174	写真	削除 追加	<p>①「岩倉使節団」の写真の説明する文章を追加した。</p> <p>【写真の中央に写る岩倉は羽織袴姿で正装しており、その他の4人は背広を着てネクタイをしています。5人ともシルクハットを持っています。】 写真に写っている人物の名前、出身、年齢を左から順に記載した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。
174	写真	削除 追加	<p>②「女子留学生」の写真の説明する文章を追加した。</p> <p>【写真に写る5人の少女は帽子をかぶり、洋装をしています。】 写真に写っている人物の名前と年齢を左から順に記載した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。
175	地図	削除 変更	<p>④「岩倉使節団のコース」の正距方位図法の地図は、点図で表しても理解しにくいいため削除し、コースを記載した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。 (国や都市の場所など)
176	絵	削除 追加	<p>①「明治時代に石垣島で行われた式典の様子」を説明する文章を追加した。</p> <p>【石垣で囲まれた敷地に大きな建物があり、「石垣南尋常小学校」「八重山高等小学校」と書かれた旗が立てられています。門の入り口には日の丸(日本の国旗)が、石垣にはところどころに赤い旗と白い旗が掲げられています。「小濱村」「宮良村」「白保村」「大濱村」など、村の名前が書かれた旗をたなびかせながら、かごに乗った人々が集まって来ています。敷地の中は人でいっぱいです。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
177	地図 年表	変更	<p>④「日本の外交と領土の歩み」の地図を簡略化し、点図で表現した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。

178	絵	削除 追加	<p>①「自由民権運動の演説会の様子」を説明する文章を追加した。</p> <p>【壇上で演説する弁士を3人の警官が止めています。演説を聞くために多くの聴衆が集まっており、彼らは警官に大声をあげて抗議をしています。壇上には急須や湯飲み茶碗などが飛んできています。】</p> <p>「読み解こう」の活動②を以下のように変更した。 「警官は、何をしようとしているのだろう。」→</p> <p>【警官は、なぜ弁士の発言を止めようとしているのだろう。また、聴衆はどんなことを言っているのだろう】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
179	地図	変更	<p>④「主な士族の反乱と、自由民権運動の広がり・主な激化事件」の地図は次のような文を追加し、年表に変更した。</p> <p>【39府県のうち、24府県が1880年4月の国会開設の請願に参加しました。】</p> <p>年表は 「1. 主な士族の反乱」 「2. 主な激化事件」 「3. その他」 に分類し、必要に応じて県名を記した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。
179	絵	削除 追加	<p>⑤「田原坂での政府軍と西郷軍の戦い」を説明する文章を追加した。</p> <p>【政府軍は黒い軍服を着て、山道の斜面の下から銃を構えています。西郷軍は着物で袴にわらじ姿の者が多く、斜面の上から銃や刀を構えています。二つの軍の間は煙に包まれています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
180	絵	削除 追加	<p>①「大日本帝国憲法の発布式」を説明する文章を追加した。</p> <p>【憲法を授けた天皇の周りには、洋風の正装をして並ぶ多くの人々が描かれています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。

180	絵	削除 追加	④「議員選挙の風刺画」の絵を説明する文章を追加した。 【厳しい顔つきをした二人の投票立会人とサーベルをつけた警官に見られながら、着物を着た一人の男性が投票しています。その後ろでは、着物姿の多くの男性たちが投票する人を見えています。その前にも警官が立っています。】	2編集の具体的方針(1)による。 (現在の選挙の投票の様子や原則など)
181	図	変更	⑤「憲法下の国家のしくみ」は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
181	絵	削除 追加	⑥「帝国議会の様子」を説明する文章を追加した。 【絵には、背広を着た多くの男性たちが会議場に着席している様子が描かれています。天井の照明はシャンデリアで、床には花模様のじゅうたんが敷かれています。壇上には議長と書記がおり、その前に立って発言する人がいます。一段低い場所には、記録をする6名の速記者がいます。2階の傍聴席からも多くの人が議会の様子を見えています。】	2編集の具体的方針(1)による。
182 ~183	コラム	変更	第10巻に配置した。写真などの資料に番号を付けた。	2編集の具体的方針(2)による。
184 ~185	コラム	変更	第10巻に配置した。写真などの資料に番号を付けた。	2編集の具体的方針(2)による。
186	地図	変更	①「列強による世界の分割」を簡略化して点図で表現した。また、他の時代の世界地図と「比較」がしやすいよう考慮し、図法も同一の形に揃えて第1巻にまとめて掲載している。	2編集の具体的方針(1)による。 (地図の見方・使い方、他の時代との比較など)
186	絵	変更	②「大陸をまたぐ巨人」を説明する文章を追加した。 【彼はとてつもない巨人として描かれ、アフリカ大陸を南北にまたぎ、右足をケープ植民地に、左足をエジプトに置いています。両方の足元からは電信線をひっぱり両手で掲げています。】 ひろとの言葉を以下のように変更した。 「ケープ植民地とスエズ運河(エジプト)は、アフリカ大陸のどこにあるかな。」	2編集の具体的方針(1)による。 (ケープ植民地とスエズ運河の位置)

187	絵	削除 追加	<p>③「ノルマントン号事件の風刺画」を説明する文章を追加した。</p> <p>【風刺画には、救命ボートに乗って助かったイギリス人の乗組員たちと、海でおぼれたまま彼らを見上げる多くの日本人乗客が描かれています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
188	絵	削除 追加	<p>①「東アジアの国際関係を描いた風刺画」を説明する文章を追加した。</p> <p>【風刺画には、二人の男性が川の中にいる魚を狙って釣りをしている様子が描かれています。川を挟んで左側にはちょんまげに着物姿の武士が、右側には清(中国)の国民風の帽子や服を身に付けた男が座っています。二人が狙う魚には「COREE (フランス語でコリア)」と書かれています。2人から少し離れた橋の上には、別の男が釣りの準備をして様子をうかがっており、この男の帽子には「RUSSIE (フランス語でロシア)」と書かれています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
189	地図	変更	④「日清戦争」の地図は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
189	絵	削除 追加	<p>⑤「戦争ごっこ」を説明する文章を追加した。</p> <p>【絵には日の丸(日本の軍などで用いられていた旭日旗)を振ったり棒を持ったりしながら、兵隊の服装をして遊ぶ子供たちが描かれています。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
189	グラフ	変更	⑥「賠償金の使いみち」を表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
190	地図 絵	変更	<p>①「列強の中国侵略」と、「その様子を描いた風刺画」の地図は簡略化し、点図で表現した。絵を説明する文章を追加した。</p> <p>【風刺画には、左からそれぞれイギリス、ドイツ、ロシア、フランス、日本を表す人物が描かれ、「CHINE」と書かれた巨大なパイを山分けにしようとしています。この5人の後ろで、中国人が驚いたように、大きく口を開いて両手を挙げています。】</p> <p>ゆうまの言葉を以下のように変更した。</p> <p>【「パイはどのようなことを表しているのか</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(地図の見方・使い方など)</p>

			な。」】	
190	写真	削除 追加	②「義和団事件に出兵した各国の兵士たち」の写真 を説明する文章を追加した。 【兵士たちは軍服を着て銃や剣を地面に突き、左から背の高い順に並んでいます。左から、ヘルメットをかぶったイギリス、三角形の帽子をかぶりマントを羽織ったアメリカ、あごひげを生やしセーラーカラーの服を着たロシア、頭にターバンを巻いたイギリス領インド、頭のとっぺんにとげのような金具が付いたヘルメットをかぶったドイツ、縦2列にボタンが並んだナポレオンジャケットを着たフランス、つばがない平らな水兵帽をかぶったオーストリア、大きな羽飾りがついた帽子を斜めにかぶったイタリア、円筒形の帽子をかぶり、ひととき小柄な日本の兵士が立っています。 日本の兵士は、なぜここにいるのでしょうか。】	2編集の具体的方針(1)による。
190	グラフ	変更	③「義和団事件に出兵した軍隊の国別の割合」は表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
191	絵	削除 追加	④「外国軍と戦う義和団」を説明する文章を追加した。 【槍や剣を持った義和団の大軍が、銃剣を持った外国軍を圧倒する様子が描かれています。義和団は頭に布を巻き、男性の上半身は裸に近い服装です。外国軍はそれぞれの国の軍服を着ています。背景の右端には蒸気機関車が描かれ、戦う人々の足元には、途中まで敷かれた線路があります。】	2編集の具体的方針(1)による。
191	絵	削除 追加	⑤「国際関係を風刺した地図」を説明する文章を追加した。 【地図上のロシアは巨大なたこととして描かれ、他の国々も実際の国境線と重ねつつ、人間の顔形が描かれています。たこは8本の足を使って、フィンランド、ポーランド、トルコ、クリミア半島、ペルシア、チベット、中国など周辺の地域を絡め取ろうとしています。】	2編集の具体的方針(1)による。

191	絵	変更	<p>⑥「日英同盟の風刺画」を説明する文章を追加した。</p> <p>【この絵には、左からロシア、日本、イギリス、アメリカを示す人物が描かれています。ロシアは、火の中に栗を入れ煎っているところです。ロシアをにらむ小さな体の日本は剣に手を掛けて、一步踏み出そうとしています。イギリスは日本の後ろに立ち、ロシアを指さして何かをけしかけています。アメリカはイギリスや日本の後ろに立ち、高みの見物です。】</p> <p>「読み解こう」の活動を以下のように変更した。 1. 「どの国の、どのような動きを」→ 【「ロシアのどのような動きを」】 「また、6の絵には（中略）火でいっています。」の文は絵の説明に追加したため削除した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>（「栗」は韓国「Korea」を表現する言葉であること）</p>
191	絵	削除追加	<p>⑦「日英同盟を記念して発行された絵はがき」を説明する文章を追加した。</p> <p>【絵はがきには手をつないで立つ2人の少女が描かれています。左の少女は金髪で白い洋服を着ています。イギリス国旗の前に立ち、右手に黄色い菊を持っています。右の少女は黒髪で、黒い着物を着ています。日の丸（日本の国旗）の前に立ち、左手に白いバラを持っています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>（菊は日本を、バラはイギリスを象徴する花であること）</p>
192	絵	削除追加	<p>①「日本とロシアの関係を描いた風刺画」を説明する文章を追加した。</p> <p>【プロレスのリングの上で、半ズボンに「ヨーロッパのチャンピオン」と書かれた肌の白い大男と、「アジアのチャンピオン」と書かれた肌の黄色い小男がにらみ合っています。二人はリング上に描かれた地図の上で、韓国に足を掛けています。様々な国の服装をした人々がリングを囲んで座っています。中国は会場に入れず、囲いの外からその様子を見えています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
193	地図	変更	<p>④「日露戦争での日本軍の進路」は簡略化し、点図で表現した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
193	グラフ	変更	<p>⑤「日清・日露戦争の比較」は表に変更した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>

193	絵	削除 追加	⑦「増税に泣く国民」の絵を説明する文章を追加した。 【「増税」と書かれおもりが巻かれた荷物を背負い、涙を流す老人が描かれています。背景には戦争に協力して利益を得た人々を風刺する絵が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
195	地図	変更	④「辛亥革命のころの東アジア」は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
195	写真	削除 追加	⑤「日本語の教育を受ける朝鮮の人々」を説明する文章を追加した。 【女性が教室の黒板にカタカナの文章を書いています。】	2編集の具体的方針(1)による。
196	写真	削除 追加	①「紡績工場での生糸の生産」を説明する文章を追加した。 【写真には、広い工場いっぱいに紡績機が並べられ、着物を着た女性たちが立って作業をしている様子が写っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
196	グラフ	変更	②「工業の生産量の移り変わり」を簡略化し、「綿織物・生糸」「造船・鉄」の2つに分けて点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (起点を100とした折れ線グラフの読み方、綿織物と「歴史の窓」との関連)
196	グラフ	変更	③「日清戦争後の輸出品・輸入品の割合」を表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。 (「開国したころの貿易品」との比較)
197	写真	追加	④「八幡製鉄所」の資料名に福岡県であることを明記した。	2編集の具体的方針(1)による。
197	地図	変更	⑤「明治時代の主な工場や鉱山と、鉄道の広がり」は鉄道の路線図のみ掲載し、工場と鉱山は表に変更した。 「読み解こう」の内容を以下のように変更した。 ②に次の文を追加した。 【「重工業の発達」の注1も参考にして考えよ	2編集の具体的方針(1)による。 (地図を比較し鉄道網の広がりを確認する)

			う。】	
198	写真	削除 追加	①「製糸工場で働く女工たち」の写真の説明する文章を追加した。 【女性たちが機械を使い、ゆでた繭から糸を繰り出す作業をしています。着物の上に白い作業用の服を着ています。】	2編集の具体的方針(1)による。
198	図	変更	②「製糸工場で働く女工たちの1日の生活」を表に変更した。 また、その際「行動内容」よりも「時刻」を先にした方が、より忙しさが意識され、読む際には効果的であり、労働時間を合計させる際なども効果的であるため、「時刻」を先に記した。 【 5時15分 起床 6時45分 就業開始 7時 朝食 7時30分 就業再開 11時30分 昼食 …以下略 】	2編集の具体的方針(1)による。 (富岡製糸場の工女との比較)
198	グラフ	変更	③「全耕地に占める小作地の割合の移り変わり」を表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
198	グラフ	変更	④「工場数と工場の労働者数の移り変わり」を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
199	絵	削除 追加	⑤「明治のころの足尾銅山」を説明する文章を追加した。 【山ぎわの広大な敷地に工場のような建物が広がっています。】	2編集の具体的方針(1)による。
199	地図	変更	⑥「鉍毒の被害を受けた地域」を説明する文章を追加した。 【鉍毒の被害は足尾銅山の付近と、渡良瀬川や利根川などの流域に広がりました。県境を越えて、群馬県、埼玉県、茨城県にも被害を受けた地域があります。田中正造が生まれた場所は渡良瀬川の近くでした。】	2編集の具体的方針(1)による。

200	絵	削除追加	①「黒田清輝『湖畔』」を説明する文章を追加した。 【湖のほとりに座り、水色の着物を着てうちわを持った女性が描かれています。背景には湖の向こうに広がる林や山並みが明るい色彩で描かれています。油絵具を使った西洋画です。】	2編集の具体的方針(1)による。
200	絵	削除追加	②「横山大観『無我』」を説明する文章を追加した。 【「無我」とは禅宗の言葉です。赤茶色のゆるめの着物を着て水辺にたたずむ子どもが描かれています。背景には猫柳が芽吹き、川の向こうはぼんやりとしています。墨や岩絵具などを使った日本画です。】	2編集の具体的方針(1)による。
200	写真	削除追加	③「高村幸太郎『老猿』」を説明する文章を追加した。 【岩の上に座って両手をつき、右上方をにらむ猿の木彫りの彫刻です。猿の体は長い毛に覆われており、左手には鷲の羽が数本握られています。】	2編集の具体的方針(1)による。
200	グラフ	変更	④「義務教育の就学率の移り変わり」を簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
202 ～203	コラム	変更	第10巻に配置した。写真などの資料に番号を付けた。「800年以降の人口の移り変わり」は表に改めた。	2編集の具体的方針(2)による。
204 ～206	コラム	変更	「学習のまとめと表現」は、生徒の持ち運び等を考慮し、一巻あたりのページ数を少なく意図で、すべて第9巻に移動し、まとめて配置した。	2編集の具体的方針(2)による。
204 ～205	表	変更	①と②に関わる「表」を簡略化した。	2編集の具体的方針(1)による。
204	地図	変更	③の地図は削除し、地名を問う質問に変更した	2編集の具体的方針(1)による。
207	絵	削除追加	「連合軍とドイツ軍の戦い」を説明する文章を追加した。 【戦場は広い平原で、たくさんの兵士たちが戦っています。馬や自動車に乗っている兵士もいます。攻撃には大砲や飛行機、飛行船が使われており、攻撃を受けたドイツ軍の一部が退却しようとしています。】	2編集の具体的方針(1)による。

			す。地面には負傷した兵士たちが力なく横たわっています。撃ち落された飛行機や飛行船からは炎と煙が上がっています。】	
208 ～209	写真	変更	<p>写真から考えさせることは不可能なので、全ての写真に以下の説明を付け加え、「Q」の質問内容も変更した。</p> <p>【1 昭和初期の百貨店（1933年） デパートの売り場の写真ですが、やや上から見下ろした構図になっているため、この建物は鉄筋コンクリートで作られ、高い天井からシャンデリアが吊り下げられている事が分かります。男性客はスーツにネクタイ姿で、帽子をかぶっている人が多く見られます。女性客は、まだまだ和服姿の人が多くいます。売り場は、客のいる広間をガラスで作られたカウンターが取り囲み、店員はそのカウンター越しに接客をしています。ガラスのカウンターや店員の近くに立つ棚には商品がずらりと並び、客はそこから気に入った物を選び、買うしくみになっているようです。</p> <p>働いている店員のほとんどは女性で、やはり和服姿ですが、着物の上から揃いの割烹着のようなものを着けています。これは店のユニフォームだと思います。】</p> <p>【2 東京を走るバス（1928年） 前方に出入り口があるバスの写真です。バスの側面に書かれている「乗り合い」という文字や、「茅場町」「日本橋」などの行き先を示した掲示も確認できます。乗客は乗り込む後ろ姿しか見えませんが、スーツに帽子をかぶった男性が多いようです。一番後ろに並ぶ人は、腰にサーベルを下げていますから、軍人と思われれます。窓越しに見えるバスの中は超満員といった感じです。</p> <p>出入り口の右側で乗客を案内している、バスガールと呼ばれた女性の車掌も撮影されています。彼女は白いブラウスに黒いロングスカートという洋服姿で、明るい色の帽子も着けています。左腕には腕章を巻いていますが、これにはバス会社の会社名が書かれていると思われれます。よく見ると、腕時計も着けているようです。黒っぽい靴もきまっています。颯爽と働く女性です。】</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(説明しきれしていないその他の要素・状況など)</p>

			<p>【3 開通した直後の地下鉄（東京 1927年） 地下鉄のホームに車両が到着した場面だと思われます。乗客が順番に乗り込む姿が確認できます。太い鉄骨で支えられたホームの天井はやや低く、車両の屋根がすれすれという感じです。撮影されたコンディションがあまり良くなかったため、行き先などは確認できませんが、最初の地下鉄は銀座と浅草を結ぶ「銀座線」です。】</p> <p>【4 劇場や映画館が立ち並ぶ大正時代の浅草（着色写真 1912年ごろ） モノクロの写真に、後から色を塗った写真です。赤や金色の派手な看板が立ち並ぶ街を行く人々が撮影されています。人出が多く、帽子をかぶった男性も日本髪の女性も、お目当ての芝居や映画を探しつつ人ごみに紛れ歩いています。】</p>	
210	写真	削除追加	<p>①「新兵器の飛行機と戦車」を説明する文章を追加した。</p> <p>【戦車は車体が鋼鉄で覆われており、大砲や機関銃などの武器を備えていました。タイヤをキャタピラにすることで、地面の状態が悪い場所でも進むことができました。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(飛行機や戦車の形状、戦車とざんごう戦の関係など)</p>
210	写真	削除追加	<p>②「ざんごうで戦う兵士たち」を説明する文章を追加した。</p> <p>【ざんごうとは地面に深い溝を掘ったもので、兵士はこれを使って攻撃から身を守りました。写真の兵士たちはざんごうに身を隠しながら、銃を構えています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(ざんごうの深さや長さ、ざんごう戦によって戦争が長期化したことなど)</p>
210	図	変更	<p>③「ヨーロッパの列強諸国の対立と、日本との関係」は簡略化し、点図で表現した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>
211	絵	削除追加	<p>④「バルカン半島の状況を描いた風刺画」を説明する文章を追加した。</p> <p>【「バルカンのトラブル」と書かれた大きな鍋が沸騰しており、イギリス、イタリア、オーストリア、ドイツ、ロシアの指導者たちが、その中身が噴出しないようにふたの上に乗って押さえています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>

211	地図	変更	⑤「第一次世界大戦のころのヨーロッパ」は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
211	写真	削除 追加	⑥「イギリスの軍需工業で働く女性」を説明する文章を追加した。 【女性たちは長さ50cmほどの先が尖った鉄の筒に、火薬を詰め込んでいます。何を作っているのでしょうか。】	2編集の具体的方針(1)による。
212	地図	変更	②「日本軍の進路」は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (ドイツ領南洋諸島の位置は第1巻に掲載の世界地図「第一次世界大戦中の世界」にも記載)
212	写真	削除	④「大戦中の川崎造船所」の写真は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。 (造船所の様子や規模など)
213	絵	削除 追加	⑤「シカゴで開かれた万国博覧会」を説明する文章を追加した。 【絵には様々な国の人々や建物、国旗が描かれ、空には気球が飛んでいます。】	2編集の具体的方針(1)による。
213	グラフ	変更	⑥「大戦前後の貿易額の移り変わり」を簡略化し、点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
213	絵	変更	⑦「『成金』の風刺画」を説明する文章を追加した。 【玄関で男性が帰ろうとしています、女性が「暗くてお靴がわからないわ」と言っています。男性は百円と書かれたお札に火をつけ「どうだ、明るくなったろう」と言っています。】 Qを以下のように変更した。 【この絵は「成金」のどのような点を風刺しているのでしょうか。】	2編集の具体的方針(1)による。

214	写真	削除 追加	①「ロシアの首都で起こったデモ」を説明する文章を追加した。 【多くの女性や子供が参加しています。】	2編集の具体的方針(1)による。
215	地図	変更	④「第一次世界大戦中の世界」は簡略化して点図で表現した。また、他の時代の世界地図と「比較」がしやすいよう考慮し、図法も同一の形に揃えて第1巻にまとめて掲載している。	2編集の具体的方針(1)による。 (地図の見方・使い方、他の時代との比較など)
215	絵	削除 追加	⑥「兵士を募集するアメリカ軍のポスター」を説明する文のはじめに次の言葉を追加した。 【ポスターには水兵の服を着て微笑む女性が描かれ、～】	2編集の具体的方針(1)による。
216	写真	削除 追加	①「第一次世界大戦の終結を喜ぶロンドンの人々」を説明する文章を追加した。 【多くの人々が集まり、笑顔でイギリス国旗や手を振っています。銅像や建物に上っている人もいます。】	2編集の具体的方針(1)による。
216	絵	削除 追加	②「ベルサイユ条約の調印」を説明する文章を追加した。 【背広や軍服を着た各国の代表者たちが、調印する人を見つめています。】	2編集の具体的方針(1)による。
216	地図	変更 追加	④「日本の委任統治領」は、地図を削除し、以下の文章を追加した。 【赤道以北のドイツ領南洋諸島が日本の委任統治領となり、サイパン、トラック、パラオ、ポナペ、ヤップ、ヤルートに役所を置いて南洋諸島を統治しました。】	2編集の具体的方針(1)による。 (南洋諸島の位置は、原典教科書の p212②点訳部分において掲載したほか、第1巻の世界地図「第一次世界大戦中の世界」にも記載)
217	地図	変更	⑤「第一次世界大戦後のヨーロッパ」は次のような表に変更した。 【新たに独立した国と（支配していた国）を北から順に示す。	2編集の具体的方針(1)による。 (国の位置など)

			<p>1. フィンランド (ロシア) 2. エストニア (ロシア) 3. ラトビア (ロシア) 4. リトアニア (ロシア、ドイツ) 5. ポーランド (ロシア、オーストリア、ドイツ) 6. チェコスロバキア (オーストリア) 7. ハンガリー (オーストリア) 8. ユーゴスラビア (オーストリア)】</p>	
217	写真	削除 追加	<p>⑥「紙幣の束で遊ぶ子どもたち」を説明する文章を追加した。</p> <p>【写真の子供たちは、紙幣の束を積み木のように積み上げて遊んでおり、その高さは子供の身長と同じくらいになっています。】</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
218	写真	削除 追加	<p>①「独立運動のレリーフ」を説明する文章を追加した。</p> <p>【レリーフには独立宣言を読み上げる男性と、それを聞く多くの男性たちが刻まれています。】</p>	2 編集の具体的方針(1)による。 (レリーフとはどのようなものか)
218	地図	削除 追加	<p>③「朝鮮での独立運動」は削除し、文章による説明に変更した。</p> <p>【朝鮮全土に運動が広がり、特に京城、平壤、釜山など主要な都市の周辺では運動が多く発生しました。】</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
219	写真	削除 追加	<p>④「五・四運動を報じる日本の新聞」を説明する文章を追加した。</p> <p>【新聞の見出しには「北京排日暴動 千余名の学生曹汝霖邸焼打 章公使重症を負ふ」と書かれています。】</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
219	写真	削除	<p>⑥「柳宋悦」の写真は削除した。</p>	2 編集の具体的方針(1)による。

221	絵	削除 追加	④「名古屋での米騒動」を説明する文章を追加した。 【絵には商店が並び、路面電車が通る川沿いの道に、竹刀を持った多くの男性が押し寄せる様子が描かれています。警官や馬に乗った軍人が騒動を止めようと駆け付け、絵の中央では、逃げる人々と対抗しようとする人々が入り乱れています。】	2編集の具体的方針(1)による。
221	グラフ	変更	⑤「総物価・米価と賃金の移り変わり」は簡略化し、点図で表現した。 「読み解こう」①の活動を以下のように変更した。 【1. 第一次世界大戦とシベリア出兵の期間を調べて、グラフの変化とどのように関係するか考えよう。】	2編集の具体的方針(1)による。 (期間と照らし合わせたグラフの読取り方)
221	写真	削除 追加	⑥「富山で起こった騒動を報じる新聞」を説明する文章を追加した。 【新聞の見出しには「女房連の一揆 米高に堪り兼ね『餓死すると』口々に喚き立て 300余名米屋へ押しかく」と書かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
222	写真	削除 追加	①「第1回普通選挙のポスター」、「投票所に並ぶ人々」を説明する文章をそれぞれ追加した。 【大きく「普選 皆さん投票所へ」と書かれた内務省発行のポスターです。右半分には明るい色彩で行列ができる投票所が描かれ、「投票スレバ明クナリ 昭和維新輿論政治ガ実現スル」と書かれています。左半分には暗い色彩でまばらに人が向かう投票所が描かれ、「棄権スレバ暗クナル」と書かれています。 【長い行列ができています。】	2編集の具体的方針(1)による。
222	写真	削除 追加	②「籠の鳥を救へ」を説明する文章を追加した。 【「籠の鳥を救へ」とは、女工たちが掲げたスローガンです。】	2編集の具体的方針(1)による。
222	グラフ	変更	③「労働争議と小作争議の発生件数」は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。

223	写真史料	変更	「『青鞥』の宣言」の資料は関連が深い④写真「平塚らいてう」とまとめて掲載した。	2編集の具体的方針(1)による。
223	写真史料	変更	「水平社宣言」の資料は関連が深い⑤「全国水平社の演説会で、差別との闘いを訴える山田孝野次郎」の写真とまとめて掲載した。	2編集の具体的方針(1)による。
223	グラフ	変更	⑥「有権者数の移り変わり」は表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
224	絵	削除追加	①「大正・昭和初期の東京駅前の様子」を説明する文章を追加した。 【赤レンガで造られた東京駅の前を、多くの人が行き交っています。着物を着た人や、洋服に帽子をかぶった男性、スカートをはいた女性がいます。褐色やセーラーカラーの軍服を着た人もいます。仕事の制服を着て、自転車やオートバイに乗っている人もいます。周辺には自動車や路面電車が走り、空には飛行機や飛行船が飛んでいます。】	2編集の具体的方針(1)による。
225	写真	削除追加	④「家庭に普及したラジオ」の写真の説明する文章を追加した。 【写真には、ラジオが置かれた居間に集まる子どもたちが写っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
225	写真	削除追加	⑤「大正時代に発効された雑誌」を説明する文章を追加した。 【大衆向けの雑誌『KING キング』と子ども向けの雑誌『赤い鳥』の創刊号。】	2編集の具体的方針(1)による。
225	写真	削除追加	⑦「関東大震災直後の東京・日比谷」を説明する文章を追加した。 【写真には、黒い煙が上がる街と崩れた建物、逃げる人々が写っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
226 ～227	コラム	変更 削除	第10巻に配置した。「路面電車が走っている都市」は地図を削除し、地名のみ列挙した。	2編集の具体的方針(1)による。
228	グラフ	変更	④「主な国の失業率の移り変わり」は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。

229	地図	変更	<p>⑤「ブロック経済」は文章による説明に変更した。</p> <p>【イギリス…インド、エジプト、南アフリカ、オーストラリアなど、植民地やイギリス連邦の地域を中心としたブロック経済。アジアやアフリカ、オセアニア、北ヨーロッパ、南アメリカなど、広範な地域の国々が経済圏に含まれています。</p> <p>フランス…インドシナや北アフリカなどの植民地を中心としたブロック経済。</p> <p>アメリカ…カナダやメキシコなど、南北アメリカ大陸の国々によるブロック経済。</p> <p>ドイツ…オーストリアやチェコスロバキアなど、東ヨーロッパの国々を支配することでブロック経済圏を作ろうと構想しました。</p> <p>日本…台湾や朝鮮半島などの植民地に加え、新たに中国の満州地方を支配することでブロック経済圏を作ろうと構想しました。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(各地域の場所など)</p>
229	資料	変更	<p>⑥「ヒトラーの言葉」中の空欄を(ア.) (イ.)、⑦「ムッソリーニの言葉」中の空欄を(ウ.)とした。</p>	2編集の具体的方針(2)による。
230	写真	削除	①「銀行に押しかけた人々」、⑤「市電のストライキ突入で、炊き出しをする女性の車掌たち」の写真は削除した。	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(写真に写っている人々の様子など)</p>
230	写真	追加 削除	<p>③「駅前職を探す失業者」を説明する文章を追加した。</p> <p>【傘をさして本を読みながら「GIVE!」「求職」などの言葉が書かれた紙を持っています】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
230	グラフ	変更	④「恐慌期の日本経済の移り変わり」は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
231	グラフ	変更	⑥「財閥への資本の集中」は表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。

231	写真	削除 追加	⑦「張作霖の列車の爆破事件を報じる新聞」を説明する文章を追加した。 【新聞の見出しには「昨朝奉天駅外に突発せる張作霖氏遭難の光景」と書かれ、爆破された列車の写真が掲載されています。】	2編集の具体的方針(1)による。
232	絵	削除 追加	①「『満州国』の建国ポスター」を説明する文章を文末に追加した。 【～この五人が仲良く肩を組んで満州国を進んで行く様子が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
232	写真	変更	③「溥儀の『満州国』執政就任式」の説明文を以下のように変更した。 【多くの人々が並び、中央に溥儀が座っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
232	地図	変更	④「満州国の範囲」は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
233	写真	削除 追加	⑤「満州での開拓の様子」を説明する文章を追加した。 【写真には、鋤を使って広大な草原を耕す人たちが写っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
233	写真	削除 追加	⑥「五・一五事件を報じる新聞」を説明する文章を追加した。 【新聞の見出しには「帝都震駭の不穏事件」「犬養首相遂に逝去 今日内閣総辞職」と書かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
233	写真	削除 追加	⑦「国際連盟での勧告の可決を報じる新聞」を説明する文章を追加した。 【新聞の見出しには「連盟よさらば!」「総会、勧告書を採択し、我が代表堂々退場す」と書かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
234	写真	削除	①「二・二六事件で、東京赤坂の料亭に立てこもる反乱軍」は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。 (写真に写っている人々の様子など)

234	写真	変更	②「反乱軍に投降を呼びかけるビラ」に書かれている内容を記載した。	2編集の具体的方針(1)による。 (語句の意味など)
234	写真	削除 追加	③「二・二六事件を報じる新聞」を説明する文章を追加した。 【新聞の見出しには「青年将校等・重臣を襲撃 国体擁護を目的に蹶起」「首相 内府 教育総監即死 侍従長重傷 蔵相負傷」と書かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
234	グラフ	変更	④「工業生産の移り変わり」は、内容を説明する次のような文章に変更した。 【日本の工業生産は1929年に始まった世界恐慌の影響により、縮小する傾向にありましたが、満州事変の後の1932年頃から増加する傾向に転じました。また工業生産の中心は、もともと軽工業でしたが、1934年ごろから重化学工業の割合がどんどん高まっていきました。軽工業が伸び悩む一方で、重化学工業は、1938年には軽工業の3倍程度にまで成長します。 総生産額も、1929年には総額800万円程度であったものが、1931年には500万円台に低下しますが、その後の成長により1938年には2000万円近くに達しています。 世界恐慌と中国への侵略により、日本は重化学工業が中心の国に変化したと言えます。】	2編集の具体的方針(1)による。
234	絵	変更	⑤「1930年代の政治の様子を描いた風刺画」の絵を説明する文章を追加した。 【この風刺画では、巨大なブーツが「議会政治」と書かれた国会議事堂を踏みつぶそうとしています。ブーツは軍人が身につけるものです。その巨大なブーツには軍服を着た男が乗って、笑っています。一方、ブーツのかかとは背広を着た紳士が必死にぶらさがっています。】 Qを変更した。 【議事堂と靴は、どのようなことを表しているでしょうか。】	2編集の具体的方針(1)による。

235	地図	変更	⑥「日中戦争の広がり」は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
236	写真	削除	①「軍需工場で働く中学生」は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。 (写真に写っている人々の様子など)
236	写真	変更	②「プラカードを持って行進する女性たち」の資料名を「『贅沢は敵だ』と書かれたプラカードを持って行進する女性たち」に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
236	人物の言葉	変更	さくらの言葉は①と②の写真のあとにそれぞれ分けて記載し、②の写真に関する問いかけを以下のように変更した。 【プラカードの言葉にはどのような意味が込められているのかな。】	2編集の具体的方針(1)による。
236	グラフ	変更	③「国の予算に占める軍事費の割合の移り変わり」は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。 (縦軸の左右両方に目盛りがあるグラフの読み方)
236	写真	削除追加	④「隣組の消火訓練」を説明する文章を追加した。 【写真には、はしごを使って屋根に上り、バケツを受け渡ししながら消火する訓練の様子が写っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
237	写真	削除追加	⑤「衣料切符と衣料切符の早見表」を説明する文章を追加した。 【早見表には対象となる衣服の絵と、その衣服を手に入れるのに必要な点数が書かれています。(ズボンは15点、レインコートは30点、背広は50点など。)】	2編集の具体的方針(1)による。
237	写真	削除追加	⑥「奉安殿への『捧げ銃』」を説明する文章を追加した。 【校庭に建てられた奉安殿(天皇の写真などを納めた建物)の前に小学生たちが整列し、銃の模型を地面と垂直に捧げて持ち、天皇への敬意を表しています。】	2編集の具体的方針(1)による。

237	写真	削除 追加	⑦「検閲を受けた写真」を説明する文章を追加した。 【この写真には、船に設置された大砲が写っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
237	写真	削除 追加	⑦「朝鮮神宮に参拝する朝鮮の人々」を説明する文章を追加した。 【写真には、鳥居をくぐって神社へと続く石段を上る人々が写っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
238 ～239	コラム	変更 削除	第10巻に配置した。写真などの資料に番号を付けた。「リトアニアとその周辺の国々」は地図を簡略化し、点図で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
240	写真	削除	③「三国防共協定の祝賀会」は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
240	写真	削除 追加	④「ソ連に侵攻するドイツ軍」を説明する文章を追加した。 【写真には、戦車に乗って進んで行くドイツ軍が写っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
241	地図	変更	⑤「第二次世界大戦中のヨーロッパ」は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
241	写真	削除	⑦「アメリカのローズベルトとイギリスのチャーチルの会談」は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。 (写真に写っている人々の様子など)
242	写真	削除 追加	①「日本軍の真珠湾攻撃で炎上するアメリカの戦艦と、真珠湾攻撃を報じるハワイの新聞」を説明する文章を追加した。 【新聞には「WAR! OAHU BOMBED BY JAPANESE PLANE S」と書かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。 (英文の意味など)
242	写真	削除 追加	②写真「日米の開戦を報じる新聞」を説明する文章を追加した。 【新聞の見出しには「帝国・米英に宣戦を布告す」「西大西洋に戦闘開始」と書かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。

242	グラフ	変更	③「日本の資源の輸入先の割合」は表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
242	図	変更	④「太平洋戦争中の国際関係」は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
243	地図	変更	⑤「太平洋戦争」は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
243	グラフ	変更	⑥「日本とアメリカの国力の比較」は表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。 (キロリットルという単位)
244	写真	削除 追加	①「竹槍訓練をする女性たちと陸軍のポスター『撃ちてしまむ』」を説明する文章を追加した。 【ポスターには「撃ちてしまむ」という言葉と、アメリカやイギリスの国旗を踏み、銃剣を持って進む兵士の姿が描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。 (竹槍訓練をする女性たちの様子)
244	写真	削除 追加	②「ミッドウェー海戦を報じる新聞」の写真の説明する文章を追加した。 【新聞の見出しには「東太平洋の敵根拠地を強襲 ミッドウェー沖に大海戦 アリューシャン列島猛攻 陸軍部隊も協力要所を奪取 米空母二隻(エンタープライズ、ホーネット)撃沈 わが二空母 一巡艦に損害」と書かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
244	写真	削除 追加	③「愛国イロハカルタ」の文字札の内容を記載した。	2編集の具体的方針(1)による。
245	写真	削除 追加	④「学徒出陣壮行会」を説明する文章を追加した。 【写真には、学生服を着た大勢の青年が銃を構えて行進する様子が写っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
245	地図	変更	⑤「空襲を受けた主な地域と、東京大空襲の焼け跡」は表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。 (生徒が住む地域の状況など)
246	写真	削除	①「ガン(洞窟)に火炎放射器で洞窟を攻撃するアメリカ兵と、投降した日本兵」は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。 (写真に写っている人々の様子など)

247	写真	削除 追加	⑥「長崎に投下された原子爆弾」を説明する文章を追加した。 【写真には、爆発によってできたキノコのような形の巨大な雲が写っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
247	写真	削除 追加	⑦「ラジオで玉音放送を聞く人々」を説明する文章を追加した。 【写真には、集まった人々が正座し、うつむきながらラジオを聞く様子が写っています。涙を拭いている人もいます。背後にはがれきが積み重なる街が広がっています。】	2編集の具体的方針(1)による。
247	写真	削除	⑧「日本の家族との再会を喜ぶ残留孤児」は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。 (写真に写っている人々の様子など)
248 ~249	コラム	変更	第10巻に配置した。	2編集の具体的方針(2)による。
250 ~252	コラム	変更	「学習のまとめと表現」は、生徒の持ち運び等を考慮し、一巻あたりのページ数を少なく意図で、すべて第9巻に移動し、まとめて配置した。	2編集の具体的方針(1)による。
250 ~251	表	変更	①と②に関わる「表」を簡略化した。	2編集の具体的方針(1)による。
250	地図	変更	③の地図は削除し、地名を問う質問に変更した	2編集の具体的方針(1)による。
251	図	変更	④は表に改めた	2編集の具体的方針(1)による。

254 ～255	写真	変更	<p>写真のみから考えさせることは不可能なので、全ての写真に以下の説明を付け加える、「Q」の質問内容も変更した。</p> <p>【1 東京都銀座（1945年） 撮影されている風景では、コンクリートで作られたビルを除き、その他の建物は焼失してしまい、焼け跡の空き地が目立ちます。昔から銀座を代表していた時計台のあるビルも焼け残りでしたが、多くのビルにも焼け焦げが見られます。道路を見ると、歩いている人がほとんどで、自動車などの乗り物は数台しか見られません。風景の6割から7割は焼け野原といった銀座の姿です。】</p> <p>【2 東京都銀座（1950年） 同じ場所の5年あとの写真です。空き地はほとんど無くなり、新たに建てられた木造の建物が目立ちます。焼け残っていたビルも、時計台のあるものを含めて、ちゃんと使われ続けているようです。道路をみると、歩いている人だけでなく、路面電車や自動車が忙しそうに行き来している様子が見られます。】</p> <p>【3 東京都銀座（1967年） これも同じ場所の写真で、最初の写真から22年、2番目のからは17年あとの撮影されました。現在の銀座と同様、人が大勢集まり、ビルが立ち並ぶ風景になりました。現在の様子と異なっているのはむしろ道路で、混雑する自動車の合間をぬって、路面電車が行き来している姿は、現在の銀座では見られません。あの時計台があるビルも健在です。】</p> <p>【4 現在の銀座（2018年） ビルが立ち並ぶ銀座の風景は相変わらずですが、休日には歩行者天国が行われるようになりました。そんな日に、通りを楽しそうに行き来する人たちの目線から撮影されている写真です。地下鉄の入り口が手前に見えます。あの時計台があるビルも、銀座の歴史を見守るかのように建ち続けています。】</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p> <p>(銀座和光の時計台が、一連の写真で撮影者の撮影位置などをはかる目安になると思われるので注意)</p>
256	写真	追加	<p>②「国会議事堂の周辺に建てられたアメリカ軍の兵舎」に次のような説明を追加した。</p> <p>【兵舎とは軍人が住む建物のことで、アメリカ軍のものはかまぼこのような形をしています。それが国</p>	<p>2編集の具体的方針(1)による。</p>

			会議事堂の前に沢山立ち並んでいます。】	
257	写真	追加	⑤「戦後の闇市」に次のような説明を追加した。 【写真手前に、「新宿マーケット」という看板が見えます。おおぜいの人たちが食糧などを買い求めにきました】	2編集の具体的方針(1)による。
257	写真	追加	⑦「満州から引き上げてきた子どもたち」に次のような説明を追加した。 【子どもの一人は、家族の遺骨が納められていると思われる白い箱を首から下げています。】	2編集の具体的方針(1)による。
258	写真	追加	①「皇居前広場で行われた憲法公布記念祝賀大会」に次のような説明を追加した。 【「日本国憲法公布記念祝賀都民大会」という看板が見えます。】	2編集の具体的方針(1)による。
258	絵	追加	③「『あたらしい憲法のはなし』のさし絵」に、「さし絵」の内容を説明する次のような文章を追加した。 【この写真で見ることができるページでは、「戦争放棄」と書かれた「るつぼ」の中で軍艦や戦闘機が溶かされ、電車や客船、乗用車などに生まれかわっていくイメージのイラストがさし絵として描かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。 (「るつぼ」など)
259	写真	追加	⑥「中学校の学級活動」に次のような説明を追加した。 【議長の生徒が、挙手した生徒の一人を指さし、発言を許可しています。】	2編集の具体的方針(1)による。
259	写真	追加	⑦「戦時中の教科書と戦後の墨ぬり教科書」に次のような説明を追加した。 【教科書が並んでいますが、戦後のものには墨が塗られて一部が消されています。墨が塗られたページのタイトルは「兵隊ごっこ」とあり、軍国主義を連想させる子どもの遊びについて書かれた部分が消されているようです。】	2編集の具体的方針(1)による。

259	グラフ	変更	⑧「農地改革による変化」を表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
260	地図	変更	①「東西両陣営の対立」は、簡略化して点図で表現した。また、他の時代の世界地図と「比較」がしやすいよう考慮し、図法も同一の形に揃えて第1巻にまとめて掲載している。	2編集の具体的方針(1)による。 (地図の見方・使い方、他の時代との比較など)
261	地図	削除 変更	④「地図第二次世界大戦後に独立した国」は、点図で表現することが困難なため、独立国の一覧表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
261	地図	変更	⑥「朝鮮戦争の経緯」は簡略化し、点図で表現した。ただし、時間の経過にともない戦局が変化した様子を示す必要があるため、2枚に分けて表現した。 【1枚目の地図 (1)北朝鮮軍が侵攻した進路 (2)米軍の仁川上陸作戦の様子。 2枚目の地図 (3)米軍の38度線突破 (4)中国軍が参戦した状況 】 を、それぞれ示した。現在の停戦ラインは、2枚目の地図で確認することができる。	2編集の具体的方針(1)による。
262	写真	追加	③「沖縄と日本の本土行き来で使用されたパスポート」に次のような説明を追加した。 【開いたページには「本証明書添付の写真および説明事項に該当する琉球 住民〇〇は、日本へ旅行するものであることを証明する。」と書かれ、発給元の署名は「琉球列島高等弁務官」となっています。】	2編集の具体的方針(1)による。
264	写真	追加	①「ベトナム戦争で避難する親子」の状況を説明するため、次のような文章を追加した。 【赤ちゃんを抱いた母親と3人の幼な子が手を取り合い、急流の川を泳ぎ渡ろうとしています。写真手前には岸辺の草木が写り込んでいるので、安全な岸辺まであとわずかだと思われます。母親をはじめ、どの人の顔も必死の表情を浮かべているのが印象的です。】	2編集の具体的方針(1)による。

264	写真	追加	②「アメリカ国内で高まったベトナム反戦運動」の状況を説明するため、次のような文章を追加した。 【数十人の兵士たちが銃を構えつつ前進しようとしています。その兵士たちに若者がたった一人で立ちむかっています。彼は静かにほほえみを浮かべて小さな1輪の花を掲げて銃口の前に立ちふさがっています。】	2編集の具体的方針(1)による。
264	写真	追加	③「沖縄の米軍基地から飛び立つアメリカの爆撃機」の状況を説明するため、次のような文章を追加した。 【黒煙を吐いて飛び立つ大型の爆撃機の写真ですが、よく見ると手前に反戦運動のために押しかけたデモ隊の人々が写っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
265	写真	追加	④「プラハの街でソ連軍の戦車を取り囲む人々」の状況を説明するため、次のような文章を追加した。 【人々はチェコスロバキアの国旗を掲げて、おおぜいで取り囲んでいます。戦車を止められたソ連の兵士は、困った表情を浮かべています。】	2編集の具体的方針(1)による。
266	写真	変更	⑤「本土復帰後、銀行に並ぶ沖縄の人々」に付随する説明だけでは分かりにくいため、次のような説明に変更した。 【行列の近くに「通貨交換所」の看板が掲げられています。人々はそれまで使われていたドルを円と交換するために並んでいます。】	2編集の具体的方針(1)による。 (ドルと円の違いや現在の為替の状況との比較など)
267	地図	変更	⑦「沖縄にある米軍基地」を簡略化して、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
268 ～269	コラム	変更 削除	第10巻に配置した。③は地図を削除し、国土の東端・北端・西端・南端をそれぞれ列挙した。	2編集の具体的方針(1)による。
270	グラフ	変更	③を点図で示したとしても、一見した所では意味が伝わりにくく、読み取りに時間を要すること等を考慮し、次のような説明に変更した。 【1960年代の日本は、おおむね6%～10%程度の高い経済成長率を保ち続けました。1955年には50兆円程度だった国民総生産も60年代を通じて増え続	2編集の具体的方針(1)による。

			け、65年には100兆円、70年には200兆円と越えました。しかし、その成長率は1973年にマイナス2%に急落し、以降は3～5%程度の低成長の時代となります。それでも国民総生産は順調に増え続け、80年頃には300兆円を超えました。】なお、この資料の扱いは、前回文章と変更になったので、指導者は注意のこと。	
270	写真	追加	④「1960年代の団地の部屋」の様子を説明するため、次のような説明を追加した。 【写真では、ダイニングから居間などを撮影しており、部屋は3つほど確認できます。居間にはテレビ、ダイニングには冷蔵庫や電気炊飯器が置かれています。テーブルやイス、ソファーまで見られることから人々が腰掛けて生活するようになったこともうかがえます。】	2編集の具体的方針(1)による。
270	グラフ	変更	⑤「家庭電化製品と乗用車の普及」を点図で示したとしても、提示される情報が多いため読み取りが難しく、要する時間を考慮し、次のような説明に変更した。 【電気冷蔵庫・電気洗濯機・白黒テレビは、1960年代には、人気が高くなりました。それらは1970年頃には、ほとんどの家庭で使用されるようになりましたが、新たに人気を集め始めたのが、乗用車（英語ではカー）、クーラー（エアコン）、カラーテレビの3つでした。これらは英語の頭文字から「3C」と呼ばれました。3Cの普及も1980年代には半数以上に達しています。】	2編集の具体的方針(1)による。
274 ～275	コラム	変更	第10巻に配置した。班ごとに番号を付け、グラフを表にするなどの変更をおこなった。	2編集の具体的方針(1)による。
276	地図	変更	⑤「国連平和維持活動（PKO）の展開地域と、PKOへの日本の協力」を表に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
278	グラフ	変更	②は簡略化し、点図で表現した。	2編集の具体的方針(1)による。

280	写真	追加	③「民主党への政権交代を報じる新聞」の内容を説明するため、次のような文章を追加した。 【どの新聞も一面の見出しに「民主 308」と書かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
281	グラフ	変更	⑦「日本でのインターネットと情報通信機器の普及率の推移」を点図で示したとしても、提示される情報が多いため読み取りが難しく、要する時間を考慮し、次のような説明に変更した。 【1990年代の半ばには、携帯電話やパソコンの普及率はせいぜい30%程度でしたが、2000年頃に急速に普及し、70~80%に達しました。それにともない、インターネットも急速に広まり、97年には10%だった普及率が2001年には半数を超えています。1996年には90%以上の人が固定電話を設置していましたが、2016年現在は70%まで落ちています。スマートフォンは2010年頃に登場し、わずか6年後年には固定電話に並びました。】	2編集の具体的方針(1)による。
284 ~285	コラム	変更	第10巻に配置した。写真などの資料に番号を付けた。	2編集の具体的方針(1)による。
285	図	追加	点字については、次のような説明を追加した。 【原典教科書では、点字の形を墨字の印刷により表現しています。次のように書かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
286 ~288	表	変更	①と②に関わる「表」を簡略化した。	2編集の具体的方針(1)(2)による。
286	地図	変更	③の地図を削除し、地名等を問う問題に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
287	図	削除	④の図は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
284 ~285	コラム	変更	このコラムのみ第8巻の最後に配置した。	2編集の具体的方針(2)による。
292 ~298	索引	削除	人名、事項索引ともに削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
巻末1	地図	変更	「都道府県と昔の国の対照図」は「対照表」に変更して第1巻に掲載した。また現在の状況と比較して使用できるように、第1巻には別項目として「日本の地図」も掲載されている。	2編集の具体的方針(1)による。 (資料編1の別項目に)

				は「日本の地図」も掲載しており、比較・対照できることなど)
巻末 1	地図	変更	「江戸時代の産業と交通」は地図を表に変更して第1巻に掲載した。また現在の状況と比較して使用できるように、第1巻には別項目として「日本の地図」も掲載されている。	2編集の具体的方針(1)による。 (資料編1の別項目には「日本の地図」も掲載しており、比較・対照できることなど)
巻末 2 ～ 3	年表	変更	「歴史年表」は、検索しやすいよう項目ごとに整理して点訳したものを第1巻に掲載した。	2編集の具体的方針(2)による。 (使用頻度の高い年表を巻の前の方に配置していることなどの説明)
巻末 4	写真	削除	「世界地図の歴史」の写真は削除した。	(地図の見た目や雰囲気など)
巻末 5 ～ 6	地図	変更	「各地の主な遺跡・史跡・できごと」は、地図では表現しにくいため 1 主な史跡 2 主な城・砦 3 主な寺院・神社 4 主な関係地・できごと 5 主な遺跡 6 その他 上記の6項目に分類し、県番号順に都道府県ごとに記載した表に改め、第1巻に掲載した。	2編集の具体的方針(1)による。 (調べ学習などに活用できることなどの説明)

分野	ページ	行	変更事項	変更内容	備考
公民	巻頭1 巻頭2	写真	削除	「現代を生きる私たち」の写真を削除し、タイトルのみを12巻（資料編）に掲載した。	2編集の具体的方針(2)による。
	I～IV		変更	「公民の学習を始めるにあたって」は導入的な内容であるため、1巻の「教科書の使い方」の次に掲載した。また、4ページを通した項目番号を以下のようにつした。 【1 10年後の自分や地球 2 SDGsと「本質的な問い」 3 「つながり」への気づき 4 地理、歴史、そして公民へ 5 公民で学ぶ主な内容と学習の見通し 6 公民で意識したい具体的な「学び方」 7 学びの記録としての「公民のノート」づくり 8 公民の学習を始めよう】	2編集の具体的方針(2)による。
	I	図	変更	「SDGsの17の目標」の図を削除し、記載内容を文章化した。	2編集の具体的方針(1)による。
	II	図	削除	「つながる世界の人々」の図を削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
	III	図	削除 変更	「公民で学ぶ主な内容と学習の見通し」の図を削除し、記載内容を文章化した。	2編集の具体的方針(1)による。
	6～10		変更	「公民にアプローチ」及び「日本と世界の歩み」は12巻（資料編）に掲載した。	2編集の具体的方針(2)による。
	8	写真 図	削除 変更	「ある日の新聞（朝刊）の1面」及び「トップ記事の構成」の写真と図を削除し、記載内容を文章化した。	2編集の具体的方針(1)による。
	14	写真	追加	①「外国資本の大型家具店」の状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【多くの人々が行列を作って入店を待っています。】	2編集の具体的方針(1)による。

14	写真	追加	②「海外で展開する日本企業」の業種が分かるように、写真のタイトルに 【「総合ディスカウントストア」、「衣料品店」】の語をそれぞれ追加した。	2編集の具体的方針(1)による。
14	グラフ	変更	④「地域別の貿易額の割合」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
15	写真	追加	⑧「外国語でも表記された観光案内所の入り口」の状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【英語、中国語、韓国・朝鮮語などの外国語でも、「京都総合観光案内所」と表記されています。】	2編集の具体的方針(1)による。
16	グラフ	変更	③「主な情報通信機器の保有率の推移」を2つに分けて点図化し（「固定電話」「スマートフォン」と「パソコン」「タブレット端末」「インターネットに接続できる家庭用テレビゲーム機」）、見開きページで表した。	2編集の具体的方針(1)による。
17	グラフ	変更	⑨「インターネットに関わる犯罪の検挙件数の推移」について、積み上げ棒グラフを折れ線グラフに変更し、検挙件数の総数のみを示した。また、検挙件数の内訳を説明するため、以下の文章を追加した。 【検挙件数の内訳としては、「不正アクセス禁止法違反」、「コンピューター・電磁的記録対象犯罪など」、「ネットワーク利用犯罪」があり、多くの年で「ネットワーク利用犯罪」が80～90%以上の割合を占めます。ただし、検挙件数の総数が急増した2006～2010年は、「不正アクセス禁止法違反」の占める割合が15～40%程度にまで上昇しました。】	2編集の具体的方針(1)による。
18	グラフ	変更	④「高齢化率の国際比較」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
19	グラフ	変更	⑦「一人暮らしの高齢者数の推移」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
28～29	資料	変更	「ルールについて考えよう～合唱コンクールの練習」の資料番号を「事例1」とした。	2編集の具体的方針(2)による。 (小単元の構成を明確にするため)

30	資料	変更	「ルールをつくってみよう～ごみ収集所の新たな設置」の資料番号を「事例2」とした。	2編集の具体的方針(1)による。 (小単元の構成を明確にするため)
32	資料	変更	ページの下半分の資料について、30ページの事例2の続きの内容であることが分かるように、資料番号とタイトルを以下のように追加した。 【事例2(続き) ルールをつくってみよう～ゴミ収集所の新たな設置】	2編集の具体的方針(1)による。 (小単元の構成を明確にするため)
32	写真	削除 変更	①「ゴミの収集と、収集所に貼られた表示」について、ゴミの収集の写真を削除し、収集所に貼られた表示の内容を一部文章化した。	2編集の具体的方針(1)による。
35	地図 グラフ	削除 変更	「東南アジアに進出した日本企業」の地図・グラフについて、タイトルを「東南アジアに進出した日本企業の数」と修正し、地図を削除した上で数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
42	図	変更	①「立憲主義と、第二次世界大戦後に成立した新しい憲法」の「立憲主義」の部分を簡略化して点図化し、「第二次世界大戦後に成立した新しい憲法」は成立年順に記載した。	2編集の具体的方針(1)による。
43	図	変更	⑤「憲法の三つの基本原理」の図の内容を次のように文章化した。 【日本の政治は、日本国憲法の三つの基本原理に基づいて行われています。 1. 国民主権(政治の主体、国民による政治) 2. 基本的人権(政治の目的、国民のための政治) 3. 平和主義(戦争の放棄、国際協調)】	2編集の具体的方針(1)による。
44	グラフ	変更	④「国の政治に国民の意思がどれだけ反映されているか」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
45	図	変更	⑤「憲法改正の手続き」の内容を次のように文章化した。 【1. 内閣または国会議員が憲法改正案を国会に提出します。 2. 衆議院・参議院それぞれの総議員の3分の2以上が賛成すると、国会が改正の発議を行います。	2編集の具体的方針(1)による。

			<p>す。賛成が3分の2未満の時は、廃案となります。</p> <p>3. 国民投票を行い、有効投票の過半数の賛成によって改正案が成立します。有効投票の半数以下の賛成のときは、不成立となり、廃案となります。</p> <p>4. 改正された憲法を、天皇が国民の名で公布します。】</p>	
46	図	変更	<p>①「基本的人権の成り立ち」の内容を次の順番に文章化した。</p> <p>【個人の尊重「世界にただ一人しかいない、かけがえのない存在」</p> <p>幸福追求権・法の下での平等</p> <p>自由権 — 自由に生きるための権利</p> <p>社会権 — 人間らしく生きるための権利</p> <p>参政権・請求権 — 基本的人権を守るための権利</p> <p>これらの権利を国の統治機構が保障し、それを国民が守らせます。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
47	グラフ	変更	⑤「人々が関心のある人権の課題」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
48	グラフ	変更	④「部落差別に関する問題について人々が知っていること」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
49	グラフ	変更	⑥「日本に住む外国人の数の推移」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
50	グラフ	変更	②「男女の育児休暇取得率の推移」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
50	グラフ	変更	④「主な国の会社の管理職に占める女性の割合」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
51	写真	追加	<p>⑥「視覚障がい者誘導用ブロック（点字ブロック）」の状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。</p> <p>【点字ブロック上に駐輪している自転車があります。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。

54	絵	追加	③「会話が盗聴される危険（イメージ）」の状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【家の中の会話を、家の外で、無線で聞いている人がいます。】	2編集の具体的方針(1)による。
55	図	変更	⑤「自由権の種類」を表で表した。	2編集の具体的方針(1)による。
56	グラフ	変更	②「取り調べの可視化件数の推移」のグラフを数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
56	写真	変更	①「免田栄さんの無罪を伝える新聞」の新聞記事については見出しのみ記載した。 【「免田被告 再審で無罪」「死刑囚に初の救済」という見出しが書かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
57	グラフ	変更	公民の技「死刑制度に対する意識調査」のグラフを数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
57	グラフ	変更	公民の技「死刑制度を廃止した国の数の推移」のグラフを数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
57	絵	削除	公民の窓「GPSのしくみ」の絵は、図の内容が文章の中で説明されているため削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
61	グラフ	変更	⑤「教育費がGDPに占める割合と、高等教育を私費で負担する割合の国際比較」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
62	グラフ	変更	②「世界の女性国会議員の比率」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
62	写真	追加	③「組閣された内閣」の状況を、キャラクターの生徒の発言と関連付けて説明するために、次のような文章を付け加えた。 【男性の大臣の中に、一人だけ女性の大臣がいます。】	2編集の具体的方針(1)による。
63	グラフ	変更	⑤「児童虐待の相談対応件数」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
64	グラフ	変更	④「駅と電車内で迷惑だと感じる行為」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
66	資料	変更	①「臓器提供意思表示カード」の裏面の内容を記載した。	2編集の具体的方針(1)による。

66	図	変更	<p>③「環境権の登場とその影響」の内容を次のように文章化した。</p> <p>【社会の変化（経済の発展・便利な生活） → 問題発生（例：環境破壊） → 環境権 — 快適な環境で暮らす新しい権利としての提唱 日本国内への影響（例：大気汚染、ごみ処理問題） — 環境基本法の制定 国際社会への影響（例：地球温暖化、海を回遊するごみ） — 京都議定書、パリ協定の採択】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
67	資料	変更	<p>⑤の新聞記事については見出しのみ記載した。</p> <p>【A社—「共有ソフトで流出容疑」 B社—「情報流出 863 万人」 C社—「流出個人情報 1000 人近く」】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
68	絵	変更	<p>「忘れられる権利」について考える時のポイント」の絵を次のように文章化した。</p> <p>【「個人のプライバシー保護」と「検索エンジンにおける表現の自由」を天秤にかけたら、どちらが重いか。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
69	図	変更	<p>「コンセプトマップに整理する」の板書の内容を「肯定派」「否定派」の順に表記し、対応するキーワードごとに下線と番号を付け、次のような説明を記載した。</p> <p>【この資料は黒板に書かれた文字です。下線（1）（2）同士はそれぞれ線をつないでいます。下線（3）同士は両向きの矢印が付いた線をつないでいます。】</p>	2編集の具体的方針(2)による。
71	グラフ	変更	<p>④「出生 1000 人当たりの 5 歳未満の子どもの死亡数」を数表化した。</p>	2編集の具体的方針(1)による。

71	図	変更	⑤「条約に基づく「対話」と、法の整備の例」の内容を次のように文章化した。 【女子差別撤廃条約を日本が批准→日本政府一国内法の改正。男女雇用機会均等法制定（1）日本政府 が女子差別撤廃委員会に成果を報告。（2）女子差別撤廃委員会から日本政府に勧告。（3）日本政府 が政策の改善・立法。例：民法の改正】	2編集の具体的方針(1)による。
73	グラフ	変更	⑤「防衛関係費の推移」は、棒グラフと折れ線グラフに分けて点図化し、見開きページで表した。数表を併記した。	2編集の具体的方針(1)による。
73	グラフ	変更	⑥「主な国の軍事費（防衛費）の比較」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
73	グラフ	変更	⑦「自衛隊を憲法に明記すべきかどうか」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
74	地図	変更	①「日本にある主な米軍基地」は、沖縄のみ点図化し、基地名と所在地のみ表した。	2編集の具体的方針(1)による。
75	地図	変更	⑥「自衛隊の海外での主な活動」は削除し、年代別に列記した。	2編集の具体的方針(2)による。
75	グラフ	変更	⑧「自衛隊の役割として期待すること」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
78	図	変更	⑨の設問の「基本的人権」の図を文章化した。	2編集の具体的方針(1)による。
78	絵	変更	STEP 1 ⑩の設問の①と②の小問については、絵の説明に変更し、絵に描かれている内容を次のように追加した。 【（1）挿絵の中央に「戦争放棄」と書かれたつぼがあります。このツボの中に軍艦や軍用機を入れて燃やし、つぼの上にはたくさんの煙が出ています。 （2）つぼの下の方からは、電車、船、消防自動車 が新たに出てきています。つぼの左右には、きれいなビルやタワーが建っています。】	2編集の具体的方針(1)による。

84	絵	追加	①「自由民権運動の演説」の状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【演説をしている弁士や聴衆に対して、3人の警官が険しい表情で詰め寄っています。聴衆は警官に土瓶や茶碗を投げて抗議しています。】	2編集の具体的方針(1)による。
84	写真	追加	②「選挙の街頭演説」の写真の状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【広場にたくさんの人が集まり、選挙カーの上にいる候補者の演説に耳を傾けています。】	2編集の具体的方針(1)による。
84	グラフ	変更	④「国の政治に国民の声を反映させるにはどうすべきか」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
85	表	変更	⑦「投票方法の違いによる集計結果の差」の「単純多数決」を次のように文章化した。また、「総得点方式」の表は、記号ではなくそれぞれの記号が表す得点を記載した。 【候補はA～Dの4つ、投票者は1～3の3名とする。「単純多数決」投票者1は候補A、投票者2は候補A、投票者3は候補Bに投票した。 結果 候補Aが選出された。「総得点方式」投票者は4つの候補それぞれに、3点、2点、1点、0点の得点を付ける。】	2編集の具体的方針(1)による。

87	図	変更	<p>公民の技「選挙に仕組みについて考えよう」の「小選挙区制」「比例代表制の」図を次のように文章化した。</p> <p>【小選挙区制—有権者は候補者の名前を書いて投票する。最多得票の候補者が当選となる。</p> <p>比例代表制—有権者は政党の名前を書いて投票する。政党の得票率によって、各政党からの当選者数が決まる。】</p> <p>また、「ドント方式による比例代表制の議席配分」の表には、次のような文章を追加した。</p> <p>【例として、A党が600票、B党が450票、C党が240票獲得した場合について、表をもとに考えてみましょう。表の(…)内の数字は、割った結果の数値を大きい順に示しています。表の(6)のところで考えると、600割る3イコール200となり、この200は、表の中で6番目に大きい数値となる。したがってこの場合、A党から3名、B党から2名、C党から1名当選する。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
88	グラフ	削除	②「衆議院議員選挙における選挙権の拡大」のを数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
89	グラフ	変更	⑤「衆議院議員選挙の年齢別投票率の推移」を、「総平均」「20～29歳」「50～69歳」の3種のみにして点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
89	グラフ	削除	⑥「衆議院議員一人当たりの有権者数」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
90	図	変更	<p>④「政党政治のしくみ」を次のように文章化した。</p> <p>【1. A党、B党、C党のそれぞれの政党が、公約を示します。2. 国民による選挙で、それぞれの政党の議席数が決まります。3. A党が過半数の議席を占めた場合、A党が与党となり、政権を担います。内閣を支持し、政策を実現していきます。4. B党とC党は野党となり、政策を批判・責任追及を行います。5. 国会で過半数の支持を得た人が内閣総理大臣に指名されます。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。

91	グラフ	削除	⑤「衆議院と参議院の政党別議席数」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
92	写真	変更	①「ある日の新聞各社のトップ記事」については見出しのみ記載した。 【A社一辺野古 土砂投入を強行 B社一車・住宅 1670 億円減税 C社一辺野古埋め立て強行】	2編集の具体的方針(1)による。
93	グラフ	変更	④「年齢階層別のメディアへの信頼度」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
94	写真	追加	「熊本地震の発生直後に SNS に投稿された写真」の写真の状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【街中の道路をオスのライオンが歩いています。】	2編集の具体的方針(1)による。
95	写真	追加	「インドネシアのジャカルタは高層ビルが並ぶ大都会！」の写真の状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【1枚目—SNSの記事「インドネシアのジャカルタは高層ビルが並ぶ大都会！」という記事と、近代的な高層ビル群の写真があります。 2枚目—インドネシアの首都ジャカルタの町並み 近代的な高層ビル群の手前にスラム（貧困層が暮らす住宅街）が写っています。】	2編集の具体的方針(1)による。
95	資料	変更	新聞記事については見出しのみ記載した。 【新聞のトップ記事に、「大半の市民の支持を得られた」「△△市長選〇〇氏得票率 80%」「投票率初めて 20%を下回る」と書かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
95	絵	追加	イラストの状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【電車の座席に 3 人の乗客が並んで座っています。右側の男性はイヤホンをしてスマートフォンを見ています。真ん中の若い男性は足を組み、ヘッドフォンをして大音量で音楽を聴いています。左側の女性は眉をひそめて真ん中の男性をみています。】	2編集の具体的方針(1)による。

97	図	変更	⑥「衆議院の優越が適用された例」を文章化した。 【新テロ対策特別措置法案の議決 2007年11月13日、衆議院では、賛成327、反対128でした。2008年1月11日、参議院では、賛成106、反対133でした。衆議院では、賛成340、反対133でした。衆議院で3分の2以上の賛成によって再可決され、この法案は成立しました。】	2編集の具体的方針(1)による。
98	図	変更	①「衆議院議員の会期中のある一日」を表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
99	グラフ	変更	⑦「閣法と議員立法の比較」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
100	図	変更	②「国の行政のしくみ」のうち、各省に所属する庁・委員会については別表に示し、その他は点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
101	図	変更	⑧「行政機関の組織」を次のように文章化した。 【大臣（1名）— 国会議員や民間人 副大臣 — 与党の国会議員2名 大臣政務官 — 与党の国会議員2名 事務次官（1名）— 国家公務員一般職の最高地位 文部科学審議官 — 国家公務員一般職2名 その他の一般職の公務員】	2編集の具体的方針(1)による。
103	図	削除	公民の窓「小さな政府と大きな政府」の図は、図の内容が文章の中で説明されているため削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
103	グラフ	変更	⑦「政府に力を入れてほしいこと」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
106	絵	変更	①「刑事裁判の法廷」を簡略化して点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
106	絵 写真	追加	クリップ「裁判官のバッジ」の絵と「弁護士のバッジ」の図に次のような説明を追加した。 【「裁判官のバッジ」紅色の旭日に菊の白い花卉と金色の葉があしらってあり、「秋霜烈日」とも呼ばれています。 「弁護士のバッジ」表面をひまわりの花とし、その中心部に秤一台を配しています。】	2編集の具体的方針(1)による。

106	写真	変更	②「民事裁判をめぐる記事」については見出しのみ記載した。 【「意識障害で死亡事故「無罪」 民事は過失認定賠償命令へ」という見出しが書かれてあります。】	2編集の具体的方針(1)による。
108	図	変更	③「裁判員制度のしくみ」を文章のみ記載した。「辞退」部分については、次のように記載した。 【候補者は以下のどの段階でも辞退を申し出ることができます。】	2編集の具体的方針(1)による。
109	グラフ	変更	「裁判員経験者の感想とこれから裁判に参加する人の感じる不安」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
109	グラフ	変更	公民の窓「審理予定日数の平均と裁判員候補者の辞退率」のグラフを数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
112	写真	変更	②「判決を報じる新聞記事」については見出しのみ記載した。 【「婚姻条件の国籍法違憲」という見出しが書かれてあります。】	2編集の具体的方針(1)による。
114	写真	追加	①「子どもがつくる「ミニふくおか」」の状況を説明するために、次のような文章を付け加えた。 【体育館の中に、子どもたちが自分でテーマを決めてつくった仮想のまちが再現されています。】	2編集の具体的方針(1)による。
114	グラフ	変更	③「自分が住む地域の将来に対する不安」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。

115	写真	追加	<p>④「さまざまな地方自治体の庁舎」に写った庁舎の様子を説明するために、次のような文章をそれぞれ付け加えた。</p> <p>【1. 宮崎県庁舎 — 近代ゴシック様式の重厚で荘厳なつくりの庁舎で、国登録有形文化財にも登録されています。</p> <p>2. 新潟県長岡市役所 — 木をふんだんに使用しつつも、近代的なデザインで設計されたモダンなつくりの庁舎です。</p> <p>3. 沖縄県名護市役所 — 沖縄の建築物によく見られる白やピンクのコンクリートブロックを多用し、壁面や屋根の一部に植物も絡みついています。</p> <p>4. 岩手県住田町役場 — 林業の町としての特徴を生かし、地元の木材をふんだんに利用した木のぬくもりを感じるつくりの庁舎です。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
115	地図	削除	⑤「さまざまな条例」の地図を削除し、条例の例と説明のみを記載した。	2編集の具体的方針(1)による。
118	地図	削除 変更	<p>①「各地の主な「法定外税」」の地図を削除し、法定外税の設置都道府県について、次のように文章化した。</p> <p>【36の都道府県で法定外税が設置されています（未設置県は、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、富山県、長野県、兵庫県、和歌山県、徳島県、香川県、高知県の11県）】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
118	グラフ	変更	②「地方財政の歳入と目的別の歳出」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
119	グラフ	変更	④「歳入に占める地方税の割合と地方交付税の割合の比較」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
119	グラフ	変更	⑤「地方の借入金の残高とGDPに占める割合」を点図化して、数表を併記した。	2編集の具体的方針(1)による。

119	図	変更	<p>⑥「国が想定した、消費税込 10%分の国と地方の配分と使い道」は、次のように文章化した。</p> <p>【1. 国と地方の配分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税込 (10%分) のうち、消費税を 7.8% 分、地方消費税を 2.2%分とする。 ・消費税 (7.8%) は、一部 (1.52%) を地方交付税分として地方分の財源とし、残り (6.28%) を国の分の財源とする。 ・最終的に、消費税込 (10%分) のうち、6.28%を国の分、3.72%を地方分の財源とする。 <p>2. 国と地方の使い道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の分 (6.28%) は、すべてを社会保障 4 経費 (年金、医療、介護、少子化対策) として使う (社会保障目的税化)。 ・国の分のうち、社会保障 4 経費として不足している差額は他から補填する。 ・地方分 (3.72%) のうち、2.72%分を社会保障財源化する。】 	2 編集の具体的方針(1)による。
120	地図	削除 変更	<p>①「都道府県別の人口の増減率と各地のさまざまな取り組み」の地図を削除し、人口の増減率のパーセンテージごとに都道府県名を列挙した。また、地図中の各地のさまざまな取り組みの例を箇条書きで記した。</p>	2 編集の具体的方針(1)による。 (新潟県粟島浦村および島根県海士町が離島自治体であることの補足)
120	グラフ	変更	<p>②「合併による市町村数の変化」を数表化した。</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
121	図	削除	<p>④「神奈川県川崎市の「外国人市民代表者会議」のしくみ」を削除した。</p>	2 編集の具体的方針(1)による。
121	グラフ	変更	<p>⑥「地域が活性化するために住民が期待する政策」を数表化した。</p>	2 編集の具体的方針(1)による。

128	図	変更	<p>「S市の給食作り」「もしも一人で作ったら・・・」の漫画を以下のような文に変更した。</p> <p>【「S市の給食作り」 (1) 冷凍食品や青果など、多くの給食の材料を、業者の人から受け取ります。 (2) 野菜を洗う、下ごしらえをする、調理するといった工程を、多くの調理員で行います。 (3) 市内の中学校へ向けて、配達員がトラックで給食を届けます。 (4) 中学生のもとへ給食が届けられました。 女子学生「いただきます！」</p> <p>「もしも一人で作ったら…」 (1) 業者から受け取った多くの材料を調理員が一人で運び、下ごしらえをします。 (2) 調理員が一人ですべての調理を行います。 (3) 調理員がトラックを運転し、市内の中学校へ給食を運びます。 (4) 疲れた様子で給食の容器を運ぶ調理員を、中学生が心配そうに見つめています。 調理員「一人ではとても無理…。」】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
130	表	削除	公民の技の「使いみちランキング」の表を削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
131	グラフ	変更	②「消費の内訳の推移」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
131	グラフ	変更	③「貯蓄の内訳と主な目的」を2つに分けて数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
131	写真	削除追加	<p>⑤「電子マネーによる支払い」の写真について、以下のような説明を追加した。</p> <p>【1. 会計の際にカードを機械にかざしている (2014年 埼玉県越谷市) 2. 自動改札機にスマートフォンをかざしている (2016年 東京都新宿区)】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
132	グラフ	変更	③「消費者相談の受付件数の推移とその内訳」を、「1. 消費者相談の受付件数の推移」と「2. 消費者相談の内訳」に分けて数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。

			「1. 消費者相談の受付件数の推移」については、架空請求と架空請求以外に分けて数表化した。	
133	絵	削除 変更	④「消費者契約法における契約取り消しの主な条件」を削除し、吹き出し部分のみ文章化した。	2編集の具体的方針(1)による。
134	グラフ	変更	③「小売業の売り上げの推移」を点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
135	図	変更	⑤「野菜や果物が私たちのもとに届くしくみと、流通にかかわる主な仕事」の図中の流通にかかわる主な仕事の部分を、以下のように文章化した。 【流通にかかわる主な仕事には、運送業・倉庫業・保険業・広告業があります。】	2編集の具体的方針(1)による。
136	図	削除	②「生産の要素」を削除し、説明文のみ記載した。	2編集の具体的方針(1)による。
138	グラフ	変更	④「種類別の企業数（事業所数）の割合」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
139	グラフ	変更	⑤「製造業における中小企業と大企業の割合」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
141	表	変更	④「財務諸表の種類と損益計算書の例」を2つに分け、「1. 財務諸表の種類」を文章化、「2. 損益計算書の例」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
142	グラフ	変更	④「働く目的」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
143	グラフ	変更	⑦「労働組合の加入者と組織率の推移」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
144	図	変更	③「ワーク・シェアリングのしくみ」を文章化した。	2編集の具体的方針(1)による。
144	グラフ	変更	④「正規雇用者数と非正規雇用者数の推移」を2つに分け、「1. 正規雇用者数と非正規雇用者数」を数表化し、「2. 非正規雇用者数の割合」を点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
144	グラフ	変更	⑤「男女で見た雇用の形態別の割合」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
145	グラフ	削除 変更	⑥「日本で働く外国人労働者数の推移と、外国人技能実習生」を総数のみ数表化した。また、写真を削除し、次のような説明を加えた。	2編集の具体的方針(1)による。

			【2010年以降、外国人技能実習生の数が増えています】	
145	グラフ	変更	⑦「女性の年齢階層別の労働力人口の割合」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
148	グラフ	変更	②「キャベツの月別入荷量と平均価格」の棒グラフと折れ線グラフを分けて表した。	2編集の具体的方針(1)による。
151	グラフ	変更	⑤「主な商品の生産や販売サービスの集中度」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
152	表	変更	③「銀行と主な取引の実施形態の割合」について、各項目の上位3位の情報を省略した。	2編集の具体的方針(1)による。
152	絵	削除 変更	④「金融の役割」を削除し、説明文を次のように変更して図の情報を補った。 【金融とは、資金に余裕のある人と資金が必要な人との間のやりとりのこと。資金に余裕のある人は資金が必要な人にお金を貸し、お金を借りた人は借りた金額に利子を加えて返す。直接金融と間接金融がある。】	2編集の具体的方針(1)による。
154	グラフ	変更	②「所有者別の株式数の割合」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
157	グラフ	変更	⑧「相対的貧困率の各国の比較」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
158	グラフ	変更	④「主な国の消費税率の比較」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
159	グラフ	変更	⑤「国税と地方税の比較」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
159	グラフ	変更	⑥「主な国の直接税と間接税の比較」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
159	グラフ	変更	⑦「累進課税制度のしくみ」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
159	グラフ	削除 変更	⑧「所得別の消費税負担率」について、2016年のデータを省略し、2017年の棒グラフと折れ線グラフを分けて点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
160	グラフ	変更	③「国の歳入と歳出」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。

161	グラフ	変更	④「国債残高と国債依存度の推移」を2つに分け、「国債残高」は数表化し、「国債依存度」は点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
163	グラフ	変更	公民の窓の「これからは心の豊かさか、まだ物の豊かさだと思うか」のグラフを数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
165	絵	変更	STEP 1 ⑩の設問にある、飲料のイラストパッケージについて以下のように文章化した。 【A 商品名 オレンジジュース パッケージ オレンジの断面が描かれたイラストと「100%」の文字が書かれている。 B 商品名 つぶ入りオレンジ パッケージ 切られていないオレンジのイラストと「果汁入り飲料」の文字が書かれている。 C 商品名 おいしいオレンジ パッケージ 顔のあるオレンジイラストが描かれている。】	2編集の具体的方針(1)による。
168 169	図	変更	《出産・育児》、《保育・教育》、《医療》の図は表で表した。	2編集の具体的方針(1)による。
170	図	変更	①「すべての人が生き生きと社会に関わるしくみ」を以下のように文章化した。 【1. 就業（正規雇用、パートタイム、短期・一時雇用、自営業） 2. 就業にむけて （1）子育て・介護 出産・育児休業、介護休業・家族の支援 （2）退職 定年退職後の再雇用、継続雇用など（その他の支援）地域貢献活動、シルバー人材センター、（社会保障）年金保険 （3）失業 トライアル雇用、職業訓練など（社会保障）労働生活全体に関わる保障（雇用保険、生活保護など） （4）教育 キャリア教育、職場体験など】	2編集の具体的方針(1)による。

171	グラフ	変更 削除	③「社会保障の給付費の推移」を2つに分け、見開きページで表した。棒グラフは、5年ごとの値のみを示した。	2編集の具体的方針(1)による。
171	グラフ	変更	⑥「人々が日々の暮らしの中で抱えている悩みや不安」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
172	写真	変更	①「病院の領収書」の各項目の説明を列記して表した。	2編集の具体的方針(1)による。
173	グラフ	変更	⑤「社会保障費の制度別の内訳を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
174	図	削除 変更	④「高齢者(65歳以上)一人を支える現役の世代(15~64歳)の人数」を削除し、数値のみを表した。	2編集の具体的方針(1)による。
175	グラフ	変更	公民の技の「社会保障費の給付と負担の国際比較」のグラフを数表化した。高福祉と高負担の矢印は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
176	写真	追加	③「記号やさまざまな言語で示された空港の案内」を削除し、以下の説明を追加した。 【写真の案内では、お手洗いや授乳室、飲料水、ショップなどの情報が、日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語とともに、ピクトグラムでも示されています。】	2編集の具体的方針(1)による。
176	写真	追加	④「店の入り口にはられた、補助犬の进店許可を示すステッカー」について、以下の説明を追加した。 【写真のステッカーには、補助犬のイラストとともに「盲導犬・介助犬・聴導犬は全館ご同伴いただけます。」と書かれています。】	2編集の具体的方針(1)による。
177	絵	削除 変更	公民の窓の「台が平等に用意された場合と、実態に応じて用意された場合」のイラストを削除し、次のような説明文を記載した。 【(1) 平等 サッカーの試合を、背の高い男の子、背の低い女の子、車いすの男の子の3人が観戦しています。3人の前にはフェンスがあるため、それぞれに同じ高さの台が用意されました。背の高い男の子は台がなくても試合が見えますが、台	2編集の具体的方針(1)による。

			<p>の上から観戦します。背の低い女の子は台の上に乗っても見えにくいため、背伸びをして観戦しています。車いすの男の子は、車いすが台の上に乗れないため、試合が見えません。</p> <p>(2) 公正</p> <p>背の高い男の子は、台がなくても試合が見えるため、何も用意されません。背の低い女の子は、台が1つでは見えにくいため2つの台が用意され、積み上げられた上から観戦します。車いすの男の子は、台に車いすが乗れないため、スロープが用意され、その上から観戦します。3人はほとんど同じ目線で、試合を観戦することができます。】</p>	
178	グラフ	変更	「今後充実させる必要があると人々が考える社会保障の分野」のグラフを数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
183	グラフ	変更	⑤「日本の主な多国籍企業の資産と従業員の海外比率と、自動車会社の海外工場」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
185	グラフ	変更	⑦「地域が活性化するために人々が期待する政策」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
194	図	削除	④「南アフリカ共和国の国旗の変化」の図を削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
196	図	変更	④「領土・領海・領空の区分」は、領土・領海・領空をそれぞれ表す立体的なイラストの断面図にして表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
197	地図	変更	⑤「日本の国土とその周辺」を、陸地を凸点で、日本の排他的経済水域を凹点でそれぞれ表現した。	2編集の具体的方針(1)による。
200	グラフ	変更	⑤「国際連合の加盟国数の推移」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
201	図	変更	⑧「国際連合のしくみ」を、総会を中心とする主要機関を中心に表し、「その他の国連機関」、「専門機関及びその他の国連関係自治機関」は、別ページに表化して表した。	2編集の具体的方針(1)による。
201	グラフ	変更	⑨「主要国の国連予算の分担率」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。

202	写真	変更	②「イギリスのEU離脱を報じる新聞記事」については、見出しのみを次のように記載した。 【「英 EU離脱へ」「キャメロン首相 辞意表明」「国民投票 51%占める」】	2編集の具体的方針(1)による。
202	グラフ	変更	④「EUの予算負担の割合」のグラフを数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
203	地図	削除 変更	⑦「世界の主な地域統合」の地図を削除し、「EU、APEC、ASEAN、NAFTA」の加盟国を列記して表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
204	グラフ	変更	②「青年海外協力隊が派遣された地域と分野別隊員数割合」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
204	グラフ	変更	④「ODAの金額と贈与比率」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
206	グラフ	変更	④「世界の主な国の核弾頭保有数(推定)」のを数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
209	地図	削除 変更	⑤「難民の出身国・地域別人数」を削除し、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
211	グラフ	変更	⑥「世界の宗教別人口の割合」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
213	地図	削除 変更	④「一人当たりの国民総所得(GNI)」の地図を削除し、所得額ごとに主な国名を列記して数表化した。また、「人口1万人当たりの医師の数」と「人口100人当たりのインターネット利用者の数」は、2つに分けて数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
214	グラフ	変更	①「世界人口の推移」を点図化し、グラフ中に具体的な数値の記載のある年次の人口を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
214	地図	削除 変更	③「世界の飢餓状態を示すハンガーマップ」の地図を削除し、「栄養不足人口の割合」のパーセンテージごとに主な国名を列記して数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
214	グラフ	変更	④「世界の地域別の栄養不足人口の推移」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
214	表	削除	⑤「日本の「食品ロス」」を削除し、説明のみとした。	2編集の具体的方針(1)による。

215	地図	削除 変更	⑥「世界の地域別水資源と、人口、面積の比較」を削除し、「面積」、「人口」、「水資源」のパーセンテージを地域ごとに数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
215	グラフ	変更	⑦「地球上の水の内訳」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
216	グラフ	変更	③「世界の地域別の初等教育の就学率」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
218	グラフ	変更	⑥「主な鉱物資源の可採年数」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
219	グラフ	変更	⑨「主な先進国のエネルギー源別発電量の割合」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
220	写真	変更	①「後退するモンブランの氷河」を削除し、説明を次のように修正した。 【1940年代の写真に比べて、2003年の写真の氷河は大きく後退しています。】	2編集の具体的方針(1)による。
220	グラフ	変更	④「温室効果ガスの総排出量に占めるガス別の排出量割合」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
221	グラフ	変更	⑥「三つの観点からみた二酸化炭素の国別の排出量」を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
222 ~223	地図	削除 変更	地図を削除し、各項目の表題の後に関係する国名・地域名を記載した。	2編集の具体的方針(1)による。
225	図	削除 変更	「フィッシュボーン図の例」の図を簡略化して点図化し、課題や原因の記入例を凡例で示した。	2編集の具体的方針(1)による。

226	図	<p>削除 変更</p> <p>「地球環境問題の関わり」の図を削除し、内容を以下のよう文章化した。</p> <p>【1. 先進国での高度な経済活動に伴い、石炭・石油などの化石燃料の使用が増えた。その結果、大気中に排出される窒素酸化物・硫黄酸化物は酸性雨の原因となり、二酸化炭素などは地球の温暖化の原因となっている。地球の温暖化は、二酸化炭素などの地球を取り巻く温室効果ガスの濃度が高まることに起因すると考えられ、砂漠化などの影響が懸念されている。</p> <p>2. 先進国での高度な経済活動に伴い、化学物質の使用も増えた。大気中に放出されたフロンなどは、オゾン層の破壊をもたらし、紫外線の影響による野生生物種の減少が危惧されている。さらに、こうした大量の化学物質の使用は、有害廃棄物の越境移動による発展途上国の公害問題や、海洋汚染も引き起こしている。</p> <p>3. 有害廃棄物の越境移動は、先進国での高度な経済活動に伴う国際貿易の活発化や、貧困・対外債務に苦しむ発展途上国の利害関係の中で生じた問題である。</p> <p>4. 一方、人口の増加が著しい発展途上国の中では、貧困・対外債務などの課題が深刻化する国々と、経済活動水準の上昇がみられる国々との間で、経済格差が広がっている。</p> <p>5. 前者の国々では、過度の耕作などへの依存や、国際貿易の活発化を背景とした木材生産のための過度の開発や森林伐採などが起きている。その結果、森林の減少や砂漠化が進んでいる。</p> <p>6. 森林の減少は、地球の温暖化の一因となっているほか、砂漠化と相まって野生生物種の減少をもたらすことが危惧されている。野生生物種の減少には、こうした自然の要因だけではなく、国際貿易の活発化を背景とする不正取引など、人為的な要因もある。</p> <p>7. 後者の国々でも、経済発展に伴う発展途上国の公害問題が起こり、海洋汚染や酸性雨などは、先進国だけではなく世界的な環境問題となっている。】</p>	2編集の具体的方針(1)による。
-----	---	---	------------------

228	図	削除 変更	①「SDGsの17の目標」を削除し、タイトルと17の目標を文章化した。	2編集の具体的方針(1)による。
229	図	変更	「『私の提案』作成ナビ 2」の図を削除し、題名を「振り返りの構成イメージ」に変更した上で、図の内容を箇条書きで文章化した。	2編集の具体的方針(1)による。
232	図	削除 変更	「『提案』作品例 4」の4コマ漫画の図を削除し、吹き出しのみを文章で記載した。	2編集の具体的方針(1)による。
234	絵	削除	①「「未来への対話」の手順」を削除し、手順のみを記載した。	2編集の具体的方針(1)による。
巻末1 巻末2	写真	削除	「持続可能な未来をみざす人々」の写真を削除し、タイトル、SDGs、「JICA（国際協力機構）で働く人からのメッセージ」の文章等を12巻に記載した。	2編集の具体的方針(1)による。